

敦賀発電所2号炉  
調査会社から当社に提出された柱状図資料

令和2年6月4日  
日本原子力発電株式会社

余白

## 目次

No.	資料名	頁
1	委託報告書(平成19年) ボーリング柱状図	5
2	委託報告書(平成20年) ボーリング柱状図	105
3	委託報告書(平成25年) ボーリング柱状図	157
4	委託報告書(平成27年) ボーリング柱状図	173
5	委託報告書(平成30年) ボーリング柱状図	207
6	設置許可申請書案 ボーリング柱状図	313
7	審査資料案(第536回審査会合(平成29年12月22日)) ボーリング柱状図	405
8	審査資料案(第657回審査会合(平成30年11月30日)) ボーリング柱状図	525
9	審査資料案(第833回審査会合(令和2年2月7日)) ボーリング柱状図	787

余白

## 1. 委託報告書(平成19年) ボーリング柱状図

余白



標高	標尺	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 裂 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 (%) 最大コア長 R Q D [ % ]	岩 質 分 類	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ノズル保護	給 水 圧 (MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)						
													( N 値 ~ 深 度 )																		
													0	10	20	30	40									50					
108.23	28.65			アプライト	灰黄褐	II g	bg	β	花崗斑岩	58 [98]	OM		12/24	53																	
107.13	30.30			花崗斑岩	灰黄	II g	cg	2		花崗斑岩、上位との境界漸移的。 深度28.65~30.30m: 花崗斑岩。 径3~5mm程度の長石、石英及び黒雲母の含量を3~5%程度含み、石礫は径0.1mm以下である。 深度29.89~30.00m: ドレライト。 花崗斑岩とアプライトの境界、漸移的。	46 [90]	CH		12/26	71										0.0	泥水5		5			
				花崗斑岩	にぶい黄橙	II g	cg	3	花崗斑岩とアプライトの境界、漸移的。 深度31.10~31.44m: 変質帯。上盤3度、下盤2度。灰白色粘土を網目状に挟む。 深度31.44~36.21m: 全体に風化するが褐色化弱く、割れ目に沿ってのみ黒褐色化する。	27 [90]	CL		12/27	72																	
				花崗斑岩	明黄褐	II g	cg	2		深度36.21~36.49m: 変質帯。上盤22度、下盤77度。粘土化。 深度36.48~41.20m: 全体に風化し、褐色化している。	45 [60]			1/10	70																
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	γ	花崗斑岩	29 [84]																					
				花崗斑岩	明黄褐	II g	cg	3		深度41.20~42.90m: 灰白色を呈し、弱く変質を受けている。節理に沿って褐色化している。	38 [90]																				
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	γ	花崗斑岩	29 [84]																					
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	2		深度44.90~44.95m: 破碎帯(Hc)。上盤32度、下盤40度。幅20~60mm。礫混じりシルト質砂状とシルト状の混在。 深度44.95~45.34m: 破碎帯(Hb)。上盤40度。角礫状、暗褐色砂状を挟む。 深度45.34~45.75m: 破碎帯(Hj)。下盤50度。節理密集部。 深度45.75~49.77m: 風化を受け部分的に褐色化している。	38 [90]																				
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	2	花崗斑岩	26 [88]																					
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	3		深度49.77~50.42m: 変質帯。上盤46度、下盤33度。砂状。網目状にシルトを挟む。 深度49.81m: シーム。傾斜53度。幅1~5mm。暗褐色粘土状。 深度50.42~54.44m: 風化を受け部分的に褐色化している。	28 [81]																				
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	2	花崗斑岩	48 [79]																					
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	3		深度54.44~55.56m: 風化帯。上盤67度、下盤6度。砂状化している。	38 [83]																				
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	γ	花崗斑岩	41 [82]																					
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	1		深度56.49~56.78m: 風化を受けている。 深度56.78~60.49m: 弱風化し、部分的に褐色帯ひる。	39 [82]																				
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	β	花崗斑岩	45 [88]																					
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	2		深度60.49~65.15m: やや変質をうけ、白色を帯び、軟質化している。	37 [82]																				
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	γ	花崗斑岩	48 [83]																					
				花崗斑岩	明赤灰	II g	cg	3		深度62.46~63.04m: 変質帯。下盤30度。黄灰色砂状化。	44 [84]																				

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 況	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D □ [%]	岩 級 区 分 類	孔 内 水 位 測 定 日 値 (N) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) /孔壁保護	コ ア チ ュー ブ /ピ ット	給 圧 (KN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)								
														( N 値 ~ 深度 )																						
70	68.73	87.66		アプライト	灰白	IVg	CR		γ	2	17, 140, 118, 104, 94, 90, 89, 84, 54, 45, 100	CL	1/29	61.45	68.50	69.55	70.85	71.64					92													
80	68.58	87.90		アプライト	明褐灰	IVg	CG		β	1	28, 25, 164, 164, 164	CM	1/16	86.50	86.50																					
80	66.76	90.62		アプライト	灰白	IVg	CG		γ	3	11, 11, 19, 103, 103, 60, 37, 31, 38, 28, 168, 95, 100, 59, 197, 197, 192, 128, 80, 38, 138, 186, 191, 52, 52, 59, 188, 46, 186, 88, 180, 38, 138, 38, 138, 197, 197, 54, 154, 2, 154, 40, 154, 55, 100, 45, 100, 155, 100	CL	1/17	75.80																						
90	66.76	90.62		アプライト	にぶい橙	IVg	CG		β	2	28, 28, 192, 192, 128, 80, 38, 138, 186, 191, 52, 52, 59, 188, 46, 186, 88, 180, 38, 138, 38, 138, 197, 197, 54, 154, 2, 154, 40, 154, 55, 100, 45, 100, 155, 100	CM	1/18	83.20																						
90	66.76	90.62		アプライト	にぶい橙	IVg	CG		γ	3	11, 11, 19, 103, 103, 60, 37, 31, 38, 28, 168, 95, 100, 59, 197, 197, 192, 128, 80, 38, 138, 186, 191, 52, 52, 59, 188, 46, 186, 88, 180, 38, 138, 38, 138, 197, 197, 54, 154, 2, 154, 40, 154, 55, 100, 45, 100, 155, 100	CL	1/19	86.20																						
90	66.76	90.62		アプライト	にぶい橙	IVg	CG		β	2	28, 28, 192, 192, 128, 80, 38, 138, 186, 191, 52, 52, 59, 188, 46, 186, 88, 180, 38, 138, 38, 138, 197, 197, 54, 154, 2, 154, 40, 154, 55, 100, 45, 100, 155, 100	CM	1/20	91.60																						
90	66.76	90.62		アプライト	黄褐	IVg	CG		γ	3	11, 11, 19, 103, 103, 60, 37, 31, 38, 28, 168, 95, 100, 59, 197, 197, 192, 128, 80, 38, 138, 186, 191, 52, 52, 59, 188, 46, 186, 88, 180, 38, 138, 38, 138, 197, 197, 54, 154, 2, 154, 40, 154, 55, 100, 45, 100, 155, 100	CL	1/22	96.60																						
90	66.76	90.62		アプライト	黄褐	IVg	CG		β	2	28, 28, 192, 192, 128, 80, 38, 138, 186, 191, 52, 52, 59, 188, 46, 186, 88, 180, 38, 138, 38, 138, 197, 197, 54, 154, 2, 154, 40, 154, 55, 100, 45, 100, 155, 100	CM	1/22	96.60																						

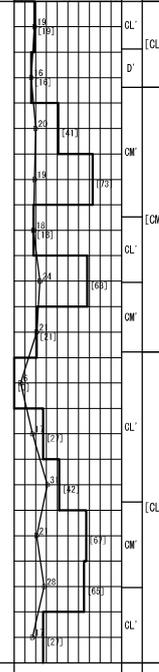
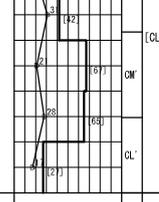
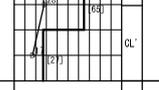
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	風割れ目	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位(測定月日) (N) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験日	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)				
														( N 値 ~ 深度 )																
		100		花崗斑岩	黄褐	IIIg	cg			深度99.70~101.00m: 全体に褐色化顕著。	97	OM		1/23	58															
					灰白	IVg	cg			深度101.82m: 幅1~2mm, 黄褐色固結シルト状。 深度102.00~112.00m: 全体にわずかに褐色化している。高角度な節理が多く、節理に沿って黒褐色化している。開口割れ目あり。	94	CL			83															
					にぶい黄橙	IIg	cg				39	OM		1/24	66.60															
					明褐灰	IIg	cg		β	深度107.00~107.40m: やや斑晶が少ない。	67	OM																		
		110			灰白	IVg	cg			深度110.09~111.95m: 全体に褐色化した柱状コア。節理に沿って砂~シルトを挟む。	51	OM			135															
					にぶい黄橙	IIg	cg				28	OM																		
					明褐灰	IIg	cg			深度113.00~114.48m: 褐色化弱くなる。	50	OM			1/25	63.70														
		50.55	114.85		にぶい黄橙	IVg	cg			アフライト、上位との境界漸移的。深度114.85~136.85m: アフライト。アフライト主体で、花崗斑岩を挟む。アフライトの石基は径0.1mm以下であるが、一部径0.2mm程度で、組織は全体に不均質である。	46	CL																		
					にぶい黄橙	IVg	cg		1		59	OM [OM]																		
					灰白	IVg	cg		γ	深度118.78~120.00m: 全体に変質うけ、岩質が脆くなる。	41	CL																		
					にぶい黄橙	IIg	cg		β	深度120.00~122.00m: 全体に褐色化し、織状をなす。	40	OM																		
		45.57	122.30		灰白	Ig	cg		α	花崗斑岩、上位との境界漸移的。深度122.30~123.70m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石及び径0.5~2mmの黒雲母の斑晶を10~40%程度含み、石基は径0.1~0.2mm程度。深度118.20m付近には、幅4cm傾斜約40度の緻密なアフライト脈を挟む。アフライト、上位との境界漸移的。	44	B'																		
		44.63	123.70		にぶい黄橙	IIIg	cg		β		43	B'																		
					明褐灰	IVg	cg		γ	深度125.00~125.47m: 全体に変質をうけ、岩質が脆くなる。 深度125.47~128.29m: わずかに褐色化した柱状コア。	38	OM																		
					にぶい黄橙	IIg	cg				36	OM																		
					灰白	IIg	cg				33	CH																		
					明褐灰	IVg	cg			深度128.29~129.35m: 全体に褐色化している。節理に沿って黒褐色を呈し、褐色シルトを挟む。	28	OM																		
					にぶい黄橙	IIIg	cg		β		26	OM																		
					灰白	IVg	cg			深度131.45~131.90m: 斑晶散在。	30	OM																		
					明褐灰	IVg	cg				28	OM																		
					にぶい黄橙	IIIg	cg				26	OM																		
					灰白	IIg	cg			深度134.30~134.50m: 斑晶散在。 深度134.77~135.30m: 節理多く、角礫状。節理に沿って砂~シルトを挟む。	36	OM																		
					明褐灰	IVg	cg		2		35	CL																		
					明褐灰	IVg	cg				36	CL																		

ダブルコアチューブ/ダイヤビット

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — ( % ) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ピット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)									
															( N 値 ~ 深度 )																							
	36.03	136.55		アブライト	灰黄褐	IVg	cg				花崗斑岩、上位との境界傾斜20度。深度136.55~141.70m:花崗斑岩。径3~15mmの石英、長石の斑晶を主体に少量の黒雲母を含む。斑晶の混入量は20~40%程度。石基は径0.2~0.5m程度である。				0	10	20	30	40	50			90															
	32.58	141.70		アブライト	灰白	IVg	cg			β	アブライト、上位との境界漸移的。深度141.70~169.30m:アブライト。アブライト主体で、所々に厚さ0.6~1.3m程度の花崗斑岩を挟む。アブライトの石基は径0.1~0.5mmであり、組織は全体に不均質である。斑晶は少ない。下位との境界付近は黒雲母が多い。深度141.88~144.00m:高角度な節理が多くなる。																											
	31.73	142.97		アブライト	にぶい黄橙	IVg	cg																															
	31.07	143.97		アブライト	にぶい黄橙	IVg	cg																															
	30.66	144.57		アブライト	にぶい黄橙	IVg	cg																															
	29.82	145.83		アブライト	灰白	IVg	cg																															
	28.82	147.32		アブライト	にぶい黄橙	IVg	cg				深度146.29~146.32m:破砕帯(Hc)。上盤31度、下盤62度。幅20~30mm。橙色シルト混じり粗粒砂状。																											
	28.44	147.90		アブライト	にぶい黄橙	IVg	cg				深度146.32~146.45m:変質帯。上盤62度、下盤45度。砂状~礫状。深度146.45m:シーム。傾斜45度。幅2mm。褐色シルト状。深度147.04~147.06m:破砕帯(Hc)。上盤23度、下盤34度。幅23mm。明灰色シルト質砂状。深度147.06~147.20m:変質帯。上盤34度。砂状~砂質シルト状。深度147.25m:シーム。傾斜25度。幅2~4mm。灰白色礫混じりシルト状。深度147.25~147.58m:変質帯。上盤25度、下盤38度。灰白色網目状。上盤45度、下盤54度。幅30mm。灰白色+褐色粘土状。正断層構造有り。条線方向70度右。深度149.84~150.34m:変質帯。上盤54度、下盤41度。節理密集部。砂状化。深度150.59~150.80m:変質帯。上盤69度、下盤43度。礫混じり砂質シルト状。深度151.03m傾斜18度。幅0.02cm。暗褐色砂質シルト状。軟質。正断層のセンスのずれあり。深度151.31~151.50m:変質帯。明褐~明黄灰色シルト状。																											
	25.48	152.32		アブライト	明褐灰	IVg	cg																															
	25.02	153.00		アブライト	明褐灰	IVg	cg																															
	24.52	153.75		アブライト	明褐灰	IVg	cg																															
	23.82	154.80		アブライト	にぶい黄橙	IVg	cg																															
	16.57	165.63		アブライト	にぶい黄橙	IVg	cg																															
	15.86	166.70		アブライト	にぶい黄橙	IVg	cg																															
	14.12	169.30		アブライト	灰	IVg	cg				深度165.00~167.10m、168.35~168.65m:黒雲母を多く含む。花崗斑岩、上位との境界漸移的。																											
				アブライト	灰	IVg	cg				アブライト、上位との境界傾斜15度。深度167.30~168.60、168.50~169.53m副珪化変質。																											
				アブライト	灰	IVg	cg				花崗斑岩、上位との境界傾斜5~50度。深度169.30~202.87m:花崗斑岩。径5~10mm程度の石英、長石及び黒雲母の斑晶を3~25%程度含む。石基は径0.1~0.5mm程度で、部分的に黒雲母を多く含む。斑晶の多い部分と少ない部分とが1~2m程度の互層をなす。																											

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D ↙ [%]	岩盤分類	岩級区分	孔内水位(測定)月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )				原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
																0	10	20	30												
		180	+	花崗斑岩	褐灰	I g	I g	α			深度169.59~170.18m: 節理多く、岩片~短柱状コア主体。変質により溶脱。	47	OM				87			2/9 77.80											
		180	+	花崗斑岩	褐灰	II g	II g	β			深度170.18~174.47m: 全体に変質を受けているが、節理少なく柱状~長柱状コア主体。	94	OM																		
		180	+	花崗斑岩	にぶい橙	III g	III g	α			深度174.74m: シーム。傾斜35度。幅5mm。稜~シルト状。	28	CL																		
		180	+	花崗斑岩	にぶい橙	IV g	IV g	α			深度175.96m: シーム。傾斜15度。幅3~5mm。明褐色砂質シルト状。	22	OM																		
		180	+	花崗斑岩	にぶい橙	II g	II g	β			深度177.49~178.40m: 節理多く、短柱状コア主体。	22	CL																		
		180	+	花崗斑岩	にぶい橙	III g	III g	β			深度180.38~181.80m: 全体に変質を受け、溶脱している。	87	OM																		
		180	+	花崗斑岩	明褐灰	I g	I g	β			深度181.21~181.25m: 幅2~7mm。明緑色シルト状。	67	CL																		
		180	+	花崗斑岩	明褐灰	III g	III g	β			深度183.61m: シーム。傾斜42度。幅2~4mm。砂混じり黒褐色シルト状。白色筋状の構造有り。正断層のセンス。	17	OM																		
		180	+	花崗斑岩	灰白	IV g	IV g	β			深度185.61~185.64m: 幅12~24mm。砂・礫状部。	18	CL																		
		180	+	花崗斑岩	灰白	III g	III g	α			深度186.53~186.54m: 破砕帯(Hc)。上盤46度。下盤48度。幅7~13mm。明褐色礫混じりシルト状。正断層のセンス。軟質。	40	CH	[CM]																	
		180	+	花崗斑岩	灰白	I g	I g	α			深度186.54~186.58m: 破砕帯(Hb)。上盤49度。下盤47度。幅26~40mm。明褐色シルト混じり砂・礫状。	3	OM																		
		180	+	花崗斑岩	にぶい黄橙	III g	III g	2			深度189.00~191.10m: 高角度な節理が連続する。	68	OM																		
		180	+	花崗斑岩	にぶい黄橙	IV g	IV g	β			深度191.10~191.14m: 破砕帯(Hb)。上盤46度。下盤54度。幅25~30mm。にぶい橙色シルト混じり礫状。	18	CL																		
		180	+	花崗斑岩	明褐灰	III g	III g	β			深度190.93~191.80m。192.93~193.40m。193.80~194.22m: 溶脱し岩片は粗しょう。	28	OM																		
		180	+	花崗斑岩	明褐灰	IV g	IV g	β			深度194.61~198.41m: 柱~長柱状コア主体。	22	CL																		
		180	+	花崗斑岩	褐灰	I g	I g	α			深度198.50~199.70m: 高角度な節理発達する。	41	OM																		
		180	+	花崗斑岩	にぶい黄橙	II g	II g	β			深度202.81~202.85m: 破砕帯(Hc)。上盤63度。下盤64度。幅18~25mm。淡黄色シルト混じり礫~礫混じりシルト状。	19	CL																		
		180	+	花崗斑岩	にぶい黄橙	III g	III g	β			深度202.87~207.57m: アブライト上位の花崗斑岩との境界は傾斜63~64度の破砕帯。	14	CL	[GL]																	
		180	+	花崗斑岩	にぶい黄橙	IV g	IV g	β			右葉は径0.1mm以下である。	14	CL																		
		180	+	花崗斑岩	明褐灰	I g	I g	γ			深度204.22m: シーム。傾斜16度。幅0.1mm暗灰色砂状。傾斜20度の節理が見かけ0.2cm逆断層的にずれる。	14	OM																		
		180	+	花崗斑岩	明褐灰	III g	III g	γ				10	OM																		
		180	+	花崗斑岩	明褐灰	IV g	IV g	γ				9	OM																		
		180	+	花崗斑岩	アブライト	明褐灰	IV g	IV g	γ			10	CL	[GL]																	

ダブルコアチューブ / ダイアビット

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目形状	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験) 試験		原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
													(N値 ~ 深度)	(N値)																	
-11.49	207.57	210	花崗斑岩	アブライト	明褐灰 にぶい褐	Dg IVg cg Cg IIIg dg cg IIIg bg Dg IVg cg Cg IIg bg IVg Vg Cg IVg cg Dg IVg Cg IIIg IVg IIIg bg IIg cg Cg IIIg cg Dg IVg Cg IIIg Rg	γ β	2 3 2	花崗斑岩。上位との境界は傾斜52~62度の破砕帯 深度207.57~216.70m: 花崗斑岩。径5~10mmの石英、長石、一部径2~3mmの黒雲母の斑晶を3~25%程度含み。石基は径0.1~0.2mm程度で組織は不均質である。斑晶の多い部分と少ない部分とが20~30cm程度の互層をなす。深度207.94~208.06m: 破砕帯(Hc)。上部52度、下部62度。幅70mm。灰白色縦混じりシルト状。 深度208.06~208.66m: 破砕帯(Hj)。上盤62度、下盤52度。砂状~シルト質砂状。 深度208.33m: 傾斜72~82度。幅1.5m。褐色シルト状。 深度208.66~208.69m: 破砕帯(Hc)。上盤52度、下盤59度。幅20mm。灰白色砂質シルト状。 深度212.00~212.07m: 破砕帯(Hc)。上盤55度、下盤41度。幅35~40mm。縦混じり黒色シルト質砂状。 深度215.42~215.46m: 破砕帯(Hc)。下盤55度。幅35mm。灰白色縦混じりシルト状。逆断層構造有り。条線方向30度右。 深度215.98m: シーム。傾斜37度。幅5~7mm。灰白色砂質シルト状。 深度216.15~216.24m: 破砕帯(Hb)。上盤53度、下盤63度。幅35~60mm。褐色シルト混じり砂・礫状。下盤条線方向50度右。 深度216.70~220.00m: アブライト。上位の花崗斑岩との境界は不明瞭。石基は径0.1~0.2mm程度で、径5~10mm程度の石英主体の斑晶が点在する(0.5%以下)。		CL D CM [CM] CL CM [CL] CM CL	(N値)	0 10 20 30 40 50													ダブルコアチューブ/ダイヤビット	20.0	100	0.0	泥水10	0
-17.60	216.70		花崗斑岩	アブライト	明褐灰 にぶい黄橙	Dg IVg cg Cg IIIg dg cg IIIg bg Dg IVg cg Cg IIg bg IVg Vg Cg IVg cg Dg IVg Cg IIIg IVg IIIg bg IIg cg Cg IIIg cg Dg IVg Cg IIIg Rg	γ β	2	花崗斑岩。上位との境界は傾斜52~62度の破砕帯 深度207.57~216.70m: 花崗斑岩。径5~10mmの石英、長石、一部径2~3mmの黒雲母の斑晶を3~25%程度含み。石基は径0.1~0.2mm程度で組織は不均質である。斑晶の多い部分と少ない部分とが20~30cm程度の互層をなす。深度207.94~208.06m: 破砕帯(Hc)。上部52度、下部62度。幅70mm。灰白色縦混じりシルト状。 深度208.06~208.66m: 破砕帯(Hj)。上盤62度、下盤52度。砂状~シルト質砂状。 深度208.33m: 傾斜72~82度。幅1.5m。褐色シルト状。 深度208.66~208.69m: 破砕帯(Hc)。上盤52度、下盤59度。幅20mm。灰白色砂質シルト状。 深度212.00~212.07m: 破砕帯(Hc)。上盤55度、下盤41度。幅35~40mm。縦混じり黒色シルト質砂状。 深度215.42~215.46m: 破砕帯(Hc)。下盤55度。幅35mm。灰白色縦混じりシルト状。逆断層構造有り。条線方向30度右。 深度215.98m: シーム。傾斜37度。幅5~7mm。灰白色砂質シルト状。 深度216.15~216.24m: 破砕帯(Hb)。上盤53度、下盤63度。幅35~60mm。褐色シルト混じり砂・礫状。下盤条線方向50度右。 深度216.70~220.00m: アブライト。上位の花崗斑岩との境界は不明瞭。石基は径0.1~0.2mm程度で、径5~10mm程度の石英主体の斑晶が点在する(0.5%以下)。		CL D CM [CM] CL CM [CL] CM CL	(N値)	0 10 20 30 40 50													ダブルコアチューブ/ダイヤビット	20.0	100	0.0	泥水10	0
-19.81	220.00		花崗斑岩	アブライト	明褐灰 にぶい黄橙	Dg IVg cg Cg IIIg dg cg IIIg bg Dg IVg cg Cg IIg bg IVg Vg Cg IVg cg Dg IVg Cg IIIg IVg IIIg bg IIg cg Cg IIIg cg Dg IVg Cg IIIg Rg	γ β	2	花崗斑岩。上位との境界は傾斜52~62度の破砕帯 深度207.57~216.70m: 花崗斑岩。径5~10mmの石英、長石、一部径2~3mmの黒雲母の斑晶を3~25%程度含み。石基は径0.1~0.2mm程度で組織は不均質である。斑晶の多い部分と少ない部分とが20~30cm程度の互層をなす。深度207.94~208.06m: 破砕帯(Hc)。上部52度、下部62度。幅70mm。灰白色縦混じりシルト状。 深度208.06~208.66m: 破砕帯(Hj)。上盤62度、下盤52度。砂状~シルト質砂状。 深度208.33m: 傾斜72~82度。幅1.5m。褐色シルト状。 深度208.66~208.69m: 破砕帯(Hc)。上盤52度、下盤59度。幅20mm。灰白色砂質シルト状。 深度212.00~212.07m: 破砕帯(Hc)。上盤55度、下盤41度。幅35~40mm。縦混じり黒色シルト質砂状。 深度215.42~215.46m: 破砕帯(Hc)。下盤55度。幅35mm。灰白色縦混じりシルト状。逆断層構造有り。条線方向30度右。 深度215.98m: シーム。傾斜37度。幅5~7mm。灰白色砂質シルト状。 深度216.15~216.24m: 破砕帯(Hb)。上盤53度、下盤63度。幅35~60mm。褐色シルト混じり砂・礫状。下盤条線方向50度右。 深度216.70~220.00m: アブライト。上位の花崗斑岩との境界は不明瞭。石基は径0.1~0.2mm程度で、径5~10mm程度の石英主体の斑晶が点在する(0.5%以下)。		CL D CM [CM] CL CM [CL] CM CL	(N値)	0 10 20 30 40 50													ダブルコアチューブ/ダイヤビット	20.0	100	0.0	泥水10	0



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色硬調軟状	割れ目の形状	風化質	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	孔内水位 / 測定月日 (N) 値	標準貫入試験 (N値 ~ 深度)				原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアシューブ / ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)									
														N	10	20	30																			
		30	5.91, 31.40	アブライト	灰 黄褐		α	2	深度27.24~28.06m: 新鮮なアブライト。 深度28.06~28.82m: 全体に褐色化顕著。	0	50	OM	28.10																							
				花崗斑岩	灰褐 明黄褐		δ	3	深度29.35~30.38m: 変質帯。灰白色帯は原岩組織不明。網目状に白色シルトを挟む。 深度30.38~30.48m: 硬砂岩 (Hc)。上盤50度。下盤63度。幅40~50mm。桃色粘土状。 深度30.48~31.25m: 変質帯。上盤63度。下盤26度。全体に灰白色帯びる。網目状に灰白色シルトを挟む。 花崗斑岩。上位の境界は変質帯で不明瞭。 深度31.40~54.60m: 花崗斑岩。一部アブライト。 花崗斑岩主体で、厚さ1.3m程度のアブライトを挟む。 花崗斑岩は、径5mm程度の石英、長石の斑晶を主体とし、少量の黒雲母の斑晶を含む。斑晶の割合は3~5%程度である。石英は径0.1~0.5mmで組織は全体に不均質である。斑晶の混入は少ないが、部分的に多くなる。 深度32.00~33.00m: 変質帯。砂〜細礫状、一部砂混じりシルトを挟む。 32.14m, 32.30m, 幅10~20mm灰白色シルト状。 深度33.60~34.23m: 砂〜角礫状を呈する。岩片は硬い。 深度34.29~36.47m: 節理少ない柱状コア。硬さは中硬質で、コア表面はややざらつく。 岩芯まで風化し、節理に沿って褐色化顕著。やや高角度な節理が多い。 深度38.47~39.00m: 角礫状を呈し、全体に脆い。 深度39.40~40.63m: 全体に強風化岩で、岩質脆い。高角度の密着した節理多い。 深度40.63~42.75m: 角礫〜土砂状を呈する。 深度42.81m: シーム。傾斜20度。幅7mm。黒褐、褐灰色主体、一部黄灰色粘土状。傾斜52度の変質部と交差する。	0	50	OM																								
		40	-8.24, 45.55	アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界傾斜20~30度。 深度45.90~48.78m: 比較的鮮明。節理からの風化が進行し、節理面は黒褐色化している。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度46.90~54.60m: 花崗斑岩。 径5~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部黒雲母の斑晶を多く含む。石英は径0.1~0.2mmで黒雲母を散在する。 深度48.92~50.48m: やや風化著しく、角礫〜細礫状をなす。 深度50.48~52.00m: 節理の少ない柱状コア。節理に沿って褐色を帯びる。 深度52.00~54.20m: 全体的に風化を受けているが、岩片は硬い。高角度な節理発達。	0	50	OM																								
				花崗斑岩	明褐 黄褐 浅黄		δ	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
		50	-9.59, 46.90	アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				花崗斑岩	明褐 黄褐 浅黄		δ	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
		60	-17.29, 54.60	アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				花崗斑岩	明褐 黄褐 浅黄		δ	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								
				アブライト	明褐 黄褐 浅黄		α	2	アブライト。上位との境界不明瞭。 深度54.60~57.80m: アブライト。 石英は径0.1mm以下である。 深度54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 深度55.95~56.60m: 砂〜角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 深度57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂〜シルトを挟む。 深度57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度57.80~65.95m: 花崗斑岩。 斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。 径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 深度60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM																								

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔徑 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (l/分)	送水圧 (MPa)	排水量 (l/分)							
													N 値 ~ 深度																						
	-28.64	65.95		花崗斑岩	Bg II g	I g				深度63.50~63.60m：節理に沿って細線状。幅7mmの灰黄～灰赤色シルトを挟む。		47 [75]	0	10	20	30	40	50				83			10/4					0.0	泥水10	10			
					Bg II g	I g				深度64.15~65.18m：柱状コアをなすが、節理に沿って褐色化している。		38 [67]																	0.0	泥水10	0				
				花崗斑岩	Bg II g	I g				アブライト。上位との境界不明瞭。深度65.95~70.17m：アブライト。石差は径0.1mm程度であり、径3mm程度の石英、長石の斑晶及び径1mm程度の黒雲母の斑晶が点在する（0.5%以下）。		32 [44]																	0.0	泥水10	5				
				花崗斑岩	Bg II g	I g				アブライト。上位との境界不明瞭。深度65.95~70.17m：アブライト。石差は径0.1mm程度であり、径3mm程度の石英、長石の斑晶及び径1mm程度の黒雲母の斑晶が点在する（0.5%以下）。		27 [53]																	0.0	泥水10	0				
				花崗斑岩	Bg II g	I g				アブライト。上位との境界不明瞭。深度65.95~70.17m：アブライト。石差は径0.1mm程度であり、径3mm程度の石英、長石の斑晶及び径1mm程度の黒雲母の斑晶が点在する（0.5%以下）。		45 [74]																	0.0	泥水10	0				
	70	-32.86	70.17	花崗斑岩	Bg I g	I g				深度66.00~69.04m：やや節理多く、節理に沿って褐色化する。深度68.10m：幅5~10mmの灰白色シルトを挟む。		67 [92]																	0.0	泥水10	5				
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度69.04~69.49m：やや節理多く、短柱状コアをなす。		46 [78]																	0.0	泥水10	0				
				花崗斑岩	Bg I g	I g				花崗斑岩。上位との境界傾斜15~20度。深度70.17~81.50m：花崗斑岩。径3~15mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を50%程度含み、石差は上部が径0.1mm程度、下部が径0.5mm程度である。		61 [97]																	0.0	泥水10	5				
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度72.40~73.30m：節理に沿って褐色化が見られる。		50 [87]																	0.0	泥水10	0				
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度73.30~75.00m：やや節理多くなり、節理に沿って褐色化している。		36 [60]																	0.0	泥水10	0				
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度75.00~82.00m：節理少なく柱状コアをなす。		45 [80]																	0.0	泥水10	0				
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度78.40m：幅10~20mmの砂を挟む。		46 [82]																	0.0	泥水10	0				
	80			花崗斑岩	Bg I g	I g				深度81.50~94.40m：花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石、黒雲母斑晶を1~5%程度含み、石差は径0.1~0.2mm程度である。斑晶の多い部分と少ない部分が50~130cm程度で互層を呈する。		41 [60]																		0.0	泥水10	0			
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度81.80~81.90m：固結し密着した節理が多く、柱状コアをなす。		28 [48]																	0.0	泥水10	0				
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度82.00~83.71m：節理多く、短柱状コアをなす。深度82.80m以深、節理に沿って褐色化著しい。		44 [70]																	0.0	泥水10	0				
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度84.45~86.50m：節理多く、褐色化著しい。		44 [70]																0.0	泥水10	0					
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度87.75~88.14m：節理多く、一部角線状。節理に沿って褐色化著しい。		44 [70]																0.0	泥水10	0					
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度89.00~90.00m：節理多く、高角度な節理あり。節理に沿って砂、シルトを挟む。		45 [83]																0.0	泥水10	0					
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度90.00~92.25m：やや節理多く、節理に沿って褐色化。砂~シルトを挟む。		45 [83]																0.0	泥水10	0					
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度92.25~93.18m：高角度な砂~細線状破砕部あり。		44 [70]																0.0	泥水10	0					
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度93.18~94.12m：やや節理多く、高角度な節理あり。		48 [81]																0.0	泥水10	0					
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度94.12~96.70m：新鮮柱状コア。黒雲母を多く含む花崗斑岩。		65 [92]																0.0	泥水10	0					
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度94.40~113.00m：花崗斑岩。径3mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を3~15%程度含み、石差は径0.1~0.5mm程度。黒雲母を含み全体に組織は均質である。		44 [70]																0.0	泥水10	4					
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度96.70~98.85m：全体に褐色化著しい。硬質で節理少ない柱状コア。		44 [70]															0.0	泥水10	3						
				花崗斑岩	Bg I g	I g				深度98.85m以下：試験停止。		59 [102]															0.0	泥水10	3						

No.3(3/6)



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位/測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	給水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																																							
															( N 値 ~ 深度 )																																																																																																																																																																																																																																																																																				
															0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																															
				花崗斑岩	にぶい褐	Cg	IVg	cg	γ	2	深度135.15~136.07m: 節理多く、角礫状をなす。	0 50 100	CL	103								10/23 67.10																																																																																																																																																																																																																																																																													
											にぶい橙				Cg	IVg	cg	α	1										深度136.63~139.47m: 高角度な節理発達。全体に角礫~細線を呈する。節理に沿って褐色化顕著、砂を挟む。	10/24 41.30	CM	97																																																																																																																																																																																																																																																																			
																													にぶい黄橙				Cg	IVg	cg	β	2											深度138.45~138.80m: 節理密着し、柱状コアをなす。	10/25 45.00	CM	74																																																																																																																																																																																																																																																
																																																褐灰				Bg	IIg	bg	α	1										深度139.47~141.31m: 全体に褐色を帯びる。節理はやや少ない。	10/26 50.10	CH	78																																																																																																																																																																																																																														
																																																																		にぶい黄橙				Cg	IVg	cg	β	2										深度141.31~143.17m: 柱状コアをなす新鮮花崗斑岩。節理に沿って弱く褐色を帯びる。	10/27 54.70	CH	80																																																																																																																																																																																																												
																																																																																				褐灰				Bg	IIg	bg	α	1										深度143.17~145.14m: 全体に褐色化した花崗斑岩。柱状コアをなし節理少ない。節理に沿って黒褐色砂を挟む。	10/28 56.30	CH	88																																																																																																																																																																																										
																																																																																																						にぶい黄橙				Cg	IVg	cg	β	2										深度145.14~146.91m: 新鮮な柱状コア、節理少ない。節理に沿って一部褐色化。	10/30 61.40	CM	105																																																																																																																																																																								
																																																																																																																								褐灰				Bg	IIg	bg	α	1										深度146.91~148.31m: 全体に褐色化著しく、節理多い。高角度な節理を主として、一部に角礫状部を挟む。	10/31 67.40	CH	100																																																																																																																																																						
																																																																																																																																										にぶい黄橙				Cg	IVg	cg	β	2										深度148.31~149.00m: 節理に沿って褐色化著しい。	10/31 67.40	CM	118																																																																																																																																				
																																																																																																																																																												灰白				Bg	IIg	bg	α	1									深度149.00~149.66m: 全体に褐色化著しい。節理に沿って砂~シルトを挟む。		CH																																																																																																																				
																																																																																																																																																																													灰白				Bg	IIg	bg	α	1									深度150.00~151.62m: 柱状コアを呈する。節理に沿って褐色を帯びるが、一部に新鮮岩を残す。		CH																																																																																																			
																																																																																																																																																																																														赤灰				Bg	IIg	bg	β	2									深度151.62~152.10m: 細線~角礫状を呈する節理密着部。		CM																																																																																		
																																																																																																																																																																																																															明褐灰				Cg	IVg	cg	β	2									深度152.10~153.00m: 節理に沿って褐色化著しい。		CM																																																																	
																																																																																																																																																																																																																																赤灰				Bg	IIg	bg	β	2									深度153.00~153.70m: 不規則に節が理発達し、角礫状コアをなす。		CM																																																
																																																																																																																																																																																																																																																	にぶい赤橙				Cg	IVg	cg	β	2									深度153.70~154.90m: 全体に褐色化著しい。		CM																															
																																																																																																																																																																																																																																																																		明赤灰				Bg	IIg	bg	β	2									深度154.90~155.45m: 新鮮岩を残すが、節理に沿って褐色化している。		CM														
																																																																																																																																																																																																																																																																																			にぶい赤橙				Cg	IVg	cg	β	2								
				明赤灰	Bg	IIg	bg	β	2	深度157.13~157.54m: 砂~細礫状をなす。一部粘土を挟む。			CH																																																																																																																																																																																																																																																																																						
										にぶい赤橙	Cg				IVg	cg	β	2	深度157.54~161.17m: 比較的節理の少ない柱状コア。節理に沿って褐色を帯びる。		CH																																																																																																																																																																																																																																																																														
																			明赤灰				Bg	IIg					bg				β	2	高角度な節理が発達した花崗斑岩。全体に褐色を帯びる。		CM																																																																																																																																																																																																																																																														
																																			にぶい赤橙									Cg	IVg	cg	β	2				深度162.89~200.00m: 花崗斑岩。径5~15mmのカリ長石、石英の斑晶及び径2mm程度の黒雲母の斑晶を30~80%程度含み、石基は径0.5mm程度。		CH																																																																																																																																																																																																																																													
																																																				明赤灰				Bg										IIg				bg	β	2	深度165.00m以深 高角度な節理が多くなり、節理に沿って砂~細線を挟む。			CM																																																																																																																																																																																																																							
																																																																									にぶい赤橙					Cg	IVg	cg	β	2		高角度な節理を中心に、網目状に節理が発達し、節理に沿って褐色化する。					CH																																																																																																																																																																																																										
																																																																																				明赤灰							Bg	IIg										bg				β	2	深度169.50~175.00m: 全体に高角度な節理発達。		CM																																																																																																																																																																																					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験)試験		原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
																	N 値 ~ 深度	N 値														
		180		花崗斑岩	明赤灰	Dg	IVg	bg			深度170.82~172.13m: 網目状に節理が発達し、やや軟質である。 深度171.50~172.70m: 節理に沿って褐色化する。 深度172.73~173.35m: 高角度な節理に沿って細礫を挟む。			CL			11/1	118														
						Dg	CG	IIIg	bg					CM								11/1	173.30									
						Dg	CG	IIIg	bg		深度175.00~175.55m: 高角度な節理発達。 深度175.55~179.00m: 節理の少ない柱状コア。深度177.65m以深、節理に沿って白色粘土を挟む。			CM																		
						Dg	CG	IIIg	bg					CH	[CH]							11/2	176.40									
						Dg	CG	IIIg	bg		深度179.00~180.00m: 高角度な節理が発達し、一部角礫~細礫状をなす。			CM																		
						Dg	CG	IIIg	bg		深度180.16~180.24m: 180.76~180.89m: 角礫~細礫状をなす。			CM	[CM]							11/3	181.60									
						Dg	CG	IIIg	bg		深度181.00~181.40m: 高角度な節理発達し、角礫~細礫状をなす。			CH	[CH]																	
						Dg	CG	IIIg	bg		深度182.61~182.87m: 節理密集、角礫~細礫状をなす。			CM	[CH]							11/6	185.30									
						Dg	CG	IIIg	bg		深度186.60~188.00m: 高角度な節理が発達。 深度187.30m, 188.20m: 節理に沿って黄鉄鉱を挟む。			CM	[CM]																	
						Dg	CG	IIIg	bg		深度188.70~190.00m: 高角度な節理が発達。			CL								11/7	189.90									
						Dg	CG	IIIg	bg		深度191.05~191.75m: 節理に沿って黒褐色・赤褐色化する。高角度な節理が発達。 深度192.65m, 193.23m, 194.04m, 194.16m: 密着した節理に黄鉄鉱を挟む。			CL																		
						Dg	CG	IIIg	bg		深度195.20~196.00m: 長石の灰白色粘土化が認められる。 深度195.73m: 密着した節理に黄鉄鉱を挟む。			CM	[B]							11/8	194.10									
						Dg	CG	IIIg	bg		深度197.70m, 197.73m, 199.93m: 密着した節理に黄鉄鉱を挟む。			CH	[B]																	
						Dg	CG	IIIg	bg					CM	[B]							11/9	196.20									
						Dg	CG	IIIg	bg					CM	[B]							11/10	200.00									



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	掘進保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)										
															N 値 ~ 深度																									
30	15.68	30.00		花崗斑岩	淡黄	IVg	bg				深度28.25~28.80m: 岩片~細礫状をなし、軟質化している。	31	OM	1/8	0	10	20	30	40	50																				
				アブライト	淡黄	IVg	cg			γ	深度28.80~34.24m: 節理に沿って褐色化し、一部砂を挟む。 アブライト、上位との境界不明瞭。深度30.00~53.35m: アブライト主体で、厚さ0.8~4.2m程度の花崗斑岩を挟む。花崗斑岩は、径3mm程度の石英・長石主体の斑晶を1~3%程度含み、斑晶が少なくアブライトに近い岩相である。	32	CL	1/43																										
	12.67	34.25		花崗斑岩	灰白	IVg	bg			β	花崗斑岩、上位との境界は変質帯、傾斜60度。 深度34.24~34.38m: 変質帯。上盤68度、下盤56度。砂状化し、脆くなる。 深度34.38m: シーム。傾斜56度。幅3mm。灰褐色と灰白色シルトの互層状。 深度34.38~36.38m: やや節理多く、角礫状コアをなす。	33	CL	1/15																										
40	9.70	38.45		アブライト	淡黄	IVg	cg				アブライト、上位との境界不明瞭。深度38.86m: 幅20~25mmの石英脈を挟む。	34	OM	1/31																										
	6.06	43.60		アブライト	淡黄	IVg	cg				深度41.19~41.70m: 傾斜50~60度の節理多く、全体に褐色化する。	35	CL	2/13																										
	5.48	44.42		アブライト	淡黄	IVg	cg				深度46.13~46.38m: 破砕帯(Hb)。上盤55度、下盤54度。径3~15mmの礫を主とするシルト混じり礫状。下盤幅10mmの褐色粘土を挟む。	36	CL	1/16																										
50				アブライト	淡黄	IVg	cg				深度48.00~49.92m: 高角度な節理が発達する。 深度49.00~59.22m: 全体に褐色化し、節理に沿って黒褐色化している。	37	CL	1/22																										
	-0.83	53.35		花崗斑岩	淡黄	IVg	bg			γ	深度51.38m: シーム。傾斜16度。幅1m。明褐色シルト状。 深度52.24m: シーム。傾斜48度。幅3mm。褐色シルト状。	38	OM	1/47.84																										
60				花崗斑岩	淡黄	IVg	cg			δ	花崗斑岩、上位との境界傾斜60度。深度53.35~65.10m: 花崗斑岩、径5mm程度の石英、長石の斑晶を1~5%程度含む。	39	CL	1/12																										
				アブライト	淡黄	IVg	cg			γ	深度57.10~58.10m: やや斑晶が少なく、アブライト様。	40	CL	1/10																										
				アブライト	淡黄	IVg	cg			γ	深度59.22~59.59m: 破砕帯(Hj)。上盤30度、下盤70度。全体に脆く軟質、一部シルト質礫状。 深度59.59m: 傾斜30度。幅5mm。褐色・黄灰色シルト状。 深度59.59m: 傾斜70度。幅2mm。黄灰色シルト状。 深度60.32~60.36m: 破砕帯(Hb)。上盤71度、下盤71度。幅10~20mm。黒色砂礫状。礫径5~15mm。 深度60.36~60.57m: 変質帯。上盤71度、下盤61度。幅120mm。礫状~葉片状。全体に脆い。	41	CL	1/10																										

ダブルコアチューブ/ダイヤビット

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	風割れ目	変質	記号	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアシューブ/ビット	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)							
														N値	深度															
		-9.14	65.10	花崗斑岩	橙	I g	bg	γ	2									101			135	0.0	泥水5	0						
		-13.10	70.70	花崗斑岩	灰白	Dg	cg	δ	3	アプライト、上位との境界不明瞭。 深度65.10~70.70m: アプライト。 石基は径0.1mm以下であり、径3mmの石英、長石の斑晶が点在する(0.5%以下)。 深度65.58~66.85m: 変質帯。上盤42度、軟質化。深度66.80~66.85mに暗褐色粘土を挟む。 深度67.00~70.70m: 節理に沿って褐色化著しく、やや割れ目多い。										12/13 86.10										
		-13.10	70.70	花崗斑岩	明褐	IV g	bg		2	花崗斑岩、上位との境界傾斜40~50度。 深度70.70~84.18m: 花崗斑岩。 径3~5mmの石英、長石、径1~2mmの黒雲母の斑晶を3~40%程度含み、石基は径0.1~0.2mm程度で組織は比較的均質である。斑晶は下方に向かって多くなる。 深度70.70~78.80m: 節理に沿って褐色化し、斑点状の褐色化も見られる。												12/14 72.90								
		-22.63	84.18	花崗斑岩	灰白	IV g	cg		2	深度74.80付近~81.00付近まで、節理に沿って黄鉄鉱を挟む。										12/15 76.90										
		-25.12	87.70	花崗斑岩	淡赤橙	IV g	cg		3	アプライト、上位との境界不明瞭。 深度84.18~122.70m: アプライト。 深度84.18~96.80mの間は、アプライトを主体とし、厚さ0.4~1.4mの花崗斑岩を挟む。 アプライトは石基の径が0.1mm以下であり、径3mm石英、長石の斑晶を主体として、径1mm程度の黒雲母の斑晶が点在する(0.5%以下)。 深度84.25~84.33m: 破砕帯(Hc)。上盤55度、下盤63度。幅20~30mm。暗褐色シルト状、灰白色砂質シルト状。 深度84.33~84.49m: 変質帯。上盤63度、下盤29度。橙褐色を帯び軟質化し脆い。 花崗斑岩、上位との境界不明瞭。															12/18 85.00					
		-26.15	89.15	花崗斑岩	淡赤橙	IV g	cg		2	アプライト、上位との境界漸移的。 深度89.50付近~94.10m付近、節理に沿って黄鉄鉱を挟む。										12/19 92.50										
		-30.06	94.68	花崗斑岩	淡緑灰	IV g	cg		3	花崗斑岩の上位、下位との境界漸移的。 深度95.12~96.78m: 変質帯。全体に淡緑灰~暗緑灰色を呈する。																				
		-30.50	95.30	花崗斑岩	淡緑灰	IV g	cg		3	花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 深度96.80~100.80m: 花崗斑岩。 径3~5mmの石英、長石、一部黒雲母の斑晶を15%程度含み、石基は径0.1mm程度である。 深度96.80~99.60m間は石英の斑晶が多い。																				
		-31.56	96.80	花崗斑岩	にぶい赤橙	I g	bg	γ	2																					

ダブルコアチューブ/ダイヤモンド

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 — ( % ) 最大コア長 cm R Q D L [ % ]	岩盤分類	孔内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l / 分)	排水量 (l / 分)							
															( N 値 ~ 深度 )																				
		100		花崗斑岩	淡黄	IVg	bg	γ	2		深度100.21m: シーム。傾斜37度。幅7~10mm。黒褐・明褐色シルト状。深度100.21~100.43m: 変質帯。上盤37度。下盤不明。全体に軟質化し脆い。	OM	12/20	100	12/20	100	12/21	90	90 / ケーシング																
	-34.39	100.80		淡橙	IVg	cg	δ	2			深度100.43~100.67m: 変質帯。上盤不明。下盤48度。シルト混じり礫状~礫混じりシルト状。深度100.67m: シーム。傾斜48度。幅6mm。灰色シルト状。深度100.67~100.75m: 変質帯。上盤48度。下盤56度。軟質化する。アフライト。上位との境界不明瞭。深度100.80~122.70m: アフライト。石基は0.1~0.2mm程度であり、径3mmの石英の斑晶が点在する (0.5%以下)。	OM																							
		110		灰白	VIg	dg	δ	3			深度107.54~107.62m: 破砕帯 (Hc)。上盤56度。下盤53度。幅20~30mm。明褐色砂質シルト状。やや硬い。深度107.62~108.23m: 破砕帯 (Hb)。上盤53度。下盤38度。礫状破砕部。径0.5~1.5cmの角~垂角礫状。深度108.23~108.35m: 破砕帯 (Hb)。上盤38度。下盤不明。明褐色礫混じり砂質シルト状。深度108.35~108.63m: 破砕帯 (Hj)。上盤不明。下盤47度。原岩組織を残す。	D'																							
		120		アフライト	IVg	cg	γ	2			高角度な割れ目 (82度) に沿って幅0.5~5mmの灰白色粘土を挟む。深度108.63~108.69m: 破砕帯 (Hb)。上盤47度。下盤33度。礫状化している。深度108.69~108.73m: 破砕帯 (Hb)。上盤33度。下盤不明。幅0~55mm。礫混じりシルト状。深度108.73~108.87m: 破砕帯 (Hb)。上盤不明。下盤63度。礫状化している。深度108.87~109.48m: 破砕帯 (Hj)。上盤63度。下盤28度。原岩組織を残す。深度109.48~109.94m: 破砕帯 (Hc)。上盤28度。下盤20度。径1~2cmの垂角礫を含む砂質シルト状。深度114.85~122.70m: やや変質を受け、全体に褐色化している。節理多く角礫状をなす。	CL	12/22	106	12/23	106	12/23	93	1/9	16.90	92	1/10	22.40	76	ダブルコアチューブ / ダイアビット	25.0									
		130		花崗斑岩	明黄褐	IVg	bg	γ	2		花崗斑岩。上位との境界傾斜50~60度。深度122.70~131.25m: 花崗斑岩。径5~15mm程度の石英。長石の斑晶及び径1~3mmの黒雲母の斑晶を50~70%程度含む。石基は径0.1~0.2mm程度である。斑晶の密集部と散在部とが1~3m間隔で繰り返す。上部に黒雲母の斑晶を多く含む。深度125.39~130.42m: 全体に変質著しく、軟質化し、節理に沿ってシルト~粘土を挟む。	OM																							
	-49.87	122.70		黄褐	IVg	cg	β	3			アフライト。上位との境界傾斜20~30度。深度131.25~152.32m: アフライト。石基は径0.1~0.2mm程度であり、斑晶は少ない。深度132.32~132.68m: 変質帯。上盤53度。下盤26度。全体に軟質化している。	CL	1/11	100	1/12	34.20	100	1/12	34.20	100															
		130		アフライト	IIIg	bg	β	2			花崗斑岩。上位との境界漸移的。	OM																							
	-55.92	131.25		花崗斑岩	浅黄	IVg	cg	β	2																										
	-58.29	134.60		花崗斑岩	IIIg	bg	β	2																											

標高 尺 (m)	深度 度 (m)	柱状 図	岩種 区分	色調	硬軟 状	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化	記 事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩 盤 分 類	孔内水位 (m) 測定日	( 標準貫入試験 ) 試験				原位置試験 (孔内水平載荷)	室内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) / 孔壁保護	給 水 量 (l/分)	回 転 数 (rpm)	送 水 量 (l/分)	送 水 圧 (MPa)	排 水 量 (l/分)						
													( N 値 ~ 深度 )																		
140	-62.42 ~ 140.45		花崗斑岩	にぶい黄橙	III g II g IV g	bg			深度134.60~140.25m：花崗斑岩。径5mm程度の石英、長石の斑晶を1~2%程度含み、石基は径0.2mm程度である。斑晶が少なく、アプライトに近い花崗斑岩である。深度135.06~136.59m：節理多く、岩片~柱状コア。深度136.59~141.80m：節理に沿って褐色化しているが、岩芯部分は新鮮部を残す。	50 (41) 126 (41) 134 (56)	CM CL						100			1/13 38.20			0.0	泥水 5							
150	-70.82 ~ 152.32		明褐灰	にぶい黄橙	III g II g IV g IV g IV g Bg I g IV g II g IV g Bg I g IV g	bg			深度140.14~140.51m：灰白色を帯びる。アプライト、上位との境界不明瞭。 深度142.45~146.00m：全体に褐色を帯び、節理に沿って黒褐色化している。 深度144.00~144.75m：やや節理が多くなる。 深度146.87~148.59m：節理に沿って黄鉄鉱を挟む。	111 (41) 110 (80) 107 (80) 104 (90) 98 (90) 92 (80) 87 (80) 84 (90) 82 (80) 82 (92) 79 (80) 76 (80) 71 (90)	CM CM CH						102			1/15 44.33											
			アプライト	明褐灰	III g IV g IV g IV g Bg I g IV g II g IV g Bg I g IV g Bg I g IV g	bg			深度148.77~152.32m：花崗斑岩。上位との境界傾斜25~30度 深度152.32~171.65m：花崗斑岩。径3~20mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を50%程度含み、石基は径0.5mm程度である。一般に黒雲母の斑晶が多く、下部ほど長石の斑晶が多くなる。 深度153.12m：シーム。傾斜30度。幅1mm。黄灰色シルト状。 深度154.08~154.22m：節理密集部。 深度154.00~157.00m：全体に弱く褐色化している。	121 (81) 111 (90) 107 (81) 104 (90) 99 (81) 96 (90) 91 (90) 88 (81) 85 (90) 82 (90) 79 (81) 76 (90) 73 (81) 70 (90)	CM [CM]						103			1/16 50.50											
			花崗斑岩	にぶい黄橙	III g IV g IV g IV g Bg I g IV g II g IV g Bg I g IV g Bg I g IV g	bg			深度157.77~159.88m：変質帯。上盤63度、下盤67度。灰白色粘土が網目状に入る。 深度160.10~162.88m：節理周辺の幅5~15mmが珪化している。	68 (92) 64 (99) 61 (81) 58 (90) 55 (90) 52 (81) 49 (90) 46 (90) 43 (81) 40 (90) 37 (81) 34 (90) 31 (90)	CL Bg Bg CM Bg Bg Bg Bg Bg Bg Bg Bg Bg						102	76/泥水													
160			明褐灰	にぶい黄橙	III g IV g IV g IV g Bg I g IV g II g IV g Bg I g IV g Bg I g IV g	bg			深度159.77~159.88m：変質帯。上盤63度、下盤67度。灰白色粘土が網目状に入る。 深度160.10~162.88m：節理周辺の幅5~15mmが珪化している。	35 (81) 32 (81) 29 (81) 26 (90) 23 (90) 20 (81) 17 (90) 14 (81) 11 (90) 8 (81) 5 (90)	B' B' B' CM B' B' CM B' B' B' B' B'						95			1/17 56.50											
			花崗斑岩	にぶい黄橙	III g IV g IV g IV g Bg I g IV g II g IV g Bg I g IV g Bg I g IV g	bg			深度159.77~159.88m：変質帯。上盤63度、下盤67度。灰白色粘土が網目状に入る。 深度160.10~162.88m：節理周辺の幅5~15mmが珪化している。	87 (90) 84 (90) 81 (81) 78 (90) 75 (90) 72 (81) 69 (90) 66 (90) 63 (81) 60 (90) 57 (81) 54 (90) 51 (81) 48 (90)	CM [B] CH B' CH												1/18 62.30								
			明褐灰	にぶい黄橙	III g IV g IV g IV g Bg I g IV g II g IV g Bg I g IV g Bg I g IV g	bg			深度164.08~164.74m：やや節理が多くなる。	137 (81) 134 (90) 131 (81) 128 (90) 125 (81) 122 (90) 119 (81) 116 (90) 113 (81) 110 (90) 107 (81) 104 (90) 101 (81) 98 (90)	CM [B]																				
			明褐灰	にぶい黄橙	III g IV g IV g IV g Bg I g IV g II g IV g Bg I g IV g Bg I g IV g	bg			深度165.43~169.61m：新鮮岩。	145 (81) 142 (90) 139 (81) 136 (90) 133 (81) 130 (90) 127 (81) 124 (90) 121 (81) 118 (90) 115 (81) 112 (90) 109 (81) 106 (90)	CM [CM]																				
170			灰褐	にぶい黄橙	III g IV g IV g IV g Bg I g IV g II g IV g Bg I g IV g Bg I g IV g	bg			深度169.61~171.69m：節理多く、全体に褐色化している。	155 (81) 152 (90) 149 (81) 146 (90) 143 (81) 140 (90) 137 (81) 134 (90) 131 (81) 128 (90) 125 (81) 122 (90) 119 (81) 116 (90)	CM [B]																				

ダブルコアチューン/ダイヤビット



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定月日) N 値	( 標準貫入試験 ) 試験					室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)	給送機 (rpm)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
															N 値 ~ 深度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		210	+ + + + + + + + + +	花崗斑岩	灰赤	Cg	IVg	bg	β			深度207.69~207.72m: 破砕帯(Hb)。 上盤39度, 下盤61度。幅10mm。緑混じりシルト状。礫は径0.5~1.0cmの亜円礫。 深度207.72~209.00m: 砂礫状をなす。		OM	3/7 208.90	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		220										花崗斑岩																										明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度210.00~250.00m: 花崗斑岩。 径3~10mmのかり長石, 石英, 斜長石。黒雲母の斑晶を60~70%含み, 石英は径0.2~0.5mmである。径10mm程度のかり長石の斑晶を散在し, 黒雲母の斑晶が多く, 組織は全体に塊状均質で, 斑晶の割合が高い。 深度210.00m以深, 節理に沿ってのみ褐色化する。		OM	3/8 213.20	86																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		230																																											花崗斑岩																										明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度215.47~215.74m: 節理に沿って変質を受けている。		OM	3/9 216.10	107																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		240																																																																												花崗斑岩																									明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度218.73~218.74m: 破砕帯(Hc)。 上盤62度, 下盤不明。幅15mm。暗灰色緑混じりシルト状。		OM	3/10 219.10	105																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		250																																																																																																												花崗斑岩																										明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度221.28~224.46m: 長柱状の硬質コア。		OM	3/11 223.30	103																																																																																																																																																																																																																																																											
		260																																																																																																																																													花崗斑岩																									明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度223.00m, 223.47m付近, 節理に沿って淡緑灰色に変質する。		OM	3/12 227.40	103																																																																																																																																																																																																																											
		270																																																																																																																																																																													花崗斑岩																										明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度228.30m: シーム。傾斜69度, 幅5~7mm。礫状。 深度228.30m以深, 褐色化顕著。		OM	3/13 233.90	103																																																																																																																																																																																										
		280																																																																																																																																																																																																														花崗斑岩																										明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度228.30m以深, 褐色化顕著。		OM	3/14 238.90	100																																																																																																																																																									
		290																																																																																																																																																																																																																																															花崗斑岩																									明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度234.32~236.15m: 全体に変質をうけ, 軟質化している。一部砂状をなす。		OM	3/15 243.90	100																																																																																																																									
		300																																																																																																																																																																																																																																																																															花崗斑岩																										明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度236.15m以深, 全体に柱状コアをなす。節理に沿って褐色を帯び, 全体に弱く変質している。		OM	3/16 248.90	102																																																																																								
		310																																																																																																																																																																																																																																																																																																																花崗斑岩																											明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度239.72m: 幅4mmの石英脈を挟む。		OM	3/17 253.90	102																																																						
		320																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		花崗斑岩																										明赤灰	Cg	IVg	bg	β			深度242.73m: 幅2~5mm, 傾斜30度の石英脈を挟む。		OM	3/18 258.90	102																					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ( % )		岩級区分	岩盤分類	孔内水位 / 測定月日 ( m ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験						原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 ( kN · MPa )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	送水量 ( l / 分 )	排水量 ( l / 分 )
												→ ( % )	最大コア長 ( cm )				R	Q	D	N 値 ~ 深度	0	10											
			花崗斑岩	明赤灰 淡橙	IVg IIg	bg	β	2			深度243.29~243.72m : 全体に褐色化する。 深度243.67mに幅1cmの石英脈を挟む。  深度245.31m、246.08mに幅2~3cm程度の淡緑灰色実質脈を挟む。黄鉄鉱を伴う。	0 50 100												102	ダブルコアチューブ / ダイヤビット	25.0	110	0.0	泥水10	0	0		
	-139.89	250.00		明赤灰	IVg IIg	bg						0 50 100											76										

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. 5		調査位置											北緯								
発注機関											調査期間			東経								
調査業者名											主任技師			現代理人			コ鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	+ 3.30	m	角	180° 上	方	北 0° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試験機		ハンマー 落下用具										
総掘削長	150.00	m	度	90° 下	向	東 90° 南 180°			エンジン													

標尺	標高	深度	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	岩盤分類	孔内水位(m) 測定月日	(標準貫入試験)試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進日	孔径(mm) /孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
														N値	深度													
			埋土						砕石、コンクリート片、玉石など。下部シルト質砂。					0	0													
	0.15	3.15							植物片や木片を含むシルト層。 中～細粒砂主体で所々に腐植物混入。 砂。シルトの混入少ない腐植土層。					5	5					140/ケーシング		50.0	90	0.0	0	0		
	-0.22	3.52							腐植質な細～中粒砂。					2	2							30.0	90	0.0	0	0		
	-0.55	3.85							粗粒砂～中粒砂。 粒子は円磨されておらず角張っている					2	2							20.0	0.0	0	0	0		
	-1.15	4.45		黒色					やや褐色を帯びた中粒砂。 粗粒砂。細粒分少なく、軟質。 酸化の進んだ中～粗粒砂。					34	33							15.0	0.0	0	0	0		
	-1.29	4.59		黄灰										20	15							600	0.0	0	0	0		
				灰黄										15	19							514	0.0	0	0	0		
				暗灰黄										20	20							600	0.0	0	0	0		
				黄褐										15	15							514	0.0	0	0	0		
	-8.48	11.78		腐植混り砂					粗粒砂を主体として、所々に炭片を含む。 炭質物は炭片～木片まで、炭化が進んでいないものも見られる。					9	9							120	0.0	0	0	0		
	-10.05	13.35		砂					中～粗粒砂で上位より粗粒砂の割合が低い。					13	18							20.0	0.0	0	0	0		
				黄褐										18	21							600	0.0	0	0	0		
	-12.70	16.00		シルト混り砂					シルト分を含む砂層。砂は粗粒砂を不規則に混入する中～細粒砂。 貝殻片が全体的に混入する。					16	16							120	0.0	0	0	0		
	-15.45	18.75		砂					細粒分少ない粗粒砂主体。所々に中粒砂を挟む。					13	8							600	0.0	0	0	0		
				灰オリト										13	13							480	0.0	0	0	0		
	-17.20	20.50		砂					砂は細～中粒砂、所々に細礫を含む。 礫は径1～3cmの花崗岩の亜角礫。クサリ礫を含む。					50	50							21.00	25.0	0.0	0	0		
	-18.15	21.45		黄灰					花崗岩の玉石、やや風化進む。					13	13							97/ケーシング	10.0	90	0.0	0	0	
	-18.55	21.85		灰褐					上位との境界部は礫の混入多い。 下位ほど礫の混入少ない。					38	38							30.0	0.0	0	0	0		
	-19.20	22.50		砂					細～中粒砂の互層。全体に炭片を含む。 上方細粒化する。					27	27							240	0.0	0	0	0		
	-19.95	23.25		砂礫					径1～4cmの花崗岩角礫を含む砂礫層。 基質は花崗岩質の細礫～砂。不規則に礫を含む。					50	50							21.00	10.0	90	0.0	0	0	
	-21.13	24.43		砂礫					礫は径3～6cm、最大径10cmの花崗岩礫を含む砂礫層。 礫は亜角～亜円礫。一部にクサリ礫を含む。 所々に砂層を挟む(深度24.43～24.51m、24.72～24.92m)。 深度27.38m以深、礫の混入少なくなる。				50	50									25.00	10.0	90	0.0	0	0
				玉石混り砂										50	50							212	0.0	0	0	0		
				黄褐										50	50							212	0.0	0	0	0		
				灰褐										50	50							212	0.0	0	0	0		
				褐灰										50	50							212	0.0	0	0	0		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験)試験		原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給送水量 (l/分)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
														(N 値 ~ 深度)	(N 値)													
	-25.20	28.50		玉溜り砂礫	黄褐																33.0	135	0.0	泥水3	3			
	-29.14	32.44		礫混り砂	明赤灰					礫混じり中～粗粒砂。 礫は径1～3cm。花崗斑岩、アブライトの角～亜角礫を含む。 砂の粒子は石英主体、角礫主体でやや淘汰されている。 深度31.80～31.92m：砂層を挟む。													35.0	150	0.0	泥水5	5	
	-30.13	34.43		黄灰	黄灰					深度32.44～32.76m：砂とシルトが均質に混じる。												38.0	90					
	-30.95	34.25		明黄褐	明黄褐					径3～5cm、最大径10cmの礫を含む砂礫層。 基質はシルト質砂～中粒砂、淘汰悪い												10.0	120					
	-31.45	34.75		シルト混り砂礫	黄褐					シルトと細粒砂が均質に混じる。 全体に還元色でアブライトのクサリ礫や硬質礫を含む。 径3～5cm、最大径25cmの礫を含む砂礫層。 礫はアブライト、花崗斑岩の亜角礫を主体とする。 礫は全体に風化し、10cm以下の礫はほとんど半クサリ状態。 礫の表面は褐～黄褐色を帯びるが、径10cm以上の礫は硬質主体。 礫率は20～40%。基質はシルト混じり細粒砂で、淘汰悪い。															30.0	0.0	泥水8	8
	-38.05	41.35		黄褐	黄褐	IVg				深度39.91m以深、善質に径0.1～0.4cmの石英粒子多く含む。 礫径は10～20cm、最大径30cm、礫率は60%。												360						
				明褐	明褐	IIg	cg			全体に著しく風化を受け褐色化し非常に脆い。 深度41.35～54.30m：花崗斑岩。 径5～10mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を10～50%程度含み、石基は径0.5mm程度である。斑晶は部分的に密集する。													25.0	136				
				黄褐	黄褐	IIIg	cg			全体に風化を受け、褐色を帯び、岩質は脆い。 全体に10～20cm間隔で傾斜30～40度の節理が発達し、一部に明褐色粘土を挟む。												10.0	0.0	泥水13	13			
				黄褐	黄褐	IVg	cg			深度49.29m：傾斜82度の節理、幅0.5～1.5mmの灰白色粘土を挟む。 節理の周辺幅5～20mmが変質により緑灰～灰白色を帯び軟質化する。												25.0	130					
				黄褐	黄褐	IIg	cg			深度50.0～52.0m：節理面が全体に褐～暗褐色を帯びる。												15.0	0.0	泥水7	7			
				黄褐	黄褐	IIIg	cg			深度52.24～54.16m：節理は厚さ1mm以下の橙白色粘土を挟む。												30.0	0.0	泥水13	13			
				黄褐	黄褐	Dg	cg			深度54.30～76.20m：花崗斑岩。 径5～10mm程度の石英主体の斑晶を1～3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。												20.0	0.0	泥水7	7			
				黄褐	黄褐	IIIg	cg			深度56.21～57.67m：傾斜30～40度の節理が5～15cm間隔で発達。												30.0	0.0	泥水13	13			
				黄褐	黄褐	Dg	cg			深度57.11～57.15m：傾斜75度及び30～90度の節理に沿って、厚さ2～3mmの暗褐色を帯びた礫混じり固結シルトを挟む。												35.0	0.0	泥水7	7			
				黄褐	黄褐	IIg	cg			深度60.61～61.05m：土砂状～角礫状												40.0	360					
				黄褐	黄褐	IIIg	cg			深度61.40～61.45m：砂混じり細片状。												50.0	0.0	泥水10	10			
				黄褐	黄褐	IVg	cg															30.0	130	0.0	泥水7	7		

標尺	標高	深度	柱状	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風割れ目	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 cm	岩盤区分	孔内水位 (m)	( 標準貫入試験 ) 試験		原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進 月日	掘進 速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアチューブ /ビット	給 送 水 量 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	回 送 水 圧 (MPa)	送 水 量 ( $\text{l}/\text{分}$ )	排 水 量 ( $\text{l}/\text{分}$ )									
															N 値	深度																			
70	-72.90	76.20		花崗斑岩	灰褐 I g II g III g	I g II g III g	bg			2	深度63.06~63.27m: 傾斜70~80度の節理に沿って、幅1.5~2.0cmが角礫状を呈する。 深度65.0~67.2m: 柱状コア主体、傾斜25~30度の節理が5~15cm間隔で発達。 深度67.21m以深、密着した節理が多く、岩質やや脆い。 深度67.52m: シーム、傾斜80度、幅4~8mm、黄灰色礫混じりシルト混じり砂状。下盤部部分的に幅2mmの石英脈を挟む。 深度67.52~68.32m: 変質帯。岩質脆い。 深度67.90m: 傾斜76度の節理に沿って、幅0.8mmの灰白色粘土を挟む。	50	OM									9/29 67,64	199	30.0 35.0	ダブルコアチューブ / ダイヤビット	0.0	泥水 7		7						
80	-72.90	76.20		花崗斑岩	明黄褐 I g II g III g	I g II g III g	bg			3	深度71.13~71.63m: 傾斜80~85度の節理発達。上盤側は、幅5mmの石英脈を挟む。 深度71.66m: シーム、傾斜50度、幅1~2mm暗褐色粘土状。逆断層センスの構造有り。 下盤側深度72.98mまで、傾斜65~85度の節理発達。黄白色粘土を挟む。	50	OM											9/30 73,65	200	40.0	ダブルコアチューブ / ダイヤビット	0.0	泥水 7		6				
80	-72.90	76.20		黒雲母花崗岩	明褐灰 I g II g III g	I g II g III g	bg			7	黒雲母花崗岩。上位との境界不明瞭。 深度76.20~90.05m: 黒雲母花崗岩。径3~10mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶からなり、径0.2~0.5mm程度の石英を含み、花崗斑岩に近い岩相である。 深度76.30~80.00m: 斜長石は完全に粘土化、軟質。 深度76.43~78.44m: 傾斜30~45度の節理が7~25cm間隔で発達。節理及び節理周辺は、黒色を帯びる。 深度78.44~80.00m: 傾斜30度、70度前後の節理、密着節理が3~5cm間隔で発達。節理面は全体に褐色化する。 深度80.00~80.49m: 傾斜10~25度の密着した節理が1~2cm間隔で発達。指圧で開口しやすい。 深度80.50~85.00m: 傾斜30度程度の節理が7~30cm間隔で発達。節理面は酸化鉄付着し、一部は暗緑色のシルト質砂~砂質シルトが付着する。	50	OM															10/2 79,65	163	76 泥水	245				
90	-86.75	90.06		花崗斑岩	明黄褐 I g II g III g	I g II g III g	bg			2	深度85.94~86.39m: 傾斜20~35度の節理及び密着した節理が発達。 深度86.85~87.08m、87.38~88.35m、88.81~89.00m: 傾斜20~35度の節理及び密着した節理が発達。 深度86.14~86.31m: 傾斜80~85度の密着した節理が正断層的に数mmずれる。	50	OM																						
90	-86.75	90.06		花崗斑岩	明黄褐 I g II g III g	I g II g III g	bg				花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度90.05~90.50m: 花崗斑岩。厚さ1.4mのアフライトを挟む。 花崗斑岩は、径3~5mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、基質は径0.1mm程度である。 深度90.20~91.09m: 傾斜15~30度の平行した節理及び密着した節理が発達。 深度91.54m: 傾斜35度の節理、厚さ6~10mmの礫混じり砂を挟む。 深度91.93m: 傾斜13度の節理、厚さ4mmの砂を挟む。 深度92.32m: 傾斜30度の節理、厚さ1mmの礫を挟む。 深度92.63~92.65m: 破砕帯(Hb)。傾斜12度、幅15mm、暗灰色砂質シルト状。一部砂状、軟質。正断層的構造有り。 深度93.09~95.00m: 傾斜15~35度の平行した節理が3~15cm間隔で発達。 アフライトの上位。下位境界不明瞭。 深度95.15~95.25m: ベグマタイト。 深度96.46~96.49m: 破砕帯(Hb)。上盤16度、下盤52度。 幅35mmで暗灰色シルト混じり礫状~砂質シルト状、軟質。 深度98.02~99.06m: 傾斜20~50度の平行した節理及び密着した節理が1~10数cm間隔で発達。	50	OM																						
90	-86.75	90.06		花崗斑岩	明黄褐 I g II g III g	I g II g III g	bg				花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度90.05~90.50m: 花崗斑岩。厚さ1.4mのアフライトを挟む。 花崗斑岩は、径3~5mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、基質は径0.1mm程度である。 深度90.20~91.09m: 傾斜15~30度の平行した節理及び密着した節理が発達。 深度91.54m: 傾斜35度の節理、厚さ6~10mmの礫混じり砂を挟む。 深度91.93m: 傾斜13度の節理、厚さ4mmの砂を挟む。 深度92.32m: 傾斜30度の節理、厚さ1mmの礫を挟む。 深度92.63~92.65m: 破砕帯(Hb)。傾斜12度、幅15mm、暗灰色砂質シルト状。一部砂状、軟質。正断層的構造有り。 深度93.09~95.00m: 傾斜15~35度の平行した節理が3~15cm間隔で発達。 アフライトの上位。下位境界不明瞭。 深度95.15~95.25m: ベグマタイト。 深度96.46~96.49m: 破砕帯(Hb)。上盤16度、下盤52度。 幅35mmで暗灰色シルト混じり礫状~砂質シルト状、軟質。 深度98.02~99.06m: 傾斜20~50度の平行した節理及び密着した節理が1~10数cm間隔で発達。	50	OM																						
90	-86.75	90.06		花崗斑岩	明黄褐 I g II g III g	I g II g III g	bg				花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度90.05~90.50m: 花崗斑岩。厚さ1.4mのアフライトを挟む。 花崗斑岩は、径3~5mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、基質は径0.1mm程度である。 深度90.20~91.09m: 傾斜15~30度の平行した節理及び密着した節理が発達。 深度91.54m: 傾斜35度の節理、厚さ6~10mmの礫混じり砂を挟む。 深度91.93m: 傾斜13度の節理、厚さ4mmの砂を挟む。 深度92.32m: 傾斜30度の節理、厚さ1mmの礫を挟む。 深度92.63~92.65m: 破砕帯(Hb)。傾斜12度、幅15mm、暗灰色砂質シルト状。一部砂状、軟質。正断層的構造有り。 深度93.09~95.00m: 傾斜15~35度の平行した節理が3~15cm間隔で発達。 アフライトの上位。下位境界不明瞭。 深度95.15~95.25m: ベグマタイト。 深度96.46~96.49m: 破砕帯(Hb)。上盤16度、下盤52度。 幅35mmで暗灰色シルト混じり礫状~砂質シルト状、軟質。 深度98.02~99.06m: 傾斜20~50度の平行した節理及び密着した節理が1~10数cm間隔で発達。	50	OM																						
90	-86.75	90.06		花崗斑岩	明黄褐 I g II g III g	I g II g III g	bg				花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度90.05~90.50m: 花崗斑岩。厚さ1.4mのアフライトを挟む。 花崗斑岩は、径3~5mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、基質は径0.1mm程度である。 深度90.20~91.09m: 傾斜15~30度の平行した節理及び密着した節理が発達。 深度91.54m: 傾斜35度の節理、厚さ6~10mmの礫混じり砂を挟む。 深度91.93m: 傾斜13度の節理、厚さ4mmの砂を挟む。 深度92.32m: 傾斜30度の節理、厚さ1mmの礫を挟む。 深度92.63~92.65m: 破砕帯(Hb)。傾斜12度、幅15mm、暗灰色砂質シルト状。一部砂状、軟質。正断層的構造有り。 深度93.09~95.00m: 傾斜15~35度の平行した節理が3~15cm間隔で発達。 アフライトの上位。下位境界不明瞭。 深度95.15~95.25m: ベグマタイト。 深度96.46~96.49m: 破砕帯(Hb)。上盤16度、下盤52度。 幅35mmで暗灰色シルト混じり礫状~砂質シルト状、軟質。 深度98.02~99.06m: 傾斜20~50度の平行した節理及び密着した節理が1~10数cm間隔で発達。	50	OM																						



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └─ [ % ]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定日	( 標準貫入試験 ) 試験		原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験日	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																															
																( N 値 ~ 深度 )																																											
		140		花崗斑岩	濃い黄橙					γ 2	深度135.00~135.55m: 傾斜40~85度の節理発達。		OM									ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	76/栗栗	65.0	360	0.0	泥水6	2																															
											深度136.03~137.14m: 傾斜12~45度の節理が10cm程度の間隔で発達。																																																
											深度137.57~139.36m: 節理及び密着した節理が発達するもの、比較的連続性に乏しい。																																																
											深度139.85m: 傾斜85度の節理。幅5~15mmの暗褐色シルト混じり砂礫を挟む。																																																
											深度141.71~142.94m: 節理面に厚さ0.5mm以下の砂~シルトを挟む。																																																
											深度141.71~143.20m: 傾斜15~30度、60~70度の節理が多く、短柱状をなす。																																																
											深度143.34~143.77m: 節理面にわずかな砂~シルトを挟む。																																																
											深度143.45m: 傾斜40度の節理。厚さ0.5~1.0cmの節理密着部を伴う。																																																
											深度145.00~145.62m: 傾斜0~10度及び高角度の節理により短柱状コアをなす。																																																
											深度145.74~145.49m: 節理密着部。節理は1~3cm間隔で発達。																																																
											深度146.48~148.89m: 傾斜13~35度の平行した節理が6~20cmの間隔で発達。																																																
											深度148.89m以深は、柱状コア。1~3cm間隔の密着した節理が発達する。																																																
		146.70									150.00																																																

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 6		調査位置		北緯	
発注機関					東経	
調査業者名	主任技師		調査期間		現代理人	
孔口標高	+ 3.31 m	角	180°上		コ鑑定者	
総掘削長	175.00 m	度	90°		ボーリング責任者	
			方		ハンマー落下用具	
			北 0°		ポンプ	
			地盤勾配			
			水平 0°			
			使用機種			
			試錐機			
			エンジン			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩級	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					室内試験 (孔内水平載荷)	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
															N値	深度	0	10	20										
			盛土	灰黄褐					盛土シルト混じり砂礫及び礫混じりシルト質砂。					1.15	0	0	0	0	0	0	0	0	400	140 / ケーシング		20.0	30	0.0	0
		0.46		黒褐					腐植質シルト。					1.75									113 / 2.00		50.0				
		0.12		黒					繊維質、少量の砂が混入。全体に繊維質で水分多い。下部ほど礫の含有が多い。					3.00											10.0	0.0	0.0	0	
		-0.01		黄灰					木片、腐植物を不規則に挟む。礫は径0.2~0.7cmの石英粒子。基質は粗粒砂。					4.00												20.0			
		-0.61		砂礫					細粒砂を主体とし中~粗粒砂を含み淘汰悪い。																	10.0	0.0	0.0	13
		-0.90		灰白					深度0.31m以深、径0.3~0.7cmの細礫・粗粒砂からなり、淘汰良好。																	20.0	0.0	0.0	10
		-1.59		礫混り砂					淘汰された砂。																	15.0	0.0	0.0	12
		-5.34		にぶい黄橙					礫は径0.3~0.5cm、最大径1.5cmの垂角礫。砂は淘汰された中粒砂。																	20.0	0.0	0.0	16
		-5.49		砂					淘汰された粗粒砂。																	15.0	0.0	0.0	15
		-5.65		礫混り砂					淘汰された砂・礫。礫は径0.7cm以下の石英・長石粒主体。全体に均質。																	60	0.0	0.0	12
		-7.72		浅黄					淘汰された粗粒砂。																	17.5			
		-8.03		にぶい黄橙					淘汰された砂・礫。礫は径0.7cm以下の石英・長石粒主体。全体に均質。																	10.0			
		-8.07		礫混り砂					淘汰された粗粒砂。																	20.0	0.0	0.0	14
		-10.84		灰					礫は径0.3~0.7cm、最大径5cmの垂角礫。基質はシルトを含む細粒砂。木片・炭片を含む。																	15.0			
		-11.41		礫混り砂					礫は径0.2~1.0cmの垂角礫~角礫。砂は細~中粒砂。炭質物をわずかに含む。																	20.0			
		-12.79		灰黄					礫は径0.3~0.5cm、最大径1.0cm。石英・長石粒を主体。砂は風化したカリ長石・長石・石英粒。																	15.0			
		-13.71		礫混り砂					礫は径0.3~0.5cmの石英粒。基質は細粒砂質シルト。径0.5cm以下の貝化石を含み、炭化した木片も含む。																	20.0			
		-14.68		砂混じりシルト					礫は径0.3~0.7cmの石英粒。全体に貝化石を多く含む。木片点在。下位ほど礫の混入多くなる。																	22.5	70	0.0	16
		-16.09		灰					腐植物及び中粒砂を薄層に挟む。腐植土は厚さ2~6cm程度。全体に傾斜30度の葉理発達。																	22.5	70	0.0	16
		-16.92		灰白																						22.5	70	0.0	16

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水量 (l/分)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
														( N 値 ~ 深度 )																		
	-18.48	28.45	有粘質土 粘り砂	灰白										0	10	20	30	40	50			27.05		241		15.0	70	0.0	泥水 16	16		
	-20.15	30.63	砂礫	褐灰						深度28.45~28.80m: 細礫主体。 深度28.80m以深: 礫は径3~4cm。最大径9cm。アブライト主体。一部花崗斑岩含む。全株に新鮮硬質であるが、一部にアブライトのくさり礫を含む。基質は中~粗粒砂。				0	10	20	30	40	50			27.05		99		17.5	130	0.0	泥水 5	5		
	-20.68	31.37	砂礫	灰						礫は径0.3~0.5cm。最大径3cmのアブライト亜角礫。基質はシルト混じり砂。				0	10	20	30	40	50			27.05		105		35.0	60	0.0	泥水 5	0		
	-20.99	31.77	砂礫	灰黄褐						礫は径3~5cm。最大径15cmのアブライト。花崗斑岩。一部にくさり礫を含む。基質は砂混じりシルト。				0	10	20	30	40	50			27.05		105		30.0	130	0.0	泥水 5	0		
	-21.23	32.03	砂礫	灰黄褐						細~粗粒砂を含み。全体に洩汰不良。細粒砂質シルトを薄層状に挟む。砂はやや洩汰された細~中粒砂。				0	10	20	30	40	50			27.05		105		20.0	130	0.0	泥水 5	4		
	-21.43	32.29	砂礫	灰黄褐										0	10	20	30	40	50			27.05		105		35.0	60	0.0	泥水 5	0		
	-21.76	32.73	砂礫	灰黄褐										0	10	20	30	40	50			27.05		105		30.0	130	0.0	泥水 5	0		
	-22.64	33.88	砂礫	灰白						径20~35cmの巨礫を含む。礫はアブライト、花崗斑岩。基質はシルト混じり砂。				0	10	20	30	40	50			27.05		116 / ケーシング		22.5	60	0.0	泥水 16	16		
	-23.14	34.53	砂礫	灰黄						礫は径1~3cm。最大径20cmのアブライト。花崗斑岩。一部にくさり礫を含む。基質は砂。				0	10	20	30	40	50			27.05		146		22.5	130	0.0	泥水 5	5		
	-23.52	35.00	砂礫	灰黄										0	10	20	30	40	50			27.05		146		60	0.0	泥水 16	16			
	-25.11	37.10	砂礫	明黄褐						礫は径8~10cm。最大径16cmの亜角礫。くさりアブライト主体。くさり礫が多くなる。				0	10	20	30	40	50			27.05		146		60	0.0	泥水 16	16			
	-26.94	39.49	砂礫	浅黄						礫は径0.5cm以下の平くさり礫主体。				0	10	20	30	40	50			27.05		82		27.5	0.0	泥水 5	5			
	-27.65	40.41	砂礫	明黄褐						礫は径3~7cm。最大径37cm。アブライト。花崗斑岩の亜角~角くさり礫主体。基質はシルト質砂。				0	10	20	30	40	50			27.05		82		27.5	0.0	泥水 5	5			
	-27.96	40.87	砂礫	明黄褐						礫は径3~5cm。最大径55cm。アブライトのくさり礫主体。一部に花崗斑岩の風化礫を含む。亜角礫主体。				0	10	20	30	40	50			27.05		82		27.5	0.0	泥水 5	5			
	-29.80	43.27	砂礫	明黄褐										0	10	20	30	40	50			27.05		134		25.0	130	0.0	泥水 5	5		
	-30.89	44.65	砂礫	褐						深度44.65~96.00m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含む。石基は径0.1mm程度である。深度69.60~76.25m間は径5~15mm程度の石英斑晶を40%程度含む。深度44.65~49.35m: 変質により岩質脆くなる。深度46.49mまで節理に沿って流入粘土が認められる。				0	10	20	30	40	50			27.05		27.05		149		17.5	130	0.0	泥水 3	3
			花崗斑岩	明黄褐						深度50.82~51.08m, 51.84~53.05m: 変質により滑脱。コア粗しよう。				0	10	20	30	40	50			27.05		149		25.0	0.0	泥水 3	3			
			花崗斑岩	明黄褐						深度51.53~53.05m: 節理に沿って白色粘土を挟む。				0	10	20	30	40	50			27.05		149		22.5	0.0	泥水 3	3			
			花崗斑岩	明黄褐						深度55.10~55.60m: 変質帯。上盤80度、下盤58度。岩質脆く灰白色粘土を挟む。深度55.27m、傾斜70度、幅3~5mmの灰白色粘土を挟む。				0	10	20	30	40	50			27.05		149		27.5	0.0	泥水 3	3			
			花崗斑岩	明黄褐						深度59.06~59.20m: 節理多く、一部砂~礫状をなす。				0	10	20	30	40	50			27.05		149		40.0	245	0.0	泥水 10	10		
			花崗斑岩	明黄褐						深度60.80~60.83m: 傾斜57~60度の節理の空隙を非晶質の石英が充填。石英は厚さ0.3~2.0cmで累帯(級化)を生じる。				0	10	20	30	40	50			27.05		149		35.0	360	0.0	泥水 10	10		
			花崗斑岩	明黄褐										0	10	20	30	40	50			27.05		177		45.0	360	0.0	泥水 10	10		
			花崗斑岩	明黄褐										0	10	20	30	40	50			27.05		177		0.0	0.0	泥水 10	5			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	風割れ目	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
														N 値 ~ 深度															
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度63.00~63.22m: 傾斜75度程度の節理に沿って変質著しい。	0 50 100	OM		1/30 63.93	177			45.0	0.0	泥水10	5								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度64.80~66.10m: やや斑晶少なくなる。 深度64.92~66.36m: 傾斜50~60度の平行した密着及び開口した節理が1~数cm間隔で発達。		CL						42.5	0.0	泥水10	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度69.57~69.78m: 傾斜60~75度の節理に沿って変質を受ける。 深度69.60~76.25m: 径0.5~1.5cmの石英の斑晶を多く含む。		OM						50.0	0.0	泥水5	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度71.62m: シーム。傾斜72度。幅5~10mm。明灰色シルト中に厚さ1mm以下の暗褐色シルトが挟在。 アフライト。上位との境界傾斜80度。		CL						37.5	0.0	泥水5	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			花崗斑岩。上位との境界破砕帯。傾斜63度。 深度73.43~73.45m: 破砕帯(Hc)。上盤63度。下盤63度。幅12mm。浅黄・黄褐色シルト状。		CL						32.5	0.0	泥水3	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度76.65~76.75m, 79.26~79.37m: 部分的に斑晶多い。		OM						35.0	0.0	泥水5	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度77.58~79.73m: 傾斜70~90度の高角度な密着した節理が連続する。		CL						32.5	0.0	泥水3	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度80.00~82.10m: 変質受け珪化している。		OM						245	0.0	泥水5	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度82.10~83.10m: 変質により岩質やや粗しよう。		OM						360	0.0	泥水7	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度83.63~90.00m: 珪化変質受け。岩片硬質。 アフライト。上位との境界不明瞭。		OM						40.0	0.0	泥水5	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度86.78~88.94m: 珪化変質受け、硬質。		B'						42.5	0.0	泥水5	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			花崗斑岩。上位との境界漸移的。 深度88.94m: シーム。傾斜51度。幅3~10mm。雑混じり黒褐色シルト状。 深度88.94~94.80m: 高角度な節理が多く、節理に沿って褐色化している。		OM						45.0	0.0	泥水5	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度95.00~98.12m: 節理少なく。柱状コア。		OM						67.5	0.0	泥水7	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度96.00~101.65m: 花崗斑岩。径3~15mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を50~60%程度含み、石巻は径0.1~0.5mm程度で、下部に黒雲母を多く混入する。		OM						55.0	0.0	泥水7	0								
				花崗斑岩	明褐灰	IIIg, IVg, Cg	IIIg, IVg, Cg			深度98.12~98.65m: 数cm間隔で節理発達。		OM						45.0	0.0	泥水7	0								

ダブルコアチューブ/ダイヤビット

76/泥水

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm) /孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
																N 値 ~ 深度																				
		100		明褐灰	IIg	bg	2				深度101.12~101.53m: 変質帯。上盤62度、下盤8度。幅1~2cm以下の節理密集。	CM											136			45.0	360	0.0	泥水5	0						
				灰オリーブ	Dg	IVg	cg	3			深度101.53~101.70m: 変質帯。上盤8度、下盤67度。砂・礫状。	CL														30.0	0.0			0						
				にぶい黄橙	Eg	IVg	cg	3			深度101.70~101.72m: シーム。傾斜67度。幅3~10mm。明黄褐色硬混じりシルト状。	D'														35.0										
				にぶい黄橙	Dg	IVg	cg	4			深度101.72~102.30m: 変質帯。上盤67度、下盤8度。暗黄灰色を呈し、軟質化。	CL															40.0	150	0.0	泥水3	0					
				にぶい黄橙	Eg	IVg	cg	4			深度102.30~102.86m: 変質帯。上盤8度、下盤64度。硬混じり砂質シルト状。	CL															55.0	0.0	泥水5	0						
				にぶい黄橙	Dg	IVg	cg	4			深度102.86m: シーム。傾斜64度。幅1~2mm。明黄色シルト状。																90.0	0.0	泥水7	2						
				明褐灰	IIg	α					深度103.25m: シーム。傾斜85度。幅3~9mm。黒褐色砂質シルト~シルト混じり砂状。																									
				にぶい橙	IIIg	bg					深度105.37m: シーム。傾斜63度。幅0.3mm。黒色シルト状。																									
				明褐灰	IIIg	β					深度105.95~107.70m: 花崗斑岩。径3~15mmの石英、長石。黒雲母の斑晶を50~60%程度含み。石基は径0.1~0.5mm程度で、下部に黒雲母を多く混入する。																									
				にぶい橙	IIg	α					深度107.70~160.30m: 花崗斑岩。径5~15mmの石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を1~10%程度含み。部分的に斑晶の多い箇所がある。石英は径0.1mm、一部径0.2~0.5mm程度で、組織は全体に不均質である。																									
				にぶい橙	IIIg	β					深度112.50~113.54m: 節理多く、短柱~柱状コアをなす。																									
				にぶい橙	IVg	cg					深度113.54m以深、節理少なく、柱状~長柱状コア主体。																									
				明褐灰	IIg	α					深度115.87~117.81m: 比較的新鮮で、暗褐色を帯びる。	CM																								
				にぶい橙	IIIg	cg					深度120.00~123.22m: 柱~長柱状コア主体。																									
				にぶい黄橙	IIIg	bg					深度123.94m: シーム。傾斜72度。幅0~4mm。明褐色砂・硬混じりシルト状。条線水平。幅1.0cmの非晶質石英、セリサイト付着。																									
				灰白	IIg	β					深度127.70~133.55m: 弱く変質を受け、一部脱色軟質化する。節理に沿って褐色化する。																									
				灰白	IVg	cg					深度134.60~136.80m: 節理多く発達し、全体に褐色化著しい。																									
				にぶい橙	IIg																															

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位 / 測定月日 (N) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアラチューブ / ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
														( N 値 ~ 深度 )																
140				花崗斑岩	にぶい橙	IVg	bg		2	深度136.80~144.00m: 全体に節理多く、短柱状コアをなす。節理に沿って褐色化し、一部黒褐色を呈する。	0	OM		2/19	64	97.5														
					灰白	IVg	bg																							
					淡黄	IVg	cg																							
					灰白	IVg	cg																							
150					花崗斑岩	Dg	Vg			深度148.94m: シーム、傾斜63度。幅3~5mm、明黄色粗砂混じりシルト状。																				
					淡黄	Dg	Vg			深度150.00~151.1m, 152.20~155.00m: 径0.5~1.5cmの石英、長石、黒雲母の斑晶を70%以上含む。																				
					灰白	Dg	Vg			深度151.39m: シーム、傾斜75度。幅2~5mm、暗褐色シルト状。																				
					淡黄	Dg	Vg			深度151.39~151.84m: 変質帯。やや粘土化している。																				
					灰白	Dg	Vg			深度151.84m: シーム、傾斜75度。幅1~3mm、褐~明黄色シルト状。																				
					淡黄	Dg	Vg			深度151.39~157.45m: 全体に変質を受け脱色している。節理に沿って粘土を挟む。																				
					灰白	Dg	Vg			深度157.09m: シーム、傾斜55度。幅2~3mm、灰白色粘土状。																				
160					花崗斑岩	IVg	cg		2	深度160.20~175.00m: 花崗斑岩。径3~10mmの石英、カリ長石、黒雲母の斑晶を10~50%程度含み、石英は径0.1mm程度で、組織は比較的均質である。																				
					灰白	IVg	cg			深度160.25~164.40m: 節理に沿って褐色化強い。																				
					淡黄	IVg	cg																							
					灰白	IVg	cg			深度164.40~167.53m: 全体に褐色化し、節理によって黒褐色化する。																				
					明褐色	IVg	cg																							
					灰白	Eg			4	深度167.53~168.54m: 破砕帯(Hc)。上盤51度、下盤52度。上盤側幅50mm+、粘土状、石英混じりシルト状。石英混じりシルト状。																				
					灰赤	Vg	cg		2	下盤側幅30mm+、石英岩片混じり灰白色シルト状。																				
170					にぶい黄	Dg	IVg			深度170.00~170.58m: 細礫~角礫状をなす。																				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日 (N) 値	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																					
																N 値 ~ 深度																																																				
		130.75	175.00	花崗斑岩	明赤灰	Dg IVg IVg IVg IVg IVg	cg cg cg cg cg	γ	3	2	深度171.08~171.74m: 変質帯。上盤37度、下盤39度。網目状にシルトを挟む。  深度173.10~175.00m: 全体に弱く変質を受けている。		CL [CL]	CM [CM]		<table border="1"> <tr><td>0</td><td>10</td><td>20</td><td>30</td><td>40</td><td>50</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	0	10	20	30	40	50																																								76/泥水	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	42.5	130	0.0	泥水3	0
0	10	20	30	40	50																																																															
																						2/26	75.00																																													

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 7			調査位置						北緯			
発注機関						調査期間						東経	
調査業者名						主任技師						ボーリング責任者	
孔口標高	+ 3.29 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験機	ハンマー 落下用具			
総掘削長	165.00 m	度	90° 下	向	東 90° 南 180°			エンジン			ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	岩内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					室掘内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
													(N値 ~ 深度)														原位置試験 (孔内水平載荷)	掘進日	掘進時間
		0.81	埋土	明黄褐色				花崗岩片、まさ等。				12/22																	
		2.74		明黄褐色														140/ケーシング											
		3.56	黒褐色	黒褐色				植物片や木片を含む。																					
		3.72	褐灰	褐灰				腐植土、砂を含む。																					
		4.10		腐植土				泥炭状の腐植土。																					
		4.31		腐植土				粗粒砂に腐植物片を含む。																					
		4.52		腐植土																									
		5.13		砂				粗粒砂 ~ 細砂。																					
10		12.86		砂				深度9.36m以深、褐色化強くなる。所々に径1~1.5cm程度の花崗斑岩礫を含む。																					
		13.85		砂																									
		16.92		砂				炭化物を含む粗粒砂。																					
		21.47		砂				粗粒砂。所々に炭化物を挟む。																					
		21.95		砂				深度16.16m以深、シルト分を含む。																					
		23.22		砂				貝殻片や木片を含む。																					
		23.93		砂				深度18.20m、厚さ0.1~0.5cmの炭化物層を挟む(傾斜30度)。																					
		24.25		砂				深度20.13m以深、貝殻片を含まない。																					
		24.50		砂				礫を所々に含む。																					
		24.60		砂				礫は径5cm程度、基質はシルト質砂。																					
		24.90		砂				砂は細粒砂。																					
		26.78		砂				炭化物を含む。																					
				砂				径3~5cm、最大径15cmの礫を含む砂礫。基質は粗粒砂、一部に風化礫を含む。																					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D L [%]	岩盤区分	岩内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験		原位置試験 ( 岩内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
														N 値	深度											
				礫混り砂	灰黄					径3cm程度の礫を含む砂層。砂は粗粒砂。深度27.65~27.88m:炭化物を含む砂質シルトを挟む。				0	50	100					155		60	0.0	泥水13	13
				砂	にぶい黄橙					炭化物を含む粗粒砂。													0.0	泥水13	2	
				玉石混り砂	明緑灰					径3~10cm,最大径30cmの礫を含む砂礫。基質は中~粗粒砂。礫の混入率は60%。												130	0.0	泥水2	2	
				砂	明緑灰					中粒砂でシルトを挟む。																
				砂	明緑灰					径1~5cmの礫を含む砂礫。																
				礫混り砂	灰白					径2~5cm程度の礫を含む砂層。風化礫を多く含む。基質は粗粒砂。													60	0.0	泥水13	13
				砂	明緑灰					細~粗粒砂とシルトの互層。細粒砂及びシルトに炭化物を含む。																
				砂	明緑灰					径3~5cm,最大径8cmの礫を含む砂礫。基質は粗粒砂。																
				玉石混り砂	明褐灰					2																
				砂	明緑灰					細粒砂,粗粒砂,砂礫の互層。																
				玉石混り砂	灰白					径3~5cm,最大径10cmの礫を含む砂礫。礫の風化は弱い。																
				砂	黄橙					深度43.84~43.12m:シルト~細粒砂を挟む。																
				砂	黄褐					深度45.09~45.15m:シルトを挟む。深度45.25~45.37m:細粒砂を挟む。																
				砂	灰白					炭化物を含む中~粗粒砂。																
				玉石混り砂	明黄褐					径3~5cm,最大径19cmの礫を含む砂礫。基質は粗粒砂。くさり礫の割合が多い。																
				砂	橙					中~粗粒砂。傾斜14~37度の構造あり。																
				砂礫	浅黄橙					最大径40cmの巨礫を含む砂礫。基質は砂。固結度は高い。																
				花崗斑岩	灰白					深度53.49~66.10m:アブライト。石基は径0.2~0.5mm程度で、径3~7mm程度の石英、長石及び径0.5~1mmの黒雲母の斑晶が点在する(0.5%以下)。																
				花崗斑岩	明黄褐					深度55.10~56.10m:全体に風化し、軟質で黄褐色を呈する。																
				花崗斑岩	明黄褐					深度56.31~61.50m:全体に風化し、軟質化している。節理に沿って黒褐色を帯びる。																
				アブライト	浅黄橙					深度61.50~62.70m:コア流出。																
				アブライト	浅黄橙																					

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記事	コア採取率 — ( % ) 最大コア長 cm R Q D L [ % ]	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
														0	10	20	30	40												50		
		56.62		アフライト	浅黄橙	Dg	IIIg	bg		深度63.70~65.40m: 節理に沿って黒褐色化顕著。			11/21 63.90				119	129						35.0	130	0.0	泥水2	2				
		66.10		花崗斑岩	褐灰	Dg	IVg	cg		花崗斑岩、上位との境界不明瞭。深度66.10~69.80m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を40~50%程度含み、石基は径0.5mm程度である。深度66.72m以深、風化弱く、褐色を帯びるが、全体に柱状で硬質コアをなす。																						
		69.80		アフライト	浅黄橙	Dg	IIIg	cg		アフライト、上位との境界不明瞭。深度69.80~165.00m: 花崗斑岩主体で、一部にアフライトを挟む。花崗斑岩は、径3~5mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を1~5%程度含み、石基は径0.1mm程度で一部径0.2~0.5mm程度を示す。全体に流理は不明瞭である。深度71.15~71.40m: 傾斜50度程度の節理発達。花崗斑岩、上位との境界不明瞭。																						
		70		花崗斑岩	淡橙	Dg	IIIg	bg		深度75.00~78.22m: 全体に褐色化顕著。傾斜60~70度の節理発達。																						
		71.50		アフライト	浅黄橙	Dg	IIIg	cg		深度78.22~78.24m: 破砕帯 (Hc)。上盤62度、下盤60度。幅15mm、暗褐色シルト~黄褐色砂質シルト状。深度78.24~79.48m: 破砕帯 (Hj)。上盤60度、下盤68度。節理密集部、礫状。深度79.48~79.56m: 破砕帯 (Hb)。上盤68度、下盤66度。幅53mm、褐灰色シルト質礫及び暗褐色シルト状。																						
		80		花崗斑岩	灰白	Dg	IIIg	cg		深度81.00~82.60m: やや軟質化し、節理に沿って黒褐色を帯びる。																						
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		深度83.15~84.60m: 全体に風化し、軟質化している。																						
				花崗斑岩	灰白	Dg	Ig	bg		深度85.30~87.42m: 節理多く角礫~短柱状コアをなす。																						
				花崗斑岩	灰白	Dg	IIIg	cg		深度85.00~100.00mまで斑晶少ない。																						
				花崗斑岩	灰白	Dg	IIIg	cg		深度88.00以深、密着した節理が多い。																						
				花崗斑岩	灰白	Dg	IIg	cg		深度91.47m: 幅4mmの石英脈あり。																						
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		深度92.85~92.95m: 幅1~7mmの石英脈あり。深度93.00~100.00m: 幅数mm程度の石英脈を所々に挟む。																						
				花崗斑岩	灰白	Dg	IIIg	cg		深度95.00~97.50m: 傾斜30~60°程度の密着した節理が多い。																						
				花崗斑岩	浅黄橙	Dg	IVg	cg		深度98.50~98.83m付近に高角度な幅2.5~5cmの石英脈あり。																						
				花崗斑岩	浅黄橙	Dg	IVg	cg																								

標尺	標高	深度	柱状	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [ % ]	岩盤 級区分	岩盤 分類	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内 試験 日	掘進 進度 月	掘進 速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コア チューブ ノット	給 送 水 量 (MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 量 (MPa)	送 水 量 (MPa)	排 水 量 (MPa)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
																	N 値	深度																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	100			花崗斑岩	浅黄橙		IVg IIg IVg IIg IIIg IVg IIIg IIg Ig IIg IIIg IIg Ig IIg IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度99.00~103.00m: 全体に褐色化し、傾斜30~50度の節理が多い。		OM				0	0				149	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	110										花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度103.00~105.00m: 傾斜60~70度の高角度な節理が多い。		OM									115	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																								
	120																																		花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度105.00~112.00m: 密着した節理は少ない。節理に沿って黒褐色、黄褐色を帯びる。		OM									115	55.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																
	130																																																										花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度109.50~115.00m: 高角度な節理が多い。		OM									115	67.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																								
	140																																																																																		花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度110.40~111.35m: 斑晶少ない。		OM									115	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																
	150																																																																																																										花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度112.00~115.20m: 全体に褐色を帯びる。		OM									115	84	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																								
	160																																																																																																																																		花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度115.80~117.00m: 変質帯、上盤77度。全体に軟質。節理に沿って淡緑色粘土を挟む。		OM									115	84	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																
	170																																																																																																																																																										花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度118.30m: シーム、傾斜50度。幅1~10mm、灰白色粘土状。		OM									115	103	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																								
	180																																																																																																																																																																																		花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度119.74m: シーム、傾斜52度。幅1~3mm、灰白色粘土状。		OM									115	103	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																
	190																																																																																																																																																																																																										花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度119.74~120.58m: 変質帯。黄褐色粘土状。石英粒子残る。		OM									115	103	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																								
	200																																																																																																																																																																																																																																		花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度120.58m: シーム、傾斜65度。幅1~10mm、灰白色粘土状。		OM									115	103	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																
	210																																																																																																																																																																																																																																																										花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度120.58m以深、傾斜20~50度程度の低角度な節理が多くなる。全体に浅黄褐色を呈する。		OM									115	103	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																								
	220																																																																																																																																																																																																																																																																																		花崗斑岩																			浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度122.50~124.80m: やや褐色を帯びる。		OM									115	103	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	230																																																																																																																																																																																																																																																																																																										花崗斑岩																		
	240			花崗斑岩	浅黄橙	IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度129.40m: 節理に沿って幅2mmの褐色、灰白色粘土を挟む。			OM									115	124	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	250									花崗斑岩	浅黄橙																			IVg IIIg IVg IIg	γ	2	β	深度132.00~133.00m: 傾斜70~90度の高角度節理あり。			OM									115	65	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																								

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進進捗 (cm/時)	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																											
																( N 値 ~ 深度 )																																																																																																																																																																										
		140	+++++	浅黄橙	明赤灰	Cg	IIg	cg			深度135.23~135.62m: 角礫~細礫状をなす。 深度135.62~137.65m: 傾斜60~80度の高角度な節理と直行する低角度な節理が発達。 深度138.05~138.35m: 節理が密集し、軟質化する。 深度139.00~143.00m: 傾斜10~40程度の低角度の節理が発達。 深度143.00~144.00m: 傾斜70~90度の高角度の節理あり。節理に沿って褐色粘土を挟む。 深度144.75~148.00m: 傾斜10~20度と60~70度の交差する節理が多い。 深度148.07~148.35m: 黒褐色の酸化マンガン汚染あり。 深度151.35m: シーム。傾斜72度。幅1mm。褐色粘土状及び砂状。 深度151.38m: シーム。傾斜74度。幅2mm。黒褐色粘土状及び砂状。 深度154.45~155.60m: 節理多く、角礫状をなす。 深度155.60~160.00m: 全体に密着した節理が多く、一部角礫状をなす。 深度160.00~165.00m: 高角度な節理が多い。 深度160.30~161.00m: 節理多く、角礫~細礫状コア、節理に沿って粘土を挟む。 深度163.82m: シーム。傾斜74度。幅2mm。黒褐色粘土状及び砂状。	0 50 100	OM		0 10 20 30 40 50	12/8	8	65	35.0	165	0.0	1	2	12/12	35.75	88	76 泥水	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	30.0	0.0	泥水3	130	22.5	0.0	泥水2	40.0	145	100	0.0	泥水3	130	0.0	泥水5	145	0.0	泥水7	0.0	泥水10																																																																																																																																										
		150																																															+++++	浅黄橙	明赤灰	Cg	IIg	cg			深度135.23~135.62m: 角礫~細礫状をなす。 深度135.62~137.65m: 傾斜60~80度の高角度な節理と直行する低角度な節理が発達。 深度138.05~138.35m: 節理が密集し、軟質化する。 深度139.00~143.00m: 傾斜10~40程度の低角度の節理が発達。 深度143.00~144.00m: 傾斜70~90度の高角度の節理あり。節理に沿って褐色粘土を挟む。 深度144.75~148.00m: 傾斜10~20度と60~70度の交差する節理が多い。 深度148.07~148.35m: 黒褐色の酸化マンガン汚染あり。 深度151.35m: シーム。傾斜72度。幅1mm。褐色粘土状及び砂状。 深度151.38m: シーム。傾斜74度。幅2mm。黒褐色粘土状及び砂状。 深度154.45~155.60m: 節理多く、角礫状をなす。 深度155.60~160.00m: 全体に密着した節理が多く、一部角礫状をなす。 深度160.00~165.00m: 高角度な節理が多い。 深度160.30~161.00m: 節理多く、角礫~細礫状コア、節理に沿って粘土を挟む。 深度163.82m: シーム。傾斜74度。幅2mm。黒褐色粘土状及び砂状。	0 50 100	OM		0 10 20 30 40 50	12/13	42.60	65	35.0	165	0.0	1	2	12/18	46.00	77	76 泥水	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	30.0	0.0	泥水3	130	22.5	0.0	泥水2	40.0	145	100	0.0	泥水3	130	0.0	泥水5	145	0.0	泥水7	0.0	泥水10																																																																																												
		160																																																																																													+++++	浅黄橙	明赤灰	Cg	IIg	cg			深度135.23~135.62m: 角礫~細礫状をなす。 深度135.62~137.65m: 傾斜60~80度の高角度な節理と直行する低角度な節理が発達。 深度138.05~138.35m: 節理が密集し、軟質化する。 深度139.00~143.00m: 傾斜10~40程度の低角度の節理が発達。 深度143.00~144.00m: 傾斜70~90度の高角度の節理あり。節理に沿って褐色粘土を挟む。 深度144.75~148.00m: 傾斜10~20度と60~70度の交差する節理が多い。 深度148.07~148.35m: 黒褐色の酸化マンガン汚染あり。 深度151.35m: シーム。傾斜72度。幅1mm。褐色粘土状及び砂状。 深度151.38m: シーム。傾斜74度。幅2mm。黒褐色粘土状及び砂状。 深度154.45~155.60m: 節理多く、角礫状をなす。 深度155.60~160.00m: 全体に密着した節理が多く、一部角礫状をなす。 深度160.00~165.00m: 高角度な節理が多い。 深度160.30~161.00m: 節理多く、角礫~細礫状コア、節理に沿って粘土を挟む。 深度163.82m: シーム。傾斜74度。幅2mm。黒褐色粘土状及び砂状。	0 50 100	OM		0 10 20 30 40 50	12/19	56.21	65	35.0	165	0.0	1	2	12/20	57.08	71	76 泥水	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	30.0	0.0	泥水3	130	22.5	0.0	泥水2	40.0	145	100	0.0	泥水3	130	0.0	泥水5	145	0.0	泥水7	0.0	泥水10																																														
		146.25																																																																																																																																											+++++	浅黄橙	明赤灰	Cg	IIg	cg			深度135.23~135.62m: 角礫~細礫状をなす。 深度135.62~137.65m: 傾斜60~80度の高角度な節理と直行する低角度な節理が発達。 深度138.05~138.35m: 節理が密集し、軟質化する。 深度139.00~143.00m: 傾斜10~40程度の低角度の節理が発達。 深度143.00~144.00m: 傾斜70~90度の高角度の節理あり。節理に沿って褐色粘土を挟む。 深度144.75~148.00m: 傾斜10~20度と60~70度の交差する節理が多い。 深度148.07~148.35m: 黒褐色の酸化マンガン汚染あり。 深度151.35m: シーム。傾斜72度。幅1mm。褐色粘土状及び砂状。 深度151.38m: シーム。傾斜74度。幅2mm。黒褐色粘土状及び砂状。 深度154.45~155.60m: 節理多く、角礫状をなす。 深度155.60~160.00m: 全体に密着した節理が多く、一部角礫状をなす。 深度160.00~165.00m: 高角度な節理が多い。 深度160.30~161.00m: 節理多く、角礫~細礫状コア、節理に沿って粘土を挟む。 深度163.82m: シーム。傾斜74度。幅2mm。黒褐色粘土状及び砂状。	0 50 100	OM		0 10 20 30 40 50	12/21	62.16	65	35.0	165	0.0	1	2	12/22	66.00	71	76 泥水	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	30.0	0.0	泥水3	130	22.5	0.0	泥水2	40.0	145	100	0.0	泥水3	130	0.0	泥水5	145	0.0	泥水7	0.0	泥水10

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 8		調査位置							北緯			
発注機関							調査期間					東経	
調査業者名			主任技師				現代理人			コ鑑定者			ボーリング責任者
孔口標高	+ 19.14 m	角	180° 上		地盤勾配	鉛直	水平	0°	使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具	ポンプ	
総掘削長	200.00 m	度	90° 下										30°

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記述	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	L [%]	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)												
																N 値	深度	0	10	20												30	40	50									
	19.07	0.08	粘土	黒	硬				細～中粒砂と腐植混じり砂質シルトの互層。木炭が点在する。																																		
	18.94	0.23	粘土	黒	硬				中～粗粒砂。木炭を1%程度含む。																																		
	18.78	0.42	粘土	黒	硬				木炭が点在する。																																		
	18.62	0.60	粘土	黒	硬				塊状。																																		
	17.98	1.34	中砂	灰白	軟				粗粒砂が混じる。																																		
	17.33	2.09	粗砂	灰白	軟				径0.2～6cmの亜角礫を含む。																																		
	16.67	2.85	粗砂	灰白	軟				粗粒砂が混じる。																																		
	15.68	4.00	粗砂	灰白	軟				礫は径0.2～26cm。亜角～角礫。礫種は花崗斑岩。アフライト。基質はシルト混じり細～中粒砂。																																		
	14.91	4.89	砂礫	にぶい黄橙	軟				深度0.56～8.60m: 土壌を挟む。																																		
	14.46	5.40	砂礫	にぶい黄橙	軟																																						
	13.08	7.00	砂礫	にぶい黄橙	軟																																						
	8.81	11.93	花崗斑岩	にぶい黄橙	硬			δ	深度11.93～61.10m: 花崗斑岩。厚さ0.4～2.0mの黒雲母花崗岩を挟む。花崗斑岩は、径5～10mm程度の石英、カリ長石、一部斜長石、径1～2mmの黒雲母の珪晶を10～30%程度含む、石英は径0.1mm程度である。深度13.02～13.16m: 長石の粘土化著しい。深度13.10～13.16m: 幅6cm、軟質化。深度13.34～13.61m: 長石の粘土化著しい。深度15.26m: 傾斜32～16度、幅30mm砂礫状。深度15.41m: 傾斜32～38度、幅30mm砂礫状。深度15.81m: 石英脈、傾斜69度、幅5～10mm。深度16.43～17.80m: 長石が変質。黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜64度。深度18.30～20.00m: 長石が変質。																																		
	4.07	17.40	黒雲母花崗岩	にぶい黄橙	硬				花崗斑岩。上位との境界傾斜57度。深度20.10～20.16m: 幅40mm、シルト混じり砂礫状。幅10mmの礫混じり褐色粘土を挟む。																																		
	2.08	19.70	花崗斑岩	にぶい黄橙	硬			γ	深度23.40～23.55m: 酸化マンガンが細脈網目状に入る。深度23.82～23.90m: 節理に酸化マンガンを挟む。																																		
			花崗斑岩	にぶい黄橙	硬				深度25.40～25.90m: 変質を受け、節理に沿って灰白色粘土を挟む。																																		

標高 標尺 (m)	深度 (m)	柱状 図	岩種 区分	色調	硬軟	割れ目 形状	風化 変質	記 事	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 ← cm R Q D ← [ % ]	岩盤 級区分 分類	孔内水位 測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験				原位置試験 孔内水平載荷	室内 試験 日	掘進 月 日	掘進 速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コア チューブ / ビット	給 圧 (KN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)		
												N 値 ~ 深度																
			花崗斑岩		Cg	III g		深度27.62~27.70m: ベグマタイト。上位との境界傾斜20度。 深度27.92m: ベグマタイト脈。傾斜20度。幅2cm。		CM			0	10	20	30	40	50										
			花崗斑岩		Bg	IV g		黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜40度。												30.0	100							
			花崗斑岩		Cg	bg		花崗斑岩。上位との境界不明瞭。深度30.70~31.45m: 変質を受け、節理に沿って灰白色粘土を挟む。 深度31.46~33.91m: 斜長石が緑灰色に変質している。												0.0						泥水5	5	
			花崗斑岩		Dg	cg														40.0		130						
			花崗斑岩		Cg	bg	2	黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜37度。		[CM]			9/25	33,50						30.0								
			花崗斑岩		Bg	IV g		花崗斑岩。上位との境界傾斜16度。																				
			花崗斑岩		Cg	bg	2	深度36.45~37.54m: 節理に沿って酸化マンガン付着。		CM																		
			花崗斑岩		Bg	IV g		黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜45度。 深度38.28m: 傾斜62度の節理に沿って上盤割が幅10mm軟質劣化。 深度38.28~38.54m: 斜長石が緑灰色に変質している。													50.0	150	0.0			泥水5	3	
			花崗斑岩		Dg	cg		花崗斑岩。上位との境界傾斜ほぼ水平。																				
			花崗斑岩		Cg	IV g		深度41.87~42.65m: 節理が多く、角礫~細礫状。 深度43.07~43.40m: 節理が多く、角礫~細礫状。																				
			花崗斑岩		Bg	III g	3	深度43.44~43.65m: 破砕帯(Hb)。上盤54度、下盤63度。全体幅100mmシルト混じり砂礫状。礫径は7mm以下。下盤側幅20mm硬質灰白色粘土状。 黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜70度。下位との境界傾斜37度。																				
			花崗斑岩		Dg	cg	γ																					
			花崗斑岩		Bg	IV g		深度48.62~48.79m: 節理が多い。																				
			花崗斑岩		Cg	bg	2			CM																		
			花崗斑岩		Bg	III g		深度51.04~51.06m: 傾斜11~33度。砂状を呈する。 深度51.19~51.23m: 傾斜44~71度。砂礫状を呈する。 深度52.24~54.40m: 変質を受け、節理に灰白色粘土を挟む。														35.0	130	0.0			泥水5	0
			花崗斑岩		Dg	cg	3	深度53.09~53.29m: 破砕帯(Hj)。上盤52度、下盤62度。全体幅200mm。傾斜約60度の面構造発達。 深度53.29m: 傾斜62度。幅2~3mm。褐色粘土状。直線的でシャープな面。 深度53.29~53.41m: 破砕帯(Hj)。傾斜約60度の面構造発達。正断層の変位センスあり。 深度55.00~59.20m: 弱風化している																				
			花崗斑岩		Bg	IV g		深度56.15~56.18m: 節理が多い。																				
			花崗斑岩		Dg	III g		深度57.05~57.21m: 変質のためやや軟質。																				
			花崗斑岩		Cg	IV g	2	深度58.00m: 酸化マンガン脈。傾斜62度。幅0.1~0.2mm。 深度58.95~59.36m: 節理が多い。																				
			花崗斑岩		Bg	IV g		黒雲母花崗岩。上位との境界不明瞭。深度61.10~131.65m: 黒雲母花崗岩。厚さ1.0~7.3m程度の花崗斑岩やアブライトを挟む。 黒雲母花崗岩は、径5~10mm程度の石英、カリ長石一部斜長石の斑晶と径2~3mm程度の黒雲母の斑晶からなる。 深度61.19~61.57m: 節理に酸化マンガン多い。																				
			花崗斑岩		Dg	cg																						
			花崗斑岩		Bg	IV g																						
			花崗斑岩		Cg	III g																						
			花崗斑岩		Bg	IV g																						
			花崗斑岩		Dg	cg																						
			花崗斑岩		Cg	IV g																						
			花崗斑岩		Bg	IV g																						
			花崗斑岩		Dg	cg																						
			花崗斑岩		Cg	IV g																						
			花崗斑岩		Bg	IV g																						
			花崗斑岩		Dg	cg																						
			花崗斑岩		Cg	IV g																						
			花崗斑岩		Bg	IV g																						
			花崗斑岩		Dg	cg																						
			花崗斑岩		Cg	IV g																						
			花崗斑岩		Bg	IV g																						
			花崗斑岩		Dg	cg																						
			花崗斑岩		Cg	IV g																						
			花崗斑岩		Bg	IV g																						
			花崗斑岩		Dg	cg																						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定期日) (N) 値	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)							
																N 値 ~ 深度																					
				黒雲母花崗岩	灰黄褐	II g	IV g				深度62.35m~62.39m: シーム。幅0.1~1mmの灰白色粘土状。逆断層のセンスあり。	0 50 100				0 10 20 30 40 50																					
				黒雲母花崗岩	褐	II g	IV g				深度64.95~64.99m: 変質帯。上盤55度。下盤62度。全体幅20~30mm。灰白色粘土状。																										
				黒雲母花崗岩	にぶい褐	II g	IV g				深度66.00~66.30m: 節理密集部で砂礫状をなす。一部粘土を挟む。 深度66.44~66.57m: 砂礫状部。																										
				黒雲母花崗岩	灰褐	II g	IV g				深度71.90~72.19m: 変質帯。上盤14度。下盤30度。原岩組織は不明瞭。一部砂状。																										
				黒雲母花崗岩	にぶい黄橙	VI g	cg				深度74.70m: 方解石脈。傾斜55度。幅5~10mm。 深度75.34~77.75m: 破砕帯 (Hb)。上盤48度。下盤89度。一部に灰白色粘土幅1~10mm。褐色粘土幅0.1~1mmを挟む。非対称変形構造からみかけ正断層の変位センスあり。																										
				花崗斑岩	にぶい橙	II g	IV g				花崗斑岩。上位との境界波打つ。																										
				黒雲母花崗岩	にぶい黄橙	II g	IV g				黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜54度。 深度80.45~81.46m: 変質帯。上盤72度。下盤42度。節理に灰白色粘土を挟む。																										
				黒雲母花崗岩	にぶい黄橙	II g	IV g				花崗斑岩。上位との境界傾斜20度。																										
				花崗斑岩	浅黄	II g	IV g				深度83.94~85.71m: 変質帯。上盤18度。疎状。節理に沿って灰白色粘土を挟む。石英脈あり。 深度84.76m: 石英脈。傾斜64度。幅40~50mm。 深度85.27m: 石英脈。傾斜80度。幅1~10mm。 深度85.71~90.00m: 全体に節理多く。節理に沿って粘土を挟む。																										
				黒雲母花崗岩	浅黄橙	II g	IV g				深度90.00~91.08m: 節理に粘土を挟み軟質。 黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜75度。																										
				黒雲母花崗岩	明黄褐	II g	IV g				深度92.02~92.89m: 節理に酸化マンガが多い。																										
				花崗斑岩	にぶい黄橙	II g	IV g				花崗斑岩。上位との境界傾斜20度。																										
				黒雲母花崗岩	黄褐	II g	IV g				黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜40度。																										
				黒雲母花崗岩	明黄褐	II g	IV g				深度95.55~95.61m: 砂礫状。																										

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	変質	記	コ	採取率 (%)			岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																				
											最大	コア長	コア径			N 値 ~ 深度																																																																																																														
100	67.59	100.15	花崗斑岩	明黄褐	Dg	I g	bg	2	深度99.80~100.13m: 破砕帯(Hj)。上盤60度。下盤60度。幅10mm。粘土細脈増目状。花崗斑岩。上位との境界は破砕帯。傾斜60度。	2	100	99.20	CL	99.20	0	0	0	0	0	0																																																																																																										
70.45	103.45	黒雲母花崗岩																													明黄褐	Dg	I g	bg	2	深度101.59m: シーム。56度。幅2~5mm褐色粘土状。	2	100	100.14	CM	100.14	0	0	0	0	0	0																																																																															
110	79.19																																																									113.54	黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	I g	bg	2	深度104.72m: 酸化マンガン・石英脈。傾斜58度。幅1~10mm。深度105.27m: 酸化マンガン脈。傾斜12度。幅1~10mm。	2	100	104.26	CL	104.26	0	0	0	0	0	0	0																																																	
79.99	114.47																																																									黒雲母花崗岩																													明黄褐	Dg	I g	bg	2	深度107.55m: 酸化マンガン脈。傾斜25度。幅1~10mm。深度107.99m: 酸化マンガン脈。傾斜28度。幅2~5mm。2条あり。深度108.22m: 石英脈。上盤57度。下盤36度。幅0~80mm。閉じる。深度108.46m: シーム。傾斜63度。幅0.1~2mmの灰白色粘土状。深度108.85m: シーム。傾斜34度。幅2~5mmの褐色粘土状。	2	100	108.44	CM	108.44	0	0	0	0	0	0	0	0																					
120	79.99																																																																																																																		114.47	黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	I g	bg	2	深度112.30~112.61m, 112.95~113.24m: 砂礫状コア。アブライト。上位との境界傾斜67度。	2	100	112.24	D'
130	94.87			131.65	黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	I g	bg	2	黒雲母花崗岩。上位との境界は破砕帯。傾斜48度。深度114.47~114.67m: 破砕帯(Hj)。上盤46度。下盤18度。傾斜67度。幅2~10mmの褐色粘土状。深度120.37~120.43m: 破砕帯(Hc)。上盤56度。下盤20度。幅30mm灰白色粘土状。深度120.43~121.21m: 破砕帯(Hb)。上盤20度。砂礫状。深度124.30~124.31m: 破砕帯(Hc)。上盤18度。下盤23度。幅10~15mm褐色粘土状。深度124.35~124.37m: 破砕帯(Hc)。上盤46度。下盤56度。幅10~15mm褐色粘土状。深度124.37~124.61m: 破砕帯(Hj)。上盤56度。下盤55度。礫状。深度124.61~124.62m: 破砕帯(Hc)。上盤55度。下盤57度。幅5~10mmの褐色粘土状。深度124.62~125.00m: 破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤不明。礫状。深度125.00~125.11: 破砕帯(Hc)。上盤不明。下盤19度。礫混じり固結シルト状。深度125.11~125.12m: 破砕帯(Hc)。上盤19度。下盤21度。幅5~15mm褐色粘土状。深度125.12~125.19m: 破砕帯(Hc)。上盤21度。下盤10度。浅黄褐色固結シルト状。深度125.19~125.20m: 破砕帯(Hc)。上盤10度。下盤12度。幅5~15mm褐色粘土状。深度125.20~125.43m: 破砕帯(Hb)。上盤12度。下盤32度。シルト質礫状。深度125.43~125.52m: 破砕帯(Hc)。上盤32度。下盤27度。幅90mmの褐色粘土状。深度125.52~127.45m: 破砕帯(Hj)。上盤27度。下盤58度。礫状。部分的に原岩残す。深度128.46~131.65m: 破砕帯(Hb)。上盤16度。下盤48度。幅0.1~20mm。原岩組織不明。深度131.65~131.68m: 破砕帯(Hc)。上盤48度。下盤56度。全幅15~20mm。上盤から幅0.1~10mmの褐色粘土状。幅0~3mmの灰白色粘土状。幅10~15mmの灰白色粘土状。幅1~12mmの褐色粘土状。直線約でシャーアブである。深度131.68~132.09m: 破砕帯(Hb)。上盤56度。下盤6度。深度131.68~131.90m: 固結灰白色粘土状。深度131.90~132.09m: 固結砂礫状。深度131.65~136.53m: アブライト全体に変質受けて暗オリーブ灰~灰オリーブ色帯びる。細粒緻密で斑晶は認められない。全体に破砕状で、頻りに方解石脈を挟む。深度133.69~133.92m: 変質帯。上盤19度。下盤30度。幅40mm。緑灰色シルト質細礫状。方解石脈に平行。	2	100	136.53	CL	136.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																			
135	105.06	111.66		ダブルコアチューブ / ダイアビット																											明黄褐	Dg	I g	bg	2	深度107.55m: 酸化マンガン脈。傾斜25度。幅1~10mm。深度107.99m: 酸化マンガン脈。傾斜28度。幅2~5mm。2条あり。深度108.22m: 石英脈。上盤57度。下盤36度。幅0~80mm。閉じる。深度108.46m: シーム。傾斜63度。幅0.1~2mmの灰白色粘土状。深度108.85m: シーム。傾斜34度。幅2~5mmの褐色粘土状。	2	100	108.44	CM	108.44	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																												
135	105.06	111.66																																																									ダブルコアチューブ / ダイアビット	明黄褐	Dg	I g	bg	2	深度112.30~112.61m, 112.95~113.24m: 砂礫状コア。アブライト。上位との境界傾斜67度。	2	100	112.24	D'	112.24	0	0	0	0	0	0	0																																																	
135	105.06	111.66																																																								ダブルコアチューブ / ダイアビット																													明黄褐	Dg	I g	bg	2	黒雲母花崗岩。上位との境界は破砕帯。傾斜48度。深度114.47~114.67m: 破砕帯(Hj)。上盤46度。下盤18度。傾斜67度。幅2~10mmの褐色粘土状。深度120.37~120.43m: 破砕帯(Hc)。上盤56度。下盤20度。幅30mm灰白色粘土状。深度120.43~121.21m: 破砕帯(Hb)。上盤20度。砂礫状。深度124.30~124.31m: 破砕帯(Hc)。上盤18度。下盤23度。幅10~15mm褐色粘土状。深度124.35~124.37m: 破砕帯(Hc)。上盤46度。下盤56度。幅10~15mm褐色粘土状。深度124.37~124.61m: 破砕帯(Hj)。上盤56度。下盤55度。礫状。深度124.61~124.62m: 破砕帯(Hc)。上盤55度。下盤57度。幅5~10mmの褐色粘土状。深度124.62~125.00m: 破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤不明。礫状。深度125.00~125.11: 破砕帯(Hc)。上盤不明。下盤19度。礫混じり固結シルト状。深度125.11~125.12m: 破砕帯(Hc)。上盤19度。下盤21度。幅5~15mm褐色粘土状。深度125.12~125.19m: 破砕帯(Hc)。上盤21度。下盤10度。浅黄褐色固結シルト状。深度125.19~125.20m: 破砕帯(Hc)。上盤10度。下盤12度。幅5~15mm褐色粘土状。深度125.20~125.43m: 破砕帯(Hb)。上盤12度。下盤32度。シルト質礫状。深度125.43~125.52m: 破砕帯(Hc)。上盤32度。下盤27度。幅90mmの褐色粘土状。深度125.52~127.45m: 破砕帯(Hj)。上盤27度。下盤58度。礫状。部分的に原岩残す。深度128.46~131.65m: 破砕帯(Hb)。上盤16度。下盤48度。幅0.1~20mm。原岩組織不明。深度131.65~131.68m: 破砕帯(Hc)。上盤48度。下盤56度。全幅15~20mm。上盤から幅0.1~10mmの褐色粘土状。幅0~3mmの灰白色粘土状。幅10~15mmの灰白色粘土状。幅1~12mmの褐色粘土状。直線約でシャーアブである。深度131.68~132.09m: 破砕帯(Hb)。上盤56度。下盤6度。深度131.68~131.90m: 固結灰白色粘土状。深度131.90~132.09m: 固結砂礫状。深度131.65~136.53m: アブライト全体に変質受けて暗オリーブ灰~灰オリーブ色帯びる。細粒緻密で斑晶は認められない。全体に破砕状で、頻りに方解石脈を挟む。深度133.69~133.92m: 変質帯。上盤19度。下盤30度。幅40mm。緑灰色シルト質細礫状。方解石脈に平行。	2	100	136.53	CL	136.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		
135	105.06	111.66																																																																																																																		ダブルコアチューブ / ダイアビット	明黄褐	Dg	I g	bg	2	黒雲母花崗岩。上位との境界は破砕帯。傾斜48度。深度114.47~114.67m: 破砕帯(Hj)。上盤46度。下盤18度。傾斜67度。幅2~10mmの褐色粘土状。深度120.37~120.43m: 破砕帯(Hc)。上盤56度。下盤20度。幅30mm灰白色粘土状。深度120.43~121.21m: 破砕帯(Hb)。上盤20度。砂礫状。深度124.30~124.31m: 破砕帯(Hc)。上盤18度。下盤23度。幅10~15mm褐色粘土状。深度124.35~124.37m: 破砕帯(Hc)。上盤46度。下盤56度。幅10~15mm褐色粘土状。深度124.37~124.61m: 破砕帯(Hj)。上盤56度。下盤55度。礫状。深度124.61~124.62m: 破砕帯(Hc)。上盤55度。下盤57度。幅5~10mmの褐色粘土状。深度124.62~125.00m: 破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤不明。礫状。深度125.00~125.11: 破砕帯(Hc)。上盤不明。下盤19度。礫混じり固結シルト状。深度125.11~125.12m: 破砕帯(Hc)。上盤19度。下盤21度。幅5~15mm褐色粘土状。深度125.12~125.19m: 破砕帯(Hc)。上盤21度。下盤10度。浅黄褐色固結シルト状。深度125.19~125.20m: 破砕帯(Hc)。上盤10度。下盤12度。幅5~15mm褐色粘土状。深度125.20~125.43m: 破砕帯(Hb)。上盤12度。下盤32度。シルト質礫状。深度125.43~125.52m: 破砕帯(Hc)。上盤32度。下盤27度。幅90mmの褐色粘土状。深度125.52~127.45m: 破砕帯(Hj)。上盤27度。下盤58度。礫状。部分的に原岩残す。深度128.46~131.65m: 破砕帯(Hb)。上盤16度。下盤48度。幅0.1~20mm。原岩組織不明。深度131.65~131.68m: 破砕帯(Hc)。上盤48度。下盤56度。全幅15~20mm。上盤から幅0.1~10mmの褐色粘土状。幅0~3mmの灰白色粘土状。幅10~15mmの灰白色粘土状。幅1~12mmの褐色粘土状。直線約でシャーアブである。深度131.68~132.09m: 破砕帯(Hb)。上盤56度。下盤6度。深度131.68~131.90m: 固結灰白色粘土状。深度131.90~132.09m: 固結砂礫状。深度131.65~136.53m: アブライト全体に変質受けて暗オリーブ灰~灰オリーブ色帯びる。細粒緻密で斑晶は認められない。全体に破砕状で、頻りに方解石脈を挟む。深度133.69~133.92m: 変質帯。上盤19度。下盤30度。幅40mm。緑灰色シルト質細礫状。方解石脈に平行。	2	100	136.53	CL
135	105.06	111.66	ダブルコアチューブ / ダイアビット		明黄褐	Dg	I g	bg	2	黒雲母花崗岩。上位との境界は破砕帯。傾斜48度。深度114.47~114.67m: 破砕帯(Hj)。上盤46度。下盤18度。傾斜67度。幅2~10mmの褐色粘土状。深度120.37~120.43m: 破砕帯(Hc)。上盤56度。下盤20度。幅30mm灰白色粘土状。深度120.43~121.21m: 破砕帯(Hb)。上盤20度。砂礫状。深度124.30~124.31m: 破砕帯(Hc)。上盤18度。下盤23度。幅10~15mm褐色粘土状。深度124.35~124.37m: 破砕帯(Hc)。上盤46度。下盤56度。幅10~15mm褐色粘土状。深度124.37~124.61m: 破砕帯(Hj)。上盤56度。下盤55度。礫状。深度124.61~124.62m: 破砕帯(Hc)。上盤55度。下盤57度。幅5~10mmの褐色粘土状。深度124.62~125.00m: 破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤不明。礫状。深度125.00~125.11: 破砕帯(Hc)。上盤不明。下盤19度。礫混じり固結シルト状。深度125.11~125.12m: 破砕帯(Hc)。上盤19度。下盤21度。幅5~15mm褐色粘土状。深度125.12~125.19m: 破砕帯(Hc)。上盤21度。下盤10度。浅黄褐色固結シルト状。深度125.19~125.20m: 破砕帯(Hc)。上盤10度。下盤12度。幅5~15mm褐色粘土状。深度125.20~125.43m: 破砕帯(Hb)。上盤12度。下盤32度。シルト質礫状。深度125.43~125.52m: 破砕帯(Hc)。上盤32度。下盤27度。幅90mmの褐色粘土状。深度125.52~127.45m: 破砕帯(Hj)。上盤27度。下盤58度。礫状。部分的に原岩残す。深度128.46~131.65m: 破砕帯(Hb)。上盤16度。下盤48度。幅0.1~20mm。原岩組織不明。深度131.65~131.68m: 破砕帯(Hc)。上盤48度。下盤56度。全幅15~20mm。上盤から幅0.1~10mmの褐色粘土状。幅0~3mmの灰白色粘土状。幅10~15mmの灰白色粘土状。幅1~12mmの褐色粘土状。直線約でシャーアブである。深度131.68~132.09m: 破砕帯(Hb)。上盤56度。下盤6度。深度131.68~131.90m: 固結灰白色粘土状。深度131.90~132.09m: 固結砂礫状。深度131.65~136.53m: アブライト全体に変質受けて暗オリーブ灰~灰オリーブ色帯びる。細粒緻密で斑晶は認められない。全体に破砕状で、頻りに方解石脈を挟む。深度133.69~133.92m: 変質帯。上盤19度。下盤30度。幅40mm。緑灰色シルト質細礫状。方解石脈に平行。	2	100	136.53	CL	136.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																					

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟状	コア形状	変質	記	コア採取率	岩盤区分	( 標準貫入試験 ) 試験				室内試験	掘進速度	孔徑	コアナチューブ	給圧	回転数	送水	送水	排水
												N 値 ~ 深度												
(m)	(m)	(m)	図	分					事	(%)		N 値 ~ 深度				(N) 値								
										← ( % )		N 値 ~ 深度				( N ) 値								
									記	←	区													
									事	→	分													
										←														
										→														
										←														
										→														

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	記号	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 → cm R Q D L [ % ]	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日		( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)																																																					
												N 値	深度	N 値	深度	N 値	深度	N 値											深度																																																				
				花崗斑岩	灰白	bg	III g	7	2	深度171.58m：幅2mの黒褐色粘土付着。 深度171.80～172.70m：網目状に節理発達。節理に沿って黒褐色を帯びる。		CM	171.60																																																																				
																																灰白	bg	IV g			深度174.64～175.54m：変質を受けて黄褐色を帯びる。密着及び開口した節理が多い。		CL	172.73																																									
																																																										灰黄褐	bg	III g			深度175.80～180.00m：傾斜60度以上の高角度な節理が主体。密着した節理は少ない。		CM	174.14															
																																にがい黄橙	bg	III g			深度182.10m：シーム。傾斜65度。幅2～5mmの黒褐色凝混じりシルト質砂状。		CM	178.00																																									
																																																						にがい黄橙	bg	IV g			深度183.21m：シーム。傾斜65度。幅2～5mmの黒褐色凝混じりシルト質砂状。		CM	186.04																			
																																																																												にがい黄橙	bg	III g			深度185.00～190.00m：全体に傾斜70度以上の高角度節理が10～20cm間隔で発達。
																																にがい黄橙	bg	IV g			深度186.01～187.17m：節理が密着し、短柱～角礫状コア。		CL	189.31																																									
																																																					にがい黄橙	bg	III g			深度187.17～190.00m：比較的硬質で良好な岩盤。		CM	192.31																				
																																																																										にがい黄橙	bg	IV g			深度189.00～192.31m：変質弱く、比較的硬質で良好な岩盤。		CM
																																にがい黄橙	bg	III g			深度191.49m：シーム。傾斜70度。幅1～2mmの砂状。傾斜約90度。幅1mmの石英脈を見かけ1.5cm正断層的にずらす。実線方向はほぼ垂直。		CL	196.81																																									
																																																					にがい黄橙	bg	IV g			深度192.86m：シーム。傾斜73度。幅2～3mm暗褐色凝混じりシルト質砂状。下盤に厚さ0.2～0.3cmの石英脈を伴う。破砕部に径3mmの石英角粒を伴う。		CL	198.81																				
																																																																										にがい黄橙	bg	III g			深度194.42m：シーム。傾斜72度。幅2～4mmの褐灰色シルト状。下盤側は、変質により明黄色を帯び、マンガン汚染により、黄、黒の縞状を呈する。		CM
																																にがい黄橙	bg	IV g			深度196.39m：シーム。傾斜67度。幅2～4mmの砂～礫状。上盤に厚さ0.1～0.2cmの石英脈付着。破砕部に径0.3cm程度の角礫化した石英脈を含む。		CM	206.00																																									
																																																					にがい黄橙	bg	III g				深度199.00～200.00m：変質弱く、比較的硬質で良好な岩盤。		CM	206.00																			

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.															
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No.10			調査位置									北緯					
発注機関									調査期間					東経				
調査業者名					主任技師					現代理人			コ定ア者			ボーリング責任者		
孔口標高	+ 24.20 m	角	180°	方	北 0°	地盤勾配	水平 0°		使用機種	試験機		ハンマー 落下用具						
総掘削長	120.00 m	度	90°	向	270°	90°	東	90°	南	0°	エンジン		ポンプ					

標尺 (m)	高度 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩種	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩級区分	岩盤分類	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)											
																N 値 ~ 深度	0	10	20	30											40	50									
	22.77	1.43	盛土	灰褐						礫は径1~3cm.																															
	22.53	1.67	盛土	浅黄						旧盛土。礫、腐植質シルト混じり砂。深度2.00~2.94m: 礫率70%、アフライトの巨礫主体。深度2.94~3.82m: 礫率5~10%、径3cm程度の風化垂角礫を含む。																															
	22.20	2.00	盛土	黒褐						礫は径1~5cm程度の垂角礫。礫種は花崗斑岩。アフライト主体。所々に、アフライトのくさり礫を含む。基質はシルト質細~中粒砂。																															
	20.38	3.82	旧盛土	明褐						深度5.62~11.00m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を5~20%程度含み、石基は径0.5mm程度である。																															
	18.58	5.62	シルト混り砂礫	明褐						コアは岩芯まで風化を受け陸くなっている。主な節理は傾斜50~60度程度で10~30cm間隔で発達。面には厚さ1mm以下の明褐色粘土を付着する。柱~長柱状コアを呈するが、密着した不明瞭な節理も多い。																															
			明褐灰	黄橙						深度11.00~54.50m: 花崗斑岩。径3~10mmの石英及び径1~3mmの長石。黒雲母の斑晶を1~25%程度含み、石基は径0.1mm程度である。深度11.50m: シーム。傾斜50度。幅6~10mm。明褐色粘土状。深度12.08m: シーム。傾斜60度。幅4mm。明褐色粘土状。鏡肌有り。条線方向は50度左。深度13.01m: シーム。傾斜50度。幅5~7mm。明褐色粘土状。																															
			明褐灰	黄橙						深度14.47m: シーム。傾斜52度。幅5mm。やや固結した明褐色粘土状。																															
			花崗斑岩							深度19.00m: 傾斜65度の節理に沿って。幅4~7mmの砂混じり橙褐色粘土(流入粘土)を挟む。																															
			明褐灰	黄橙						深度21.55m: 石英脈幅2~3mm。傾斜65度。																															
			明褐灰	黄橙						深度25.59m (傾斜80度)、深度25.92m (傾斜70度): 節理に沿って幅1.0~1.5mmの灰白色軟質粘土を挟む。																															

標尺	高さ	深度	柱状	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位/測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
														( N 値 ~ 深度 )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
30			+	花崗斑岩	にぶい黄橙	Cg IIIg	Bg IIg	bg	2	γ	深度27.20~27.40m, 27.30~28.82m: 風化を受けて斜長石が粘土化している。 深度27.56~27.60m: 白雲母濃集。 深度28.46~28.53m: 破砕帯 (Hc)。上盤68度, 下盤63度, 幅20mm。暗褐色緑混じりシルト質砂状。	CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
																																		30			+	花崗斑岩	明褐灰	Cg IIIg	Dg	cg	2	γ	深度30.42~30.53m: 幅40mm暗灰色緑混じり砂質シルト状。 深度30.91~31.04m: 傾斜58度及び傾斜78度の亀裂に沿って変質し、緑混じり砂状を呈する。	CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
																																																																		30			+	花崗斑岩	明褐灰	Cg IIIg	Dg	bg	2	γ	深度33.36~33.47m: 幅60mmの黄褐色シルト混じり砂状。	CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																										
																																																																																																	30			+	花崗斑岩	明褐灰	Cg IIIg	Dg	cg	2	γ	深度35.24~36.61m: 傾斜70~85度及び傾斜60度の節理発達。径3~5cmの岩片状コア及び節理間隔1~3cmのコアをなす。	CL	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																											
																																																																																																																																30			+	花崗斑岩	にぶい橙	Eg	cg	3	δ	深度36.61~36.76m: 変質帯, 明褐色シルト質砂状。上盤60度, 幅1~2mmの灰白色粘土。下盤74度, 幅2~3mmの黄褐色粘土。中間部幅8~10cm明褐色シルト質砂状。 深度36.92~37.30m: 変質により緑~緑混じり砂状を呈する。 深度37.84~38.35m: 節理密集部, 変質を受け軟質化する。 深度39.00~39.14m: 破砕帯 (Hc)。上盤73度, 下盤60度。幅40mmの灰白色粘土状。 深度40.19~41.57m: 傾斜80度の密着した節理が2~10cm間隔で発達する。	CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																													
																																																																																																																																																																	30			+	花崗斑岩	浅黄橙	Cg IVg	Bg	γ	2	γ	深度43.19~43.74m: 変質帯, 上盤22度, 下盤43度。シルト質砂状~径1cm以下の細礫状。 深度43.19m: 傾斜22度, 幅2~5mmの灰白色粘土を挟む。 深度43.65m: 傾斜55度, 緑灰色を帯びた石英脈, 幅1mmの灰白色粘土を挟む。 深度45.00~46.75m: 傾斜70~75度及び50~40度の節理発達。短柱~岩片状コア, 風化をうけコアの表面粗い。	CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																											
																																																																																																																																																																																																			30			+	花崗斑岩	浅黄橙	Eg VIg	Dg	cg	3	δ	深度48.90~49.14m: 傾斜70~85度の節理に沿って、酸化マンガン濃集。 深度51.42~52.00m: 傾斜60度~80度の節理が交差する。全体に酸化マンガンを汚染させる。薄い砂状~砂質シルト状物を伴う。	CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																									
																																																																																																																																																																																																																																			30			+	花崗斑岩	明褐灰	Cg IVg	Bg	γ	2	γ	深度54.50~54.60m: 花崗斑岩。径3~7mmの石英, 長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を40~50%程度含む。石英は径0.5mm以上で組織はほぼ均質である。 深度54.57m: 傾斜70度の節理に沿って黄鉄鉱濃集。 深度55.00~55.75m: 傾斜75~80度の密着した節理に沿って黄鉄鉱付着。 深度56.02~56.08m: 葉片状, 節理間隔0.5~1.5cm。 深度56.59~56.62m: 葉片状, 節理間隔0.3~1.5cm。岩質脆い。 深度58.46m: 傾斜80度の密着した節理に沿って黄鉄鉱付着。 深度58.93~59.35m: 節理に沿って酸化マンガン濃集。	CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																									
																																																																																																																																																																																																																																																																					30			+	花崗斑岩	にぶい橙	Bg IIg	Bg	γ	2	γ	深度62.46~62.56m: 傾斜30~37度。節理間隔0.5~1.5cm。変質により岩質脆い。	CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																							
																																																																																																																																																																																																																																																																																																				30			+	花崗斑岩	明褐灰	Bg IIg	Bg	γ	2	γ		CM	N	0	10	20	30	40	50																																								
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		30			+	花崗斑岩	明褐灰	Bg IIg	Bg	γ	2	γ		CM	N	0	10	20	30	40	50										
30			+	花崗斑岩	明褐灰	Bg IIg	Bg	γ	2	γ		CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
																														30			+	花崗斑岩	明褐灰	Bg IIg	Bg	γ	2	γ		CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
																																																												30			+	花崗斑岩	明褐灰	Bg IIg	Bg	γ	2	γ		CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																
																																																																																										30			+	花崗斑岩	明褐灰	Bg IIg	Bg	γ	2	γ		CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																		
																																																																																																																									30			+	花崗斑岩	明褐灰	Bg IIg	Bg	γ	2	γ		CM	N	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																			

標尺	高度	深	柱状	岩種	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記	岩	岩盤	孔内水位	標準貫入試験		原位置試験	室内	掘進	孔徑	給送	送水	送水	排水																			
														N値	深度									試験																		
70				花崗斑岩	明褐灰	Ig IIg bg	β			深度63.96~65.00m: 傾斜75~80度の密着~開口した節理が3~4cm間隔で、さらに傾斜15~60度の節理が3~15cm間隔で発達し、全体に短柱状コアをなす。 深度64.00~71.00m: 花崗斑岩。径4mmの石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。 深度65.77~69.05m: 傾斜30~50度と傾斜70~80度の節理発達。密着した節理に沿って褐色化する。低角度と高角度の節理が交差し、部分的に角礫状をなす。	B'	OM																														
					いざい橙	Cg IVg bg cg IIIg IVg IIIg cg Dg IVg IIIg Cg IVg IIIg Cg IVg IIIg Bg IIg IIIg Cg IVg IIIg	γ			深度70.71~70.92m: 傾斜54~76度の節理が1~5cm間隔で鋭角に交わり、岩片状をなす。 深度71.00~76.00m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を30%程度含み、石基は径0.5mm程度である。	B'	OM																														
					褐灰	Ig IIg Cg IVg IIIg Bg IIg IIIg Cg IVg IIIg Bg IIg IIIg Cg IVg IIIg	β		2	深度73.62~73.63m: 破砕帯(Hc)。傾斜60度。幅10~15mm。明黄~褐色の砂・細礫混じりシルト状。礫は径0.2~0.4cm。石英の垂角礫からなる。 深度76.00~81.30m: 花崗斑岩。径3mm程度の石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.5mm程度で全体に均質である。 深度78.67~79.32m: 短柱状コア。傾斜70~80度の節理と傾斜2~25度の節理が発達。 深度80.05~80.79m: 節理に沿って、厚さ1mm以下の軟質灰白色粘土を挟む。	B'	OM																														
80					いざい橙	Ig IIg Cg IVg IIIg Bg IIg IIIg Cg IVg IIIg	γ			深度81.30~88.30m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石及び径1~3mmの黒雲母の斑晶を3~30%程度含み、石基は径0.1~0.5mm。下部に黒雲母を多く含む。 深度83.32~84.56m: 傾斜40~55度の節理に厚さ1mm以下の面結した黄緑~褐色シルトを挟む。 深度87.47~87.64m: 0.3~0.5cm間隔で平行した節理が発達し、径0.3~1.0cmの岩片状コアを呈する。岩片の表面には皸肌がある。	B'	CH																														
90					いざい橙	Ig IIg Cg IVg IIIg Bg IIg IIIg Cg IVg IIIg	γ			深度88.30~103.00m: 花崗斑岩。径5~10mmの石英、長石及び径1~3mmの黒雲母の斑晶を5~20%程度含み、石基は径0.1~0.2mm程度である。 深度96.20~99.90m間は斑晶含有多い。 深度99.49~89.59m: 節理密集部。傾斜50~60度。径0.3~1.0cmの細片状コアをなす。 深度90.81~91.23m: 傾斜55~75度の平行した節理発達。下盤側には、厚さ0.3~1.0cmの礫状物を伴う。 深度91.51~91.53m: 傾斜28~31度。幅20mm、径10~20mmの礫状。 深度91.88~92.60m: 傾斜80~90度の節理発達。 深度93.90~94.70m: 傾斜80~90度の節理発達。 深度95.00~99.40m: 主として傾斜20度以下の節理が10~50cm間隔で発達。柱~長柱状コア。	B'	OM																														
					いざい橙	Ig IIg Cg IVg IIIg	γ																																			

No.10(3/4)

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験)試験			原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進進捗(時)	掘進速度(cm/時)	孔径(mm) / 孔壁保護	コアカチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1/分)	排水量(1/分)		
																N 値	N 値	N 値													
		100		花崗斑岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明褐灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	γ			深度101.08~102.57m: 高角度な節理発達。節理に褐色粘土を挟むことが多い。	0 50 100	OM										103								
		100		花崗斑岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明赤灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	β			深度103.00~115.15m: 花崗斑岩。径5~10mmの石英、長石及び径1~3mmの黒雲母の斑晶を30%程度含み、石英は径0.1mm程度で、組織は全体に均質である。	0 50 100	OM, CL, B, CH, B, OM												108						
		100		花崗斑岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明赤灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	β			深度106.54~106.60m: 0.5~1.0cm間隔で板状に節理発達。	0 50 100	OM, CL, OM																		
		110		花崗斑岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明赤灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	β			深度111.18~114.93m: 高角度な節理(密着も含め)発達。	0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	
		110		花崗斑岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明赤灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	β			深度111.97m: シーム。傾斜64度。幅8~10mm。粘土状、角礫状。	0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	
		115.15		黒雲母花崗岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明褐灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	γ			黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜69度。	0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	
		115.15		黒雲母花崗岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明褐灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	γ			深度115.15~120.00m: 黒雲母花崗岩。径10mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶からなる。	0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	
		115.15		黒雲母花崗岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明褐灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	γ			深度116.03~116.35m: 節理に沿って酸化マンガ、酸化鉄汚染を受けている。	0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	
		115.15		黒雲母花崗岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明褐灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	γ			深度118.84~119.27m: 節理に沿って酸化マンガ、酸化鉄汚染を受けている。	0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	
		120.00		黒雲母花崗岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明褐灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	γ				0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	
		90.95		黒雲母花崗岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明褐灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	γ				0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	
		95.80		黒雲母花崗岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明褐灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	γ				0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	
		120.00		黒雲母花崗岩	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	明褐灰	IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	γ				0 50 100	OM, CL, OM, CH, B	[CM]																	

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.							
----------	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No.11			調査位置			北緯					
発注機関							調査期間			東経		
調査業者名	主任技師						現代理人			ボーリング者		
孔口標高	+ 32.11 m			角			方			コ		
総掘削長	120.00 m			度			向			ア		
	180°上			90°			北 0°			定		
	90°			270°			西 180°			者		
	0°			東 90°			南 0°			ポン		
	地盤勾配			鉛直			使用機種			ハンマー		
	0°			0°			エンジン			落下用具		

標尺	標高	深	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コ	割	風	変	記	コア採取率	最大コア長	岩級区分	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験)試験					室	掘進	掘進	孔	給	回	送	送	排				
																	N	値	〜	深	度										内	試	験	試
		26.03		盛土	黄褐		VIg	dg	ε		雑砂、シルトからなる。	0	50						0	10	20	30	40	50	133	114	10.0	100	0.0	0	0			
		6.08			灰白		Dg				深度6.08~41.35m:アブライト、厚さ1.2~1.7m程度の花崗岩を挟む。	0	100	b'																20.0				
	10	14.66		アブライト	明黄褐		IVg				アブライトは、石基が径0.1mm以下で、一部径0.1~0.2mm程度である。径5~10mmの石英、長石の斑晶が僅かに点在する(0.5%以下)。一部石基中に黒雲母を多く含む。流理は20~30度程度である。	0	100	cl.	[D]																165	0.0	泥水1	0
		17.45			灰白		Dg				深度10.00~18.00m:節理は発達するが、酸化マンガンを挟み密着している。	0	100																					
		17.45		アブライト	明黄褐		Ig				深度11.35m:シーム。傾斜65度。幅1~2mm。黒褐色、一部灰白色シルト状。	0	100																					
		13.01			灰白		Dg		δ		深度14.40~14.43m:ベグマタイト。	0	100																					
		19.10		花崗斑岩	明黄褐		Ig				全体に風化強く、長石は白色化している。花崗斑岩、上位との境界漸移的、下位との境界漸移的。	0	100																					
	20	19.10			灰白		Dg				深度19.10~25.00m:節理に沿って褐色化しているが、岩芯は新鮮な部分が多い。	0	100																					
		26.94		アブライト	明黄褐		Ig				深度22.45~22.48m。22.55~22.62m:斑晶の多い部分を挟む。	0	100																					
					黄橙		IIIg				深度25.00~26.40m:全体に褐色化著しい。	0	100																					
					黄橙		IVg				深度26.40~26.65m:斑晶多い。	0	100																					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
															( N 値 ~ 深度 )																			
	3.91	28.20		花崗斑岩	淡黄	Dg	IVg	cg	γ	2	長石は白色化し、やや軟質。花崗斑岩、上位との境界漸移的、下位との境界漸移的。	0 50 100	CL	[CL]	0 10 20 30 40 50																			
				アブライト	灰白	IIg	Ig	IIg	β		深度28.80~40.00m: 全体に新鮮岩主体、節理少なく、節理に沿って褐色化する。																							
				アブライト	明褐	IIg	Ig	IIg	α	1																								
				アブライト	灰白	IIg	Ig	IIg	α																									
				アブライト	橙	Cg	Ig	IIg	β		深度37.70~37.86m: 節理密集部。部分的に疎状化する。																							
				アブライト	にぶい黄橙	Ig	IIg	α			深度40.00~42.00m: 全体に褐色化する。																							
				アブライト	にぶい黄橙	IIg	Ig	IIg	α																									
				アブライト	灰白	IVg	IIg	IVg	bg		花崗斑岩、上位との境界不明瞭。深度41.35~46.90m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石斑晶を1~5%程度含み、径1~2mmの黒雲母の斑晶が点在する。石英は径0.5mm程度である。																							
				花崗斑岩	淡黄	Dg	IVg	cg			深度43.95~45.84m: 変質により軟質化している。高角度な節理に幅2mm程度の粘土を挟む。																							
				アブライト	灰白	Dg	IVg	Vg	bg		アブライト、上位との境界傾斜60~70度。深度46.90~102.70m: アブライト。石英は径0.1mm以下で、一部径0.1~0.2mm程度である。径5~10mmの石英、長石斑晶が僅かに点在する (0.5%以下)。																							
				アブライト	浅黄	Cg	IVg	cg	bg		深度47.40~55.00m: 褐色化が顕著であり、高角度な節理がある。深度49.21m: 傾斜66度、幅0.1mmの石英脈を挟む。																							
				アブライト	浅黄	Cg	IVg	cg	γ	2	深度50.99m: 傾斜75度、幅5~10mmの石英脈を挟む。深度51.10~54.57m: 硬質柱状コア。																							
				アブライト	明褐灰	Bg	IIg	Ig	bg																									
				アブライト	にぶい黄橙	Bg	IIg	Ig	bg		深度54.40~55.00m: 斑晶を多く含む。深度55.00~57.60m: 高角度な節理が発達。																							
				アブライト	明褐灰	Ig	IIg	Ig	bg																									
				アブライト	浅黄	IIg	IVg	cg																										
				アブライト	明赤灰	IIg	Ig	IIg			深度57.55~57.80m、58.05~58.15m、58.22~58.80m: 斑晶を多く含む。																							
				アブライト	浅黄	Cg	IVg	bg																										
				アブライト	明赤灰	IIg	IIg	IIg																										
				アブライト	淡黄	IIIg	cg	bg			深度60.88~61.16m: 斑晶を多く含む。深度61.00~64.00m: 高角度な節理が発達する。																							
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg																										

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	岩内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験					掘進速度 (cm/時)	室内試験	原位置試験 (岩内水平載荷)	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
															N 値 ~ 深度																		
70				明赤灰	橙	IIg	γ				深度64.60~75.30m: 新鮮岩主体であるが、高角度な節理に沿って褐色、一部黒褐色を帯びる。	29 (140)																					
				灰白	IIIg							44 (180)																					
				灰白	IIg							48 (183)																					
				灰白	IIIg							39 (173)																					
				明赤灰	Ig							45 (168)																					
				淡黄	IVg							40 (160)																					
				黄	Dg		γ					49 (199)																					
				明緑灰	Ig							36 (141)																					
				淡黄	IVg							40 (160)																					
				灰白	IIg							38 (154)																					
				灰白	IIIg							33 (133)																					
				淡黄	IVg							30 (120)																					
				灰白	IIg							40 (160)																					
				灰白	IIIg							42 (168)																					
				浅黄	IVg							27 (108)																					
				明緑灰	IIg		γ					26 (104)																					
				灰白	IVg							26 (104)																					
				浅黄	Ig							40 (160)																					
				浅黄	IVg							39 (156)																					
				浅黄	IIg							27 (108)																					
				浅黄	Ig							31 (124)																					
				浅黄	IIIg							24 (96)																					



ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No.12		調査位置		北緯	
発注機関					東経	
調査業者名	主任技師		調査期間		現代理人	
孔口標高	+ 32.05 m	角	コ鑑定者		ボーリング責任者	
総掘削長	250.00 m	度	使用機種		ハンマー落下用具	
			エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	岩盤分類	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)								
															N 値	~ 深度	N 値	~ 深度	N 値												~ 深度							
			盛土	黄褐					礫混じりシルト質砂からなる。																													
	29.80	3.18		表土	褐灰				礫混じり有機質砂質シルト (旧表土)。																													
	29.36	3.80		黄褐					径5~20mmの垂円礫。一部くさり礫を含む。																													
	28.48	5.05		アブライト					深度5.05~7.40m: アブライト。厚さ1.8m程度の花崗斑岩と厚さ数cm程度のペグマタイトを挟む。アブライトは、石蓋が径0.1mm以下であり、全体に斑晶は非常に少ない。																													
	27.36	6.63		花崗斑岩					岩組織を不明瞭に残すマサ化した強風化岩。傾斜30~50度程度の節理跡が多い。花崗斑岩。上位との境界不明瞭。下位との境界不明瞭。深度8.43~8.76m: 弱風化岩。節理は酸化鉄により密着する。深度9.59~9.95m: 節理多く、角礫状をなす。																													
	26.09	8.43		アブライト					全体に風化著しく軟質。																													
	23.70	11.81		アブライト					風化著しく赤褐~黒褐色を帯びる。風化著しく、節理に沿って土砂状をなす。深度11.81~11.93m: ペグマタイト。																													
	23.61	11.93		アブライト					深度12.73~13.57m: 風化の程度が弱く、柱状コアとなる。深度13.57~13.65m: ペグマタイト。																													
	22.45	13.57		アブライト					深度13.65~13.87m: 変質著しく、砂状を呈する。全体に変質を受け脆い。																													
	22.40	13.65		アブライト					深度15.00~17.27m: 強風化岩で岩質脆い。節理に沿って褐色化。																													
				にぶい黄橙					深度16.43~16.50m, 17.10~17.27m, ペグマタイトを挟む。																													
				明褐灰					深度17.27~19.40m: 風化弱く柱状コアをなす。節理に沿って褐色化している。																													
				アブライト					深度20.70~21.00m: 風化著しく、黄褐色を帯びる。深度21.00~23.93m: 柱状~短柱状コアであるが、風化によりやや軟質。節理に沿って褐色酸化する。																													
				明褐灰					深度23.93~24.73m: 強風化し、軟質。																													
				アブライト					深度25.30~26.30m: 全体に褐色を帯び、岩質脆い。																													
				にぶい黄					深度26.30m付近: 節理に沿って灰白色粘土を挟む。																													
				にぶい黄					深度26.77~27.60m: 節理密着し、柱状をなす。																													

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進進捗 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給送水量 (MPa)	送水量 (MPa)	排水量 (MPa)						
																N 値 ~ 深度																			
30	9.95 9.78	31.26 31.50	ベグマタイト	アブライト	にぶい黄	Dg	IIg IVg	cg			深度28.03m以深、風化の程度が弱くなる。	28 (42) 18 (40) 14 (48) 20 (41)	CL [CL]		9/22 27.75	100	114 / ケーシング																		
			ベグマタイト	アブライト	暗褐灰	Cg	IVg	bg			ベグマタイトを挟む。節理多い。 斑状に岩芯まで褐色化する。	12 (42) 17 (34) 15 (40) 14 (27)	CM [CM]		9/23 32.10	104																			
			ベグマタイト	アブライト	赤褐	Dg	IIIg IVg	cg			深度34.53~34.62m: 変質帯。上盤40度、下盤31度。変質により原岩組織不明瞭。幅7mmの固結粘土を挟む。	17 (34) 15 (40) 14 (27)	CL [CL]																						
	5.79 5.66	37.14 37.30	ベグマタイト	アブライト	にぶい橙	Cg	IIg IVg	bg			深度36.35~36.50m: 破砕帯(Hb)。上盤14度、下盤32度。細粒~砂状。深度36.52~36.53m: 傾斜37度。幅10mmの褐色・灰白色粘土を挟む。深度36.58m以深: 節理に沿って黄褐色化進む。 深度37.14~37.32、37.67~37.70m: ベグマタイトを挟む。	14 (44) 17 (37) 16 (48) 14 (100)	CM [CM]		9/25 36.55	103																			
			ベグマタイト	アブライト	明褐灰	Dg	IIg IVg	cg			深度39.43m: シーム。傾斜41度。幅5mm。褐色粘土状。	18 (48) 17 (37)	CM [CM]																						
			ベグマタイト	アブライト	明褐	Cg	IIg IVg	cg			深度40.28~41.00m: 節理少なく柱状硬質コア。 深度41.00~45.20m: 節理に沿って褐色化進む。一部岩芯まで斑状に風化する。	17 (37) 18 (48) 18 (44)	CH [CH]																						
			ベグマタイト	アブライト	褐灰	Cg	IIIg IVg	bg			深度43.60~44.20m: やや石英の斑晶が多い。	18 (48) 18 (44)	CM [CM]																						
			ベグマタイト	アブライト	明褐灰	Eg	VIg IIg	dg bg			深度45.20~45.50m: 変質帯。上盤30度。軟質化する。	20 (40)																							
			ベグマタイト	アブライト	にぶい黄橙	Dg	IVg	cg			深度46.00~47.33m: 全体に変質強く脆い。	18 (48)	CL [CL]																						
			ベグマタイト	アブライト	灰褐	Cg	IVg	cg			深度48.00~49.70m: 節理少ない新鮮岩。斑状に褐色化する。	18 (48) 18 (44)	CH [CH]																						
			ベグマタイト	アブライト	明褐	Cg	IIg IVg	bg			深度49.15~49.60m: 節理多いが、密着している。	18 (48) 18 (44)	CM [CM]																						
			ベグマタイト	アブライト	明褐灰	Bg	IIg IVg	cg			深度50.00~53.70m: 柱状コア。比較的新鮮で節理に沿って褐色を帯びる。	18 (48) 18 (44)	CH [CH]																						
			ベグマタイト	アブライト	明赤褐	Bg	IIg	cg			深度53.76~55.08m: やや変質進む。節理多く。一部細粒状をなす。	18 (48) 18 (44)	CH [CH]																						
			ベグマタイト	アブライト	灰褐	Bg	IIIg	cg			深度55.71~55.91m: 角礫状をなし。幅2cm程度の砂を挟む。	18 (48) 18 (44)	CM [CM]																						
			ベグマタイト	アブライト	にぶい橙	Dg	IVg	cg			深度57.88~58.41m: 変質帯。上盤40度、下盤35度。原岩組織不明瞭。固結砂状。上盤幅5mmの灰白色粘土を挟む。 深度58.41~58.43m: 破砕帯(Hc)。上盤35度、下盤32度。幅15~20mm。褐色・灰白色粘土状。 深度58.43~59.50m: 角礫~細礫状をなし一部砂状を挟む。 深度60.00~61.35m: 角礫~短柱状コア。節理多く、全体に脆い。	18 (48) 18 (44) 18 (40) 18 (27)	CL [CL]																						
			ベグマタイト	アブライト	にぶい黄橙	Dg	IVg	cg			深度61.35~62.20m: やや節理多いが柱状コアをなす。 深度62.20~63.88m: 柱状コア。硬質であるが、やや節理多く、節理に沿って褐色を帯びる。	18 (48) 18 (44)	CM [CM]																						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験)試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
																N 値 ~ 深度																		
70				アプライト	にぶい橙	IIIg	bg				深度63.88~65.18m: 節理に沿って緑灰色シルトを挟む。	123 141 17 381	OM			9/29 84.05	119	30.0	200															
				アプライト	灰褐	IVg	γ				深度65.18~66.13m: 節理に沿って褐色化し、角礫~砂状をなす。	11 361	OL			9/30 86.25	176	15.0																
				アプライト	灰褐	IIIg	bg				深度67.07~67.60m: 節理に沿って砂~シルトをはさみ、やや脆くなる。	40 38 81 172	OM																					
				アプライト	にぶい橙	IIIg	β				深度68.88~69.37m: 節理に沿って変質部を挟む。変質部は固結砂状、境界部に褐色シルトを挟む。	46 40 79 172	OM [CM]																					
				アプライト	灰褐	IIIg	cg				深度70.00~72.40m: 柱状コア、節理に沿って褐色化。	45 59	OM				10/4 70.45	93	30.0															
				アプライト	にぶい橙	IIIg	γ				深度70.60m以深、アプライトの石基が径0.2~0.5mm程度と大きくなり、散在程度に斑晶も含む(1%以下)。	20 63	OM																					
				アプライト	明黄褐	IVg					深度72.40~73.30m: 全体に褐色化し節理多い。	28 60	CL																					
				アプライト	明黄褐	IIg							47 60	OM																				
				アプライト	褐灰	Ig					深度75.83~80.60m: 新鮮な柱状コア。節理少ないが、節理に沿って酸化し、所々に砂~シルトを挟む。	67 75 89 178	B'			10/5 76.70	88																	
				アプライト	灰褐	IIg	β				花崗斑岩、上位との境界漸移的。深度77.40~84.80m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を10~40%含み、石基は径0.2~0.5mm程度である。組織は全体に不均質で、流理は傾斜約30度程度である。	50 60 88	CH																					
				アプライト	灰褐	IIIg	bg					32 88	CH																					
				アプライト	明褐	IIIg	γ				深度80.56~84.44m: 全体に酸化の進んだ柱状~短柱状コア。節理に沿って砂~灰白色固結シルト、粘土を挟む。	47 81 84 177	OM																					
				アプライト	明褐	Vg	2				深度82.48~82.50m: 破砕帯(Hj)。傾斜26度。幅15~20mmの暗褐色凝滞しり砂質シルト状。	29 41	OM [CM]				10/6 83.10	84																
				アプライト	灰褐	IIIg					深度84.00~84.44m: 節理に沿って淡緑色変質鉱物を挟む。黄鉄鉱あり。アプライト、上位との境界漸移的。	33 63	B'																					
				アプライト	灰褐	IIIg	1				深度84.90~90.60m: アプライト。石基は径0.1mm程度であり、斑晶は点在程度である(0.5%以下)。	34 63	B'																					
				アプライト	にぶい橙	IVg	cg				深度86.50~87.40m: 変質を受け、やや脆い。節理に沿って砂~シルトを挟む。	30 58 90	CH				10/7 85.80	74																
				アプライト	にぶい橙	Vg	cg					30 58	OM																					
				アプライト	灰褐	IIIg	β				深度88.50~89.40m: 変質を受け、やや脆い。節理に沿って砂~シルトを挟む。	36 57	CH																					
				アプライト	灰褐	Bg	2					30 64	CH																					
				アプライト	にぶい橙	IVg	cg				深度90.45~90.66m: 破砕帯(Hj)。上盤40度、下盤66度。節理密集し、節理に沿って砂~シルトを挟む。	22 51	CL																					
				アプライト	灰白	IVg	1				深度91.66~94.58m: 節理少なく新鮮な柱状コア。節理に沿って濃緑色シルト~砂を挟む。	30 34 64	CL				10/11 82.10	92																
				アプライト	灰白	Bg	IIg	bg				34 67	CH																					
				アプライト	明褐灰	IVg	cg				深度94.58~96.25m: やや節理多くなり、褐色化顕著。	27 43	OM																					
				アプライト	明褐灰	Bg	IIg					55 88	OM																					
				アプライト	褐灰	IIIg	β				深度96.15m~96.10~96.18mに続く傾斜68~80度の節理が見かけ2cm逆断層的にずれる。	48 58	CH				10/12 86.40	74																
				アプライト	にぶい橙	IVg	γ				深度97.93~102.10m: 全体に褐色化済み、節理多い。	45 61 81	OM [CM]																					

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	変質	記号	コア採取率 — ( % ) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤分類	孔内水位 / 測定日	( 標準貫入試験 ) 試験				掘進速度 (cm/時)	掘進月日	室内試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
													( N 値 ~ 深度 )																			
100	38.38	99.60	アフライト	花崗斑岩	明褐色	IVg	bg	2	花崗斑岩。上位との境界不明瞭。深度99.60~137.50m:花崗斑岩。径5~10mmの石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を1~30%含み、石英は径0.1mm程度である。深度100~110m付近は5~30%程度の斑晶を含む。	18 [01]	OM	[CM]				10/13 95.60	74			55.0												
						IIIg				05 [03]																						
						IIIg				05 [05]																						
						Dg	IVg			30 [40]		CL																				
						IIg				44 [42]		OM																				
						IIg				15 [39]		CL																				
						IVg				41 [40]		CL																				
						IVg				41 [41]		CL																				
						IIIg				45 [37]		OM																				
						IVg				21 [31]		CL																				
						IVg				45 [32]		CH																				
						IVg				22 [22]		OM																				
						IVg				19 [19]		OM																				
						IVg				28 [28]		OM																				
						IVg				19 [19]		OM																				
						IVg				15 [15]		OM																				
						IVg				15 [24]		CL	[CL]																			
						IVg				22 [22]		CL	[CL]																			
						IVg				60 [54]		OM																				
						IIIg				45 [52]		OM																				
						IVg				30 [30]		OM																				
						IVg				24 [24]		CL																				
						IVg				33 [33]		OM																				
						IVg				12 [12]		CL																				
						IVg				26 [26]		CL																				
						IVg				19 [19]		OM																				
						IVg				28 [28]		OM																				
						IVg				67 [60]		B'																				
						IVg				68 [51]		OM																				
						IVg				31 [31]		OM																				
						IVg				44 [44]		CH																				
						IVg				30 [30]		CH																				
						IVg				17 [17]		CH																				



標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位 (m) 測定月日 N ( ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)														
																( N 値 ~ 深度 )																													
				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	IVg	cg		2	深度172.20~172.45m: 破砕帯 (Hb)。上盤62度, 下盤63度, 灰白色礫混じり粘土状。上盤に幅3mmの褐色粘土挟む。	0 50 100	OM																																
	-90.19	172.87		花崗斑岩	浅黄	Eg	VIg	cg		4	深度172.45~172.88m: 変質帯。節理に沿って灰白色シルトを挟み、全体に軟質化。	0 50 100	CL																																
	-90.95	173.95		花崗斑岩	にぶい橙	Eg	VIg	cg		3	深度172.88~173.82m: 変質帯。褐色帯を帯びる。深度173.33mに幅2mmの褐色・灰白色シルト。深度173.64mに幅2mmの灰白色シルトを挟む。	0 50 100	CL	[CL]																															
				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	IVg	cg				深度175.92~178.00m: 石英の斑晶大きく、やや変質を受けている。	0 50 100	OM																															
	-94.70	179.25		アフリイト	にぶい橙	Cg	IVg	cg		2	アフリイト、上位との境界不明瞭。下位との境界不明瞭。	0 50 100	OM																																
	-96.01	181.10		アフリイト	にぶい橙	Cg	IVg	cg			深度180.88~183.00m: 節理に沿って濃緑色シルトや黄鉄鉱を挟む。斑晶の一部緑色粘土化する。	0 50 100	OM																																
				花崗斑岩	にぶい橙	Eg	VIg	cg		3	深度183.00~183.43m: 変質帯。上盤35度、下盤62度。固結砂状。	0 50 100	CL	[OM]																															
				花崗斑岩	にぶい橙	Eg	VIg	cg		2	深度183.43m: シーム。傾斜62度、下盤に幅3~5mmの暗褐色粘土付着。	0 50 100	OM																																
				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	IVg	cg			深度184.00~210.50m: 花崗斑岩。径5~15mmの石英、長石及び径1~3mmの黒雲母の斑晶を50~90%程度含むが、下部ほど径は小さくなり、割合も低くなる。石英は径0.1mm以下。全体に微細な黒雲母を多く含む。組織はほぼ均質である。黒雲母花崗岩に近い岩相である。	0 50 100	OM																																
				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	IVg	cg		1	深度189.39~189.50m: 変質帯。上盤40度、下盤35度。灰白色シルトを網目状の挟む。	0 50 100	CH																																
				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	IVg	cg		1	深度189.50~195.37m: 節理に沿って褐色化する。	0 50 100	OM																																
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg	IIg	cg				深度195.37~198.65m: カリ長石の斑晶主体。やや節理多く、一部節理に沿って土砂状をなす。	0 50 100	CH																															
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg	IIg	cg				深度198.65~199.46m: 高角度な節理に沿って変質粘土化し、長石は白色粘土化する。	0 50 100	CH																															
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg	IIg	cg				深度199.46~200.49m: やや変質し、節理に沿って白色粘土を挟む。	0 50 100	OM																															
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg	IIg	cg				深度202.49~203.18m: 高角度な節理に沿ってシルト~粘土を挟む。	0 50 100	CH																															
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg	IIg	cg				深度203.90~204.68m: 変質を受け節理に沿ってシルト~砂状を呈する。	0 50 100	CH																															
				花崗斑岩	にぶい黄褐	Bg	IIg	cg		3	深度204.68~204.88m: 変質帯。上盤48度、下盤88度。明褐色灰色砂状、軟質。	0 50 100	OM																																
				花崗斑岩	にぶい黄褐	Bg	IIg	cg		2	深度204.88m: 幅2mmの褐色粘土挟む。	0 50 100	CH																																

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 cm	R	Q	D	L [%]	試験 (標準貫入試験)					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進進度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	孔壁保護	給圧 (kN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)											
																		N 値 ~ 深度																										
210			+	花崗斑岩	にがい黄褐	Bg	IIIg	γ			深度207.32~208.33m: 高角度な節理多く、節理に沿って細礫~砂状をなす。																																	
			+	花崗斑岩	青灰明黄褐	Cg	IIIg	β			深度210.50~240.50m: 花崗斑岩径5~10mmの石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を1~5%程度含み、石英は径0.1mm程度である。局部的に斑晶を70%程度含む区間がある。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄褐	Bg	IIIg	γ			深度214.19~214.20m: 幅10mmの灰白色砂混じりシルトを挟む。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄褐	Bg	IIIg	γ			深度215.41~218.70m: 節理に沿って褐色化し、一部褐色・灰白色シルトを挟む。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	β			深度218.78~218.80m: シーム、上盤57度、下盤61度。幅6~10mmの褐色礫混じりシルト状。																																	
			+	花崗斑岩	灰赤	Cg	IIIg	β			深度218.70~222.85m: 一部長石が白色化する。																																	
			+	花崗斑岩	灰褐	IIIg	IIIg	β			深度222.85~222.88m: 破砕帯(Hb)。傾斜55度。幅23mm。褐色粘土~黄褐色砂質シルト状。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	δ		3	深度222.88~223.68m: 細礫~砂状を呈する節理密集部。節理面にシルト~粘土を挟む。																																	
			+	花崗斑岩	灰白	Eg	VIg	dg		4	深度223.68~224.67m: 角礫~細礫状。節理面にシルト挟む。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	β			深度224.67~224.68m: 破砕帯(Hc)。上盤30度、下盤37度。幅10mm。半面結核灰色粘土状。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	β			深度224.68~225.08m: 破砕帯(Hb)。上盤37度、下盤36度。灰白色礫混じりシルト質砂状。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	β			深度225.08~228.53m: やや節理多く、角礫~短柱状をなす。節理に砂~シルトを挟む。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	γ			深度228.53~228.79m: 破砕帯(Hb)。上盤38度、下盤50度。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	γ			上盤から石英粒子混じり灰白~灰褐色砂質シルト状(幅8cm)。岩片を残す網目状破砕部(幅15cm)。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	γ			深度228.78~228.79m: 破砕帯(Hc)。下盤35度。灰白色砂質シルト状(幅1.5cm)。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	γ			深度230.00~230.07m: 幅30mm。淡緑灰色砂質シルト状。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	β			深度232.20~233.00m: 高角度な節理に沿って砂~シルトを挟む。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	β			深度236.16~237.32m: 黄褐色で弱い変質を受け、節理多く脆い。																																	
			+	花崗斑岩	にがい黄	Bg	IIIg	β			深度237.26~237.32m: 幅15mm。礫混じりシルト質砂状。																																	
			+	花崗斑岩	褐灰	IIIg	IIIg	γ			深度238.31~238.50m: 節理密集部。変質を受け、下面に幅1mmの褐色粘土を挟む。																																	
240			+	花崗斑岩	灰褐	Cg	IIIg	β			深度240.50~250.00m: 花崗斑岩。径10~15mmの石英、長石及び径2~3mmの黒雲母の斑晶を60%程度含み、石英は径0.1mm程度で、下部に黒雲母を含む。斑晶の割合は上部で高く、下部でやや低くなる。																																	
			+	花崗斑岩	灰褐	Cg	IIIg	β			深度241.00~241.10m: 節理密集部。細礫~角礫状。																																	

No.12(7/8)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — ( % ) 最大コア長 — cm R Q D □ [ % ]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)	
																( N 値 ~ 深度 )																
			+++++	花崗斑岩	灰褐	Cg	IIIg	bg			深度243.62~243.63m: シーム。上盤63度、下盤60度。幅5~10mm雑混じりシルト質砂状。	0 50 100											11/27	95		ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	10.0	175	0.0	泥水10	10	
			+++++		灰褐	Dg	Vg				深度244.94~245.09m: 変質帯。上盤55度、下盤51度。灰白と黒褐粘土を挟む砂質シルト状。岩片や石英粒子を残す。	0 50 100	OM											11/27	105							
			+++++		灰褐	Cg	IVg	CG			深度245.45~247.42m: やや変質を受け、長石が白色化する。	0 50 100																				
			+++++		灰褐	IVg					深度247.57~247.64m: 破碎帯 (Hj)。上盤41度、下盤47度。幅1~5mmの灰白色砂質シルトを網目状に挟む。	0 50 100		CL																		
	-144.73	250.00	+++++		灰褐	IIIg	bg				深度249.00~250.00m: 節理少なく、変質弱い。	0 50 100		OM										11/28	54							

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No.13			調査位置						北緯	
発注機関								調査期間	東経		
調査業者名	主任技師			現代理人		コ鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	+ 38.88	角	180°	方	北	9°	地盤勾配	使用機種	ハンマー落下用具		
	m	度	下	西	270°	東	鉛直		ポンプ		
総掘削長	100.00			向	南	99°	0°	試験機			
								エンジン			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩種	色調	硬軟	割れ目の状態	風変質	記	コア採取率 (%)	岩盤区分	孔内水位測定月日	標準貫入試験 (N値 ~ 深度)		原位置試験 (孔内水平載荷)	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	室内試験	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
													標準貫入試験 (N値 ~ 深度)	標準貫入試験 (N値 ~ 深度)											
	37.61	1.40		盛土					盛土。				0	0											
	35.25	4.00		花崗斑岩	浅黄				深度1.40~9.60m: 花崗斑岩主体でアフライトを挟む。花崗斑岩は径3mm以下の長石、石英及び径1mmの黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.5mm程度である。アフライトは、石基が径0.1mm以下である。全体に褐色化し、節理に沿って酸化マンガンを挟む。粘土を挟む高角度な節理あり。				9/21 2.00	133						20.0	0.0	泥水0	0		
	32.08	7.50		アフライト	浅黄				全体に褐色化し、節理に沿って酸化マンガンを挟む。				9/22 4.00	80					25.0			10			
	30.18	9.60		花崗斑岩	浅黄				全体に褐色化し、節理に沿って酸化マンガンを挟む。				9/23 7.40	60					10.0	0.0	泥水10	10			
				アフライト	灰白				深度9.60~11.05m: 花崗斑岩をレンズ状に挟む。				9/25 10.00	74					150						
				アフライト	灰白				全体に褐色化し、節理に沿って酸化マンガンを挟む。				9/26 15.50	92					25.0			15			
				アフライト	灰白				深度16.51~19.85m: 変質により脆弱化。節理に沿って酸化マンガンと灰白色粘土を挟む。				9/27 20.70	69							0.0	泥水15	15		
	16.78	24.39		花崗斑岩	灰白				深度17.81m: シーム。傾斜51度。幅4mm。褐色、灰白色粘土状。																
	15.97	25.28		アフライト	灰白				深度20.10~20.42m: ベグマタイト。径5~50mmの長石、石英の巨晶を主体とし、径1~9mmの黒雲母を伴う。																
	15.86	25.40		アフライト	灰白				深度20.55~20.95m, 21.62~21.72m: 酸化マンガン濃集。																
				アフライト	灰白				深度22.76~23.02m: 高角度な節理あり。																
				アフライト	灰白				深度23.13m以深、傾斜50~60度の節理発達。																
				アフライト	灰白				深度23.24~23.34m: 酸化マンガン濃集。																
				アフライト	灰白				節理が発達し、酸化マンガン濃集。																
				アフライト	灰白				ベグマタイト: 径3~32mmの石英、径3~20mmの長石及び径1~4mmの変質した黒雲母を伴う。																
				アフライト	灰白				深度26.89~27.00m: 破砕帯 (Hj)。幅16~18mm。角礫状。上盤は堅岩、下盤は角礫~岩片状。逆断層のセンス。																

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	変質	記号	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)				
													( N 値 ~ 深度 )														
30					淡黄緑	Dg IVg	CG	2			CL		0	10	20	30	40	50	9/28	113							
					灰白	Cg IIg		3	深度28.50~31.30m: 変質帯。上盤55度。下盤41度。粒状化する。		CM								9/29	113							
					灰白	Cg IIg		2	深度28.90m: シーム。傾斜43度。幅2~3mm。黒褐色シルト状。上盤は堅岩。節理に沿って樹枝状に酸化マンガン汚染。		CM									9/30	95.00						
					灰白	IIIg	bg	3	径1~8mmの変質を受けた長石斑晶を伴う。黒雲母は分解して酸化鉄斑を形成する。		B'									9/30	79						
					淡赤橙	Dg IVg	CG				CH									9/30	65						
					褐灰	Bg IIg					CH									9/30	79						
					にぶい橙	Bg IIg	bg		深度36.11~36.17m: 晶洞を伴うベグマタイト。		OM									9/30	65						
					にぶい橙	Bg IIg			深度36.53~36.54m: シーム。傾斜55~58度。幅3~5mm。粘土状・粘土混じり砂礫状。		CH									9/30	79						
					明褐灰	Bg IIg			深度37.84m: シーム。傾斜53度。幅3~5mm。砂・細片状。		CH									9/30	65						
					灰赤	Bg IIg	bg		上下盤に幅0.1~0.2mmの褐色粘土を挟む。		CH									9/30	79						
					にぶい橙	Bg IIg	CG		深度38.38~38.60m: 節理及びその周辺に黄鉄鉱が点在する。		OM									9/30	65						
					にぶい橙	Bg IIg			深度39.24m: 節理に黄鉄鉱を挟む。		CH									9/30	79						
					にぶい橙	Bg IIg	bg		深度41.32~41.45m: ベグマタイト。径2~40mmの石英。径2~18mmのかり長石からなる。		CH									9/30	65						
					にぶい赤橙	Bg IIIg			深度42.17~42.30m: 石英脈発達。		OM									9/30	79						
					にぶい赤橙	Bg IIIg			深度42.29~42.30m: 晶洞を伴う石英脈あり。		CH									9/30	65						
					にぶい赤橙	Bg IIIg	bg		深度43.30~43.40m: ベグマタイト。径2~14mmの石英。かり長石からなる。		OM									9/30	79						
					にぶい橙	Bg IIIg			径2~14mmの石英。かり長石からなる。密着節理が密集している。		CH									9/30	65						
					明赤灰	Bg IIIg	CG				OM								10/2	76							
					明赤灰	Bg IIIg	CG				OM									10/2	76						
					明赤灰	Bg IIIg	CG				OM									10/2	76						
					灰白	Eg Vg	bg	2	深度46.54~46.60m: 変質帯。上盤48度。細角礫状。幅0.5mmの褐色粘土を挟む。		D'								10/2	76							
					明褐灰	Bg IIIg			深度47.03m: シーム。傾斜60度。幅1mmの褐色粘土を挟む。		CH								10/2	76							
					にぶい橙	Bg IIIg	bg				OM									10/3	95.70						
					淡赤橙	Bg IIIg			深度50.32~50.38m: 幅34mm。土砂状。		OM									10/3	95.70						
					淡赤橙	Bg IIIg	bg		深度51.38m: 節理に沿って黄鉄鉱付着。		OM									10/3	79						
					明赤灰	Bg IIIg			深度53.05~53.24m: 岩片状をなす。		CH									10/4	54.50						
					明赤灰	Bg IIIg	CG		深度53.80~58.20m: 黒雲母を多く含む。		CH									10/4	54.50						
					褐灰	Bg IIg			深度53.85m以浅は、酸化マンガン汚染を受けているが、以深では緑色変質の影響が強く、黒雲母の緑泥石化。節理に沿っての黄鉄鉱晶出が認められる。		CH									10/4	54.50						
					赤灰	Bg IIIg	bg				CH									10/4	54.50						
					赤灰	Bg IIIg					CH									10/4	54.50						
					淡赤橙	Bg IIIg	bg		深度58.44~58.87m: 節理に沿って樹枝状~線状に酸化マンガン付着。		OM									10/5	82.35						
					赤灰	Bg IIIg			深度58.66~58.67m: 約1mm間隔で節理が密集する。		OM									10/5	82.35						
					明赤灰	Bg IIIg	CG		深度60.45~61.80m: 黒雲母を多く含む。		CH									10/5	82.35						
					明赤灰	Bg IIIg	CG		深度61.84~62.10m: 変質帯。上盤42度。灰白色に脱色し粘土化。角礫状。岩片状で、間を灰白色粘土が充填する。		CH									10/5	82.35						
					灰白	Dg VIg	CG	3	深度62.10~62.33m: 破碎帯(Hj)。網目状に粘土を挟む。		CL									10/5	82.35						
					灰白	Dg Vg	bg	2	深度62.33~62.37m: 破碎帯(Hc)。下盤57度。粘土状。		CL									10/5	82.35						

ダブルコアチューブ/ダイヤビット

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ( % ) 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定)日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )						室内試験日	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔徑 / 孔壁保護	コーサチューブ/ピット	給圧 (KN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
																0	10	20	30	40	50													
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg			深度65.32~68.58m: 節理に褐色、灰白色粘土を挟む。	29	CL																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg			深度66.65~67.40m: 節理に沿って樹枝状に酸化マンガン錆が付着する。変質により灰白色に脱色し、軟質。	41	CL															0.0	泥水15	15				
				アブライト	明赤灰	II g	IV g	bg			深度71.65~71.68m, 72.06~72.22m: 節理に沿って樹枝状~縞状の酸化マンガン付着。	46	CL																					
70				アブライト	明赤灰	II g	IV g	bg			深度74.52~74.59m: 破砕帯(Hb)。上盤42度、下盤52度、幅約30mm。粘土混じり砂状。上下盤に灰白色粘土を伴う。	48	CH																					
	-27.37	73.10		花崗斑岩	灰白	II g	IV g	bg			花崗斑岩。上位との境界漸移的。深度73.10~84.20m: 黒雲母花崗岩。径3~7mmの石英、長石、黒雲母の斑晶からなる。	50	CH																					
	-28.46	74.30		黒雲母花崗岩	明赤灰	II g	IV g	bg			深度75.44~76.95m: 節理及び周囲の基質も酸化マンガン汚染を受けている。深度75.84m深、節理に灰白色粘土を伴うことが多い。	52	CH																					
				黒雲母花崗岩	灰白	II g	IV g	bg			深度81.35~81.41m: 幅20mm、土砂状を呈し、幅0.1mmの灰白色粘土を伴う。深度81.16~83.63m: 節理に灰白色粘土を伴うことが多い。深度81.46~83.11m: 節理及びその周辺に黄鉄鉱の微晶を伴う。	54	CH																					
				黒雲母花崗岩	明赤灰	II g	IV g	bg			アブライト、上位との境界漸移的。深度84.20~99.75m: アブライト。石基は径0.1mm以下であり、斑晶は非常に少ない。	56	CH																					
80				黒雲母花崗岩	明赤灰	II g	IV g	bg			深度86.54~86.59m: 節理に黄緑色粘土を挟む。	58	CH																					
	-37.43	84.20		黒雲母花崗岩	明赤灰	II g	IV g	bg			深度89.54~93.35m: 節理に沿って灰白色粘土を伴うことが多い。	60	CH																					
				アブライト	明赤灰	II g	IV g	bg			深度93.29~93.35m, 94.09~94.25m: 節理及びその周辺に黄鉄鉱の微晶を伴う。	62	CH																					
				アブライト	明赤灰	II g	IV g	bg			深度95.22m: 節理に沿って黄鉄鉱が晶出。	64	CH																					
90				アブライト	淡黄	II g	IV g	bg			深度99.75~100.00m: 花崗斑岩。径5~10mmの石英、長石及び径1mmの黒雲母の斑晶を10%程度含み、石基は径0.2mm程度である。	66	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				68	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				70	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				72	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				74	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				76	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				78	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				80	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				82	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				84	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				86	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				88	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				90	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				92	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				94	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				96	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				98	CH																					
				アブライト	灰白	II g	IV g	bg				100	CH																					

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [ % ]	岩級	岩盤区分	孔内水位(m) 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進 速度 (cm/時)	孔径 (mm) /孔壁保護	コアチューブ/ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)		
																N 値 ~ 深度																	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	形状	状態	化	質						0	10	20	30	40	50												
	-51.52	99.76	+	アフライト	灰白	Cg	IVg	bg cg bg	γ	2				CM	[CM]								10/17	95	76		25.0	150	0.0	泥水 10	10		
	-51.75	100.00	+	花崗岩																			00.00										

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 14		調査位置						北緯		
発注機関								調査期間			
調査業者名	主任技師					現代理人	コ鑑定者		ボーリング者		
孔口標高	+ 91.43 m	角		方	北 0°	地盤勾配	使用機種	ハンマー落下用具			
総掘削長	150.00 m	度		向	西 270°	鉛直	エンジン	ポンプ			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩種	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	〔 % 〕	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N 値 ~ 深度)	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアカチューブ/ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
91.32	0.12		アフライト	花崗斑岩	灰白	VIg				深度0.12~0.15m: アフライト。石基は径0.1mm以下であり、石英、長石の斑晶は点在程度である(0.5%以下)。						D'						140 ケーシング										
88.01	3.77		アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg				深度1.05~1.12m: 流入土砂。						OM						114 ケーシング										
87.06	4.82		アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg				深度2.65~3.00m: 流入土砂。						OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg				2 花崗斑岩 上位との境界傾斜35度。下位との境界傾斜18度。						OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg				深度4.74~4.82m: 灰緑色シルト混じり砂礫を挟む。						CH																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg										CH																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg										OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg										CH																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg										CH																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度8.00~8.08m: 明褐色流入粘土有り。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度8.44~8.62m: 変質帯。上盤55度。下盤43度。シルト状。一部葉片状。上下に幅0.3~0.5cmの明褐色シルト(流入粘土)及びシルト質砂を挟む。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg										CL'																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	Ig										CH																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg										CH																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg										OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度11.95~12.88m: やや変質強く、軟質化。					CL'																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg										[CM]																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度14.35m以深、高角度な節理多く、流入粘土を挟む。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg										CL'																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度16.61m: シーム。傾斜42度。幅1~3mm。固結灰白色粘土状。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg					深度16.61~16.77m: 上盤42度。下盤50度。幅1cm程度の礫混じり砂状。					CL'																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg					深度17.87~17.96m: 明褐色礫混じり砂質シルト状。					CL'																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度18.42~18.55m: 幅2~5mmの明褐色流入粘土を挟む。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IVg					深度19.23~19.37m: 変質帯。上盤46度。下盤45度。シルト混じり礫状。					CL'																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg										OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg										OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg					花崗斑岩。上位との境界漸移的。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度22.15~25.16m: 花崗斑岩。径2~3mmの石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を15~20%程度含み、石基は径0.1mm程度である。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg					深度22.25m, 22.85m: 幅5mmの明褐色流入粘土。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg					深度23.14~23.20m: 礫混じり流入粘土。礫は径10~20mm。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度23.83m: 幅10mmの礫混じり明褐色流入粘土。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度23.90m: 幅25mmの礫混じり明褐色流入粘土。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg										OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIIg					深度25.06~25.10m: 礫混じり砂質シルト(流入粘土)。下盤40度。条線有り。アフライト。上位との境界漸移的。					OM																
			アフライト	花崗斑岩	灰白	IIg					深度25.16~55.75m: アフライト。石基は径0.1mm以下であり、径2~5mm程度の石英、長石を主とする斑晶が点在する(0.5%以下)。					OM																

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 ( % ) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分 岩類分類	孔内水位 / 測定月日 ( N ) 値	（ 標準貫入試験 ） 試験						原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (KN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)																											
															N 値 ~ 深度																																											
		64.74		アブライト		III g I g Cg	bg				花崗斑岩、上位との境界不明瞭。		CM		0 10 20 30 40 50																																											
		29.45		花崗斑岩		Bg I g Cg	cg			β	深度30.80m:幅5mmの機混じりシルト(流入粘土)。 深度31.00~33.65m:長石の白色化が認められる。		CH		1 / 7 31.55																																											
		60.16		アブライト		Bg I g Cg	bg				深度33.65~35.15m:節理少ない新鮮岩。 アブライト、上位との境界不明瞭。		B'																																													
		34.50		花崗斑岩		Bg I g Cg	cg			β	深度36.60~40.57m:変質により一部軟質化。溶脱し節理に沿って粘土を挟む。		CM		1 / 8 36.90																																											
		60.16		アブライト		Dg IV g Cg				γ	深度40.56~40.57m:破砕帯(Hb)。下盤20度、幅12mm、黒褐色シルト混じり砂礫状。 深度40.57~45.58m:全体に褐色化している。		CM																																													
		51.78		アブライト		Bg I g Cg	bg			β	深度45.58~47.80m:強溶脱帯。 アブライト、上位との境界は破砕帯傾斜30度。 深度45.63~45.70m:破砕帯(Hc)。上盤30度、下盤59度。幅60~90mm。明黄色機混じりシルト状及び明褐色シルト混じり砂礫状。 深度45.71~56.00m:溶脱帯。		B'																																													
		43.75		花崗斑岩		Bg I g Cg	cg			2	深度48.50~50.50m:高角度な節理発達。		CH		1 / 9 47.60																																											
		50.10		アブライト		Bg I g Cg	cg				深度51.26~51.30m:変質帯。下盤45度。幅50mm、暗褐色機混じり砂質シルト状。 深度52.75~52.78m:変質帯。上盤17度。幅50mm、暗灰色シルト混じり礫状。		CH																																													
		55.75		花崗斑岩		Bg I g Cg	cg			β	深度54.55m以深、全体に薄く褐色を帯びる。		CL		1 / 20 51.25																																											
		40.90		アブライト		Dg IV g Cg				γ	深度55.75~59.80m:花崗斑岩。 径5~10mmの長石、石英、黒雲母の斑晶を20~30%程度含み、石基は径0.1mm以下である。		B'																																													
		55.75		花崗斑岩		Bg I g Cg	cg				深度58.11~58.48m:変質帯。上盤42度。下盤50度。網目状にシルトを挟む。		CH		1 / 22 57.33																																											
		38.50		アブライト		Bg I g Cg	bg				アブライト、上位との境界不明瞭。 深度59.80~106.58m:アブライト。 石基は径0.1mm以下であり、径3~10mm程度の石英斑晶が点在する(0.5%以下)。		CM																																													
		59.80		花崗斑岩		Bg I g Cg	cg				深度61.55~65.00m:斑晶がやや多くなる。		CM		1 / 23 60.70																																											
		60.50		アブライト		Dg IV g Cg							CL																																													
		60.75		アブライト		Dg IV g Cg							CL																																													
		61.40		アブライト		Dg IV g Cg							CL																																													
		61.55		アブライト		Dg IV g Cg							CL																																													
																											ダブルコアチューブ / ダイヤビット																															

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目	風化	変質	記	事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩盤	岩級	孔内水位 (m) 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	コアチューブ 保護	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)							
																	( N 値 ~ 深度 )																						
70	29.62	68.20		アプライト	にぶい黄橙	Dg	cg				2	深度62.92~62.97m: 変質帯。上盤37度。下盤36度。網目状にシルトを挟む。		D'	CL'	0	10	20	30	40	50					76	セメント管												
				明褐灰	Dg	bg					3	深度65.00~80.00m: 溶融帯。																											
80	27.22	70.85		花崗斑岩	明褐灰	Dg	IIg				3	深度66.18~67.20m: 変質帯。上盤28度。下盤30度。砂礫状。 深度67.72~67.78m: 変質強く軟質化。 深度67.78~68.11m: 破碎帯(Hc)。上盤40度。下盤32度。礫状~砂質シルト状。下盤側に幅25mm粘土状。		D'	D'	CL'	0	10	20	30	40	50					95			1/25	69.00								
				浅黄橙	Dg	bg					2	花崗斑岩。上位との境界不明瞭。																											
90				アプライト	明褐灰	Dg	cg				2	深度70.00~74.25m: 傾斜40~50度の平行する節理が5~15cm間隔で発達。 深度70.60~70.70m: ベグマタイトを挟む。 アプライト。上位との境界傾斜40~50度。		D'	D'	CL'	0	10	20	30	40	50					95			1/26	73.10								
				明褐灰	Dg	bg					2	深度72.00~74.63m: 全体に変質し。溶融帯みや軟質化する。節理に沿って弱く褐色化する。																											
				アプライト	明褐灰	Dg	cg				2	深度74.63~77.20m: やや褐色化弱くなる。		D'	D'	CL'	0	10	20	30	40	50					90			1/27	80.55								
			明褐灰	Dg	bg					2	深度77.20~78.40m: 節理に沿って黒褐色を帯びる。																												
				アプライト	明褐灰	Dg	cg				2	深度81.20~85.10m: 密着した節理が多く。弱く褐色を帯びる。		D'	D'	CL'	0	10	20	30	40	50					76			1/29	87.90								
			明褐灰	Dg	cg					2	深度83.05~83.40m: やや斑晶が多くなる。																												
				アプライト	明褐灰	Dg	cg				2	深度84.96m: シーム。傾斜52度。幅4~7mm。明褐~褐色雜混じりシルト状。		D'	D'	CL'	0	10	20	30	40	50					76			1/29	87.90								
			明褐灰	Dg	cg					2	深度86.12~86.60m: 破碎帯(Hc)。上盤47度。シルト~礫混じりシルト状。 深度86.60~86.95m: 破碎帯(Hb)。傾斜不明。シルト混じり礫状。 深度86.95~87.03m: 破碎帯(Hc)。下盤60度。砂質シルト状~褐色粘土状。 深度87.03~88.36m: 変質帯。上盤60度。下盤54度。砂礫状。 深度88.36m: シーム。傾斜54度。																												
				アプライト	明褐灰	Dg	cg				2	深度89.57~90.13m: ベグマタイト。石英、長石の巨晶を含む。 深度90.13~98.52m: 全体に褐色化するが、変質は弱い。		D'	D'	CL'	0	10	20	30	40	50					101			1/30	86.75								
			明褐灰	Dg	cg					2	深度93.05~93.55m: 高角度な節理密集部。 深度93.55~98.52m: 節理に沿って褐色化著しい。																												
				アプライト	明褐灰	Dg	cg				2	深度98.52~98.60m: 変質帯。上盤46度。下盤50度。網目状にシルトを挟む。		D'	D'	CL'	0	10	20	30	40	50					97			2/1	97.60								
			明褐灰	Dg	cg					2	深度93.05~98.52m: 節理に沿って褐色化著しい。																												

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定日)	試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験日	掘進月	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)															
																(標準貫入試験)																N値 (値)	(N値 ~ 深度)													
																	0	10	20	30	40	50																								
											深度99.62m: シーム。傾斜53度。幅1~3mm。明褐色シルト状。 深度99.62~99.81m: 変質帯。上盤53度。下盤53度。網目状にシルトを挟む。	19 (14)						CL								97																				
											深度102.0m以深。黒雲母を多く含み。組織は全体に均質である。	36 (15)														2/5 100.93																				
											深度104.95~107.60m: 全体に褐色化顕著。	30 (14)																																		
											花崗斑岩。上位との境界傾斜60度。深度106.58~116.40m: 花崗斑岩。径3~10mm程度の石英、長石一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石英は径0.1~0.2mm程度で、全体に黒雲母を多く含み、組織は均質である。	40 (16)																																		
											深度111.25~112.45m: 斑晶少ない。	35 (14)																																		
											深度113.60~116.10m: わずかに褐色を帯びる新鮮岩。	33 (13)																																		
											深度114.58~115.00m: 高角度な節理(傾斜70~80度)が1~3cm間隔で発達。節理面に薄く粘土を挟む。	34 (13)																																		
											アブライト。上位との境界傾斜50度。深度116.40~140.40m: アブライト。石英は径0.1mm程度であり、斑晶は非常に少ない。深度116.70~117.00、118.00~118.15m: 黒雲母の斑晶が傾斜40度の流理に沿って見られる。深度117.15~121.25m: 節理面に沿って褐色を帯びる。	29 (11)																																		
											深度121.60~122.10、122.60~123.10、123.60~123.80m: 斑晶多くなる。	35 (14)																																		
											深度123.32~123.34m: 破砕帯(Hc)。上盤50度。下盤55度。幅15mm。灰~黄灰色シルト質砂状。	32 (12)																																		
											深度128.30~128.55m: 斑晶が多い。	34 (13)																																		
											深度132.46~133.78m: 全体に変質を受け、やや軟質化。節理多く、節理に沿って褐色・灰白色シルトを挟む。	32 (12)																																		
											深度133.36m: シーム。傾斜32度。幅1mm。褐色シルト状。 深度133.36~133.41m: 変質帯。上盤32度。下盤39度。黄灰色砂質シルト状。	24 (9)																																		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — ( % ) 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
															N 値 ~ 深度																
		140		アブライト	灰褐色		IVg	cg	2		深度135.32~135.51m: 変質帯。上盤45度、下盤47度。軟質化している。深度135.51m: シーム。傾斜47度、幅1mm。褐色シルト状。	0 50 100	CL		0 10 20 30 40 50			92													
		140.40		花崗斑岩	褐色		IIIg	bg	2		深度137.35~140.40m: 節理に沿って褐色化顕著。岩芯は新鮮。		CM					2/40 37.35													
		150.00		花崗斑岩	褐色		IVg	cg	β	2	花崗斑岩。上位との境界傾斜30~35度。深度140.40~150.00m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を60%程度含み、石基は径0.1~0.5mm程度であり、下部には黒雲母を多く含む。		CL					110													
		150.00		花崗斑岩	褐色		IVg	cg					CM					2/42 46.60													
		150.00		花崗斑岩	褐色		IVg	cg					CL					85													
		150.00		花崗斑岩	褐色		IVg	cg					CM					2/43 50.00													

### ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No.15	調査位置		北緯	
発注機関				東経	
調査業者名		主任技師		現代理人	
				コ鑑定者	
				ボーリング責任者	
孔口標高	+ 92.98 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘削長	150.00 m	度	90°	向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
使用機種		試錐機		ハンマー落下用具	
		エンジン		ポンプ	

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D	[ ]	(標準貫入試験) 試験	N値 ~ 深度	孔内水位測定月日	岩盤区分	掘進速度 (cm/時)	送水量 (l/分)	送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	給圧 (kN・MPa)	送水量 (l/分)				
	92.91 92.79	0.10 0.20	花崗斑岩	灰白	VIg	d	ε	3	シルトと質砂。 深度0.21~0.53m: 花崗斑岩。 径5~5mmの石英、長石及び黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石英は径0.5mm程度である。	90	17	12	13	100			100										
	86.95	8.50	アフライト	灰黄	VIg	d	ε	3	深度3.40~7.13m: 再掘削。									100									
	84.06	12.62	アフライト	灰黄	VIg	d	ε	3	アフライト、上位との境界不明瞭。 深度8.53~66.55m: アフライト。 厚さ2m程度の花崗斑岩を挟む。 アフライトの石英は径0.1mm以下であり、下部に黒雲母を多く含み、全体に均質である。斑晶は非常に少なく、厚さ50cm以下で斑晶を有する部分を僅かに挟む。										89								
	83.65	13.20	アフライト	灰白	VIg	d	ε	3	深度9.57~9.69m間は風化し褐色を帯びたドレライトの貫入岩である。 深度12.62~13.20m間は厚さ15~20cmのドレライトの貫入岩。ドレライトの上位との境界32度。下位との境界不明瞭。 深度12.04m: シーム。傾斜78度。幅0.3mm。灰白色粘土状。幅1~2mmの石英脈を数cm程度正断層的にずらす。 深度12.31m: シーム。傾斜46度。幅4m。砂・礫状。幅1mmの石英脈を見かけ1.3cmずらす。												88						
			アフライト	灰白	VIg	d	ε	3	深度14.79m: シーム。傾斜10度。幅0.7mm。灰白色シルト状。傾斜65度。幅0.3mmの石英脈を見かけ0.5cm正断層的にずらす。 深度15.00~19.08m: 高角度及び低角度の節理に沿って流入粘土を含む角礫状部が認められる。											87							
			アフライト	灰白	VIg	d	ε	3	深度17.97m, 19.08m: 交差した節理部分に幅3~5mmの開口したずれが認められる。									82									
			アフライト	灰白	VIg	d	ε	3	深度20.18~20.57m: 斑晶多くなる。									83									
			アフライト	灰白	VIg	d	ε	3	深度21.91m: シーム。傾斜75度。幅1mm。明褐色砂状。幅1mm。傾斜30~50度の石英脈が正断層的に見かけ6.2cmずれる。										84								
			アフライト	灰白	VIg	d	ε	3	深度24.58~24.60m: 破砕帯(Hb)。下盤20度。幅20mm。明褐色礫混じり砂質シルト状(流入粘土)。礫は径0.5~2.5cmの亜角、表面にせん断面有り。シルト中に白色固結シルト片含む。 深度24.66~24.67m: 破砕帯(Hc)。上盤39度。幅12mm。灰白色砂状。白色固結シルト片含む。 深度25.83~25.93m: 破砕帯(Hc)。上盤30度。下盤45度。幅50mm。礫状主体。 深度25.89~25.91m間に傾斜30度で流入粘土を挟む。													150					

No.15(1/5)



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	岩内水位(測定日)	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )					原位置試験 ( 岩内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔内水位 / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
															0	10	20	30	40											50	
70	45.92	66.55	花崗斑岩	アブライト	明黄褐	I g	III g	β			花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度66.55~120.50m: 花崗斑岩。 径2~5mm程度の石英、長石、黒雲母の 斑晶を1~40%程度含み、石基は径0. 1~0.5mm程度である。	65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100	[B]							56						0.0	泥水1	0			
80	35.14	81.80	花崗斑岩	アブライト	灰	I g	III g	α			アブライト。上位との境界傾斜25~3 0度。 深度81.80~83.21m: 黒雲母を多く含 む粗粒なアブライト。	65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100	[B]																		
80	33.56	84.03	花崗斑岩	アブライト	灰	I g	III g	β			花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度84.03~85.00m: やや斑晶が少な い。 深度84.75~84.78m: 捕獲岩有り。	65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100	[B]																		
90			花崗斑岩	アブライト	明褐	I g	III g	β			深度87.70m: シーム。傾斜12度。幅1 ~2mm。粘土状。 深度87.74~88.00m: 変質帯。上盤27 度。黄褐色シルト質砂状。	65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100	[B]																		
90			花崗斑岩	アブライト	明褐	I g	III g	β			深度91.15~92.05m: 斑晶やや細粒。 径2~3mm程度の石英斑晶を含む。	65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100	[B]																		
90			花崗斑岩	アブライト	明褐	I g	III g	β			深度94.18~94.79m: 傾斜70~75度の 節理に沿って砂~シルトを挟む。	65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100	[B]																		
90			花崗斑岩	アブライト	明褐	I g	III g	β			深度97.82~97.85m: 破砕帯 (Hc)。上 盤72度、下盤67度。幅12mm。褐色・灰 白色シルトの互層状。	65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100	[B]																		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位(m)/測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
															0	10	20	30	40												50				
100				花崗斑岩	灰黄褐	IVg	og				深度99.00~99.85m: 斑晶少ない。 深度99.40~100.35m: 傾斜56~71度の節理発達し、褐色・灰白色シルトを挟む。	0 50 100	OM			2/15	83																		
				花崗斑岩	にぶい黄橙	IVg					深度101.55~102.60m: 斑晶少ない。		[CM]			2/16	31																		
				花崗斑岩	灰黄褐	Bg				2	深度106~120m: 傾斜70程度の密着した節理に微小な黄鉄鉱付着。		B'	[B]		2/19	101																		
				花崗斑岩	明褐	Bg							[CM]				2/20	82																	
				花崗斑岩	青灰	Bg							B'	[B]			2/20	40.0																	
				花崗斑岩	アフライト	Bg				1	深度111.70~120.50m: 斑晶が少なくなり (1~3%程度)、石基は径0.2~0.5mm程度で黒雲母を多く含む。		OM				2/20	81																	
				花崗斑岩	アフライト	Bg					深度115.40~115.90m: ベグマタイト。径1~3cmの長石主体。		B'	[B]				2/21	76																
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg					アフライト、上位、下位との境界傾斜20~30度。		OM					2/21	81																
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg					アフライト、上位との境界漸移的。深度120.50~150.00m: アフライト。石基は径0.1~0.2mm程度で、黒雲母多く、流理が認められる。厚さ20~35cmのベグマタイトを挟む。深度121.10~121.55m: 斑晶多い。		B'	[B]					2/21	97															
				花崗斑岩	明赤灰	Bg					深度124.50~124.60m: 斑晶多い。 深度125.60~126.10m: 斑晶多い。		OM					2/22	116																
				花崗斑岩	明赤灰	Bg					深度126.00~127.00m: 傾斜70度の一部の節理に幅1mmの石英脈を伴う。		B'	[B]					2/23	97															
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg					深度127.59~127.85m: 変質強く軟質化。 深度128.30~129.00m: 斑晶多い。		OM	[CM]					2/23	116															
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg					深度130.15m: 幅2~3mmの石英脈あり。		B'	[B]					2/23	97															
				花崗斑岩	灰	Bg					花崗斑岩、上位との境界傾斜40度。花崗斑岩はカリ長石の割合多い。節理に黄鉄鉱を挟む。		OM	[CH]					2/23	97															

標尺 高度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 ← cm R Q D ↳ [ % ]	岩 盤 区 分 類	孔 内 水 位 (m) 測定日	( 標準貫入試験 ) 試験 N 値 ~ 深度			原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室 内 試 験 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) / 孔壁保護	コ ア チ ュー ブ / ビット	給 水 圧 (MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)								
													N 値	深度	試験																		
	-3.58	136.56	花崗斑岩	Bg	II g					151, 164	CH		97																				
140	-8.31	143.25	灰 アブライト	Bg	II g	bg	α		アブライト、上位との境界漸移的。	149, 169, 177	OM		2/24 37.30																				
	-8.45	143.45	灰 明褐 褐灰	Bg	II g				深度139.03~139.42m: 弱く変質し、褐色を帯びる。節理に沿って褐色シルトを挟む。	152, 163, 164	OM																						
	-8.45	143.45	灰 明褐 褐灰	IV g	III g				深度143.03~143.42m: 弱く変質し、褐色を帯びる。節理に沿って褐色シルトを挟む。	152, 163, 164	OM																						
	-8.45	143.45	灰 明褐 褐灰	Bg	II g				深度143.25~143.45m: カリ長石の巨晶を主とするペグマタイトを挟む。	130, 133, 153, 164	OM																						
	-8.45	143.45	灰 明褐 褐灰	IV g	III g				深度143.25~143.45m: カリ長石の巨晶を主とするペグマタイトを挟む。	130, 133, 153, 164	OM																						
	-8.45	143.45	灰 明褐 褐灰	Bg	II g				深度146.66~148.20m: 珪化変質し、灰色石英化している。	130, 133, 153, 164	OM																						
	-8.45	143.45	灰 明褐 褐灰	IV g	III g				深度146.66~148.20m: 珪化変質し、灰色石英化している。	130, 133, 153, 164	OM																						
	-10.45	146.27	灰 アブライト	Bg	II g				深度148.10~148.20m: 黄鉄鉱濃集。	130, 133, 153, 164	OM																						
	-10.69	146.61	灰 明褐 褐灰	IV g	III g				深度148.10~148.20m: 黄鉄鉱濃集。	130, 133, 153, 164	OM																						
	-11.39	147.60	灰 アブライト	Bg	II g				深度148.70~149.22m: 変質帯。網目状に変質。褐・灰白色シルトを挟み、全体に軟質。	130, 133, 153, 164	OM																						
	-11.64	147.95	灰 明褐 褐灰	IV g	III g				深度148.70~149.22m: 変質帯。網目状に変質。褐・灰白色シルトを挟み、全体に軟質。	130, 133, 153, 164	OM																						
	-13.09	150.00	灰 明褐 褐灰	Bg	II g				深度149.22~149.23m: シーム。上盤53度。下盤57度。幅8mm。灰白色シルト状。	130, 133, 153, 164	OM																						
	-13.09	150.00	灰 明褐 褐灰	IV g	III g				深度149.22~149.23m: シーム。上盤53度。下盤57度。幅8mm。灰白色シルト状。	130, 133, 153, 164	OM																						

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No.16			調査位置					北緯	
発注機関							調査期間		東経	
調査業者名				主任技師		現代場人		コ鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	+ 74.48 m	角	180° 上	方	北 0°	地盤勾配	水平 0°	使用機種	試錐機	
総掘削長	220.00 m	度	90°	向	270° 西	鉛直	90° 0°		ハンマー 落下用具	
			90°		180° 南	90° 東	0°		ポンプ	

標尺 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記述	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	L [%]	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
																N 値	~ 深度	N 値	~ 深度	N 値											~ 深度	N 値	~ 深度			
10	64.67		盛土	浅黄					深度0.40~2.00m: 盛土。径0.5~3.0 cmの碎石、砂。																											
	9.81		盛土	にぶい黄褐					深度2.00~9.63m: 盛土。シルト混じり砂礫。															207	140/ケーシング	15.0	110	0.0	0	0	0					
	61.75	12.73	花崗斑岩	明赤灰		δ			深度9.81~12.73m: 花崗斑岩。径5~15mmの長石。黒雲母の斑晶。径3mmの石英の斑晶を30~40%程度含み、石基は径0.5~1mm程度である。全体に風化著しく、岩芯まで褐色を帯び、脆い。傾斜40~70度の節理が発達するが不明瞭。酸化鉄が付着し密着する。															240	114/ケーシング								10			
	60.37	14.11	アフリート	明赤灰					アフリート。上位との境界傾斜7度。深度12.73~17.17m: アフリート。石基は径0.1mm以下であり、斑晶は径3~5mmの石英、長石の斑晶が点在する。下部では黒雲母が多くなる。ペグマタイト傾斜25度。																250		60.0	190	0.0	12	0					
	60.15	14.33	アフリート	明赤灰					ペグマタイト傾斜25度。																											
			アフリート	にぶい黄橙					深度16.01~16.12m: 破砕帯(Hj)。上盤50度、下盤75度。節理密集部。岩質脆い。深度16.12~16.30m: 破砕帯(Hj)。上盤75度、下盤60度。灰白色糜混じり砂状。深度16.29m、厚さ1~4mm程度の桃白色粘土を挟む。下盤側65度のシームを上盤側60度のシームが切る。逆断層的センス。深度16.30~17.42m: 破砕帯(Hj)。上盤60度、下盤70度。灰白色節理密集部。16.85mシーム。傾斜70度の節理を傾斜80~90度のシームが数mmずらしている。深度17.70~17.82m: 破砕帯(Hj)。上盤35度、下盤50度。幅80mm。糜混じりシルト質砂状。深度17.82~20.00m: 岩質は比較的硬いが、密着した節理が数cm間隔で発達。深度21.28~24.43m: 10~20cm間隔で傾斜55~70度の節理が発達する。面は褐色を帯びる。																			240								
20			アフリート	明赤灰		γ																			9/15	99/ケーシング	40.0	180	0.0	3	0					
			アフリート	明赤灰																																
			アフリート	にぶい黄橙																					9/16											
			アフリート	灰白																																

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアカ形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位 (m) 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアカチューブ / ビット	給送 水圧 (MPa)	回転 数 (rpm)	送水 量 (l/分)	排水 量 (l/分)	
															( N 値 ~ 深度 )														
(m)	(m)	(m)																											
		30		アブライト	明褐灰	IVg	bg				深度27.00~27.09m: 節理密集部、高角度の節理多い。		OM																
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					深度28.82~29.04m: 節理密集部。節理面は黒褐色を帯びる。		CL																
		30		アブライト	明褐灰	IVg	Cg				深度31.00m: 幅10mmシルト混じり礫状。上盤に幅1mmの黄灰~暗褐色シルトを挟む。礫肌あり。																		
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					花崗斑岩、上位との境界傾斜60度。径0.5~2.0cmの捕獲岩が点在する。下位との境界傾斜40度。																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg					深度35.35m: シーム。傾斜60度。幅7~10mmの暗褐色粘土状。																		
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					深度35.62~35.77m、36.21~36.34m: 径0.3~1.0cmの暗褐色を帯びた捕獲岩を多く含む。																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg					深度39.16m: 傾斜50度。幅6~10mmの礫・シルト混じり砂を挟む。		OM																
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					花崗斑岩、上位との境界不明瞭。深度41.21~50.70m: 花崗斑岩。径3mm程度の石英、長石の斑晶を1~3%程度含む。石基は径0.1mm以下である。																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg					深度41.39~43.76m: 傾斜45~50度の節理が10cm以下の間隔で発達。節理面は褐色を帯びる。																		
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					アブライト、上位との境界凹凸あり。傾斜65度。																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg					全体に短柱~柱状コア主体。																		
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					深度46.36~46.43m: 節理密集部。深度46.36m、傾斜80度。下盤側節理0.3~1.0cm間隔。																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg	bg				深度46.43m、傾斜40度。上盤側砂状2mm、細礫状1cm。																		
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					深度47.70~47.89m: 主として傾斜50~65度の密着した節理が、1~2cm間隔で発達。																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg					アブライト、上位との境界傾斜60度。																		
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					深度52.53~52.90m: 節理が密着する																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg					深度52.68m、傾斜55度の節理の上・下盤に傾斜70度以上の高角度な節理が0.5~2.0cm間隔で発達。																		
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					全体に0.5~1.0cm間隔で密着した節理が発達。																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg					深度54.48~54.89m: 節理密集部。一節角礫状。																		
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					深度54.68m: シーム。傾斜50度。幅3~10mm、礫混じり暗褐色粘土状。																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg					深度56.75~56.85m: ベグマタイトを挟む。																		
		30		アブライト	明褐灰	IIIg					花崗斑岩、上位との境界傾斜30度。深度57.17~63.47m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石及び黒雲母の斑晶を3~10%程度含む。石基は径0.1mm以下である。石基は流理が認められる。																		
		30		アブライト	明褐灰	IVg					深度61.08~63.03m: 密着及び開口した節理が1~3cm間隔で発達。																		



標 尺	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 削 の 状 況	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コア長 cm	岩 盤 分 類	孔 内 水 位 (N 値) (測定月日)		( 標準貫入試験 ) 試験					原 位 置 試 験 ( 孔 内 水 平 載 荷 )	室 内 試 験 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	コ ア チューブ / ビット	給 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)						
												N	値	N	値	N	値	N											値	N	値			
100	-25.98	100.46	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	bg		花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度100.46~102.78mおよび105.00~112.95m間の花崗斑岩は、径3mmの石英、長石を主とする斑晶を50%程度含み、石英は径0.1~0.5mmで黒雲母を多く含む。		OM [CM]	10/10	00.30				127		10/10		155	30.0	190	0.0	泥水1	0								
	-28.30	102.78	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		アプライト。上位との境界傾斜45度。下位との境界傾斜29度。		OM [CM]																							
	-28.92	103.40	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	bg		アプライト。上位との境界傾斜40度。下位との境界傾斜64度。		OM [CM]																							
	-29.05	103.53	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		アプライト。上位との境界傾斜33度。		OM [CM]																							
	-29.35	103.83	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		アプライト。上位との境界傾斜30度。下位との境界不明瞭。		OM [CM]																							
	-29.66	104.13	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		アプライト。下位との傾斜漸移的。		OM [CM]																							
	-30.52	105.00	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		アプライト。上位、下位との境界漸移的。		OM [CM]																							
	-31.87	106.35	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度113.66m: 破砕帯(Hc)。傾斜74度。幅10~24mm。灰白色粘土状。 深度113.77m: 破砕帯(Hc)。傾斜62度。幅10~15mm。灰白色粘土状。 深度114.30~114.86m: 変質帯。上盤23度。下盤65度。緑灰色粘土を挟む。		CL	10/11	07.90																					
	-34.35	108.83	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度115.52~115.58m: 傾斜65~68度。変質強い。 深度116.07~116.16m、116.50~116.64m: 傾斜50~60度。変質強い。		CL																							
	-35.17	109.65	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度117.16~117.31m: 変質帯。上盤55度。下盤66度。		OM [CM]																							
	-36.55	111.03	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度119.52m: 変質強く豊母粘土鉱物を伴う。 深度120.00~121.52m: 低角度な節理が多い。		OM [CL]																							
	-37.04	111.52	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度121.36~123.65m: 変質帯。上盤66度。下盤40度。 深度121.85~121.86m: 破砕帯(Hc)。傾斜44度。幅5~10mmの砂混じりシルト状。見かけ正断層のずれあり。 深度121.86~122.21m: 破砕帯(Hj)。上盤44度。下盤0度。固結砂礫状。高角度の面発達。		CL																							
	-37.66	112.14	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度122.96~123.00m: 幅20mm。灰白色砂質シルト状。 深度123.65~154.63m: 花崗斑岩。上位のアプライトとの境界は割れ目密集部。 深度131.95mまで褐色化が顕著。径3~10mmの石英、長石及び黒雲母の斑晶を40~60%程度含み、石英は径0.1mm程度である。 深度135.20~136.36m間はアプライトを挟む。 深度126.73~127.02m: 石英細脈多い。傾斜41~58度。		CL	10/12	14.70																					
	-38.47	112.95	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度129.19~129.37m: 変質帯。上盤50度。下盤56度。砂礫状。明褐色帯びる。 深度130.20~131.28m: 破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混じり砂状。 深度131.94~132.05m: 破砕帯(Hc)。上盤0度。固結シルト状。 深度132.06~132.25m: 破砕帯(Hc)。下盤49度。塊混じりシルト質砂状。 深度132.25~132.28m: 破砕帯(Hc)。傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト状。 深度132.28~132.47m: 破砕帯(Hj)。上盤49度。下盤66度。原岩組織残す。 深度132.47~133.26m: 破砕帯(Hj)。上盤66度。下盤43度。深度132.87mに傾斜53度。幅10mmの緑灰色シルト(Hc)を挟む。 深度133.70~134.00m: 破砕帯(Hj)。節理密集。		CL	10/13	22.70																					
	-47.26	121.74	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度129.19~129.37m: 変質帯。上盤50度。下盤56度。砂礫状。明褐色帯びる。 深度130.20~131.28m: 破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混じり砂状。 深度131.94~132.05m: 破砕帯(Hc)。上盤0度。固結シルト状。 深度132.06~132.25m: 破砕帯(Hc)。下盤49度。塊混じりシルト質砂状。 深度132.25~132.28m: 破砕帯(Hc)。傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト状。 深度132.28~132.47m: 破砕帯(Hj)。上盤49度。下盤66度。原岩組織残す。 深度132.47~133.26m: 破砕帯(Hj)。上盤66度。下盤43度。深度132.87mに傾斜53度。幅10mmの緑灰色シルト(Hc)を挟む。 深度133.70~134.00m: 破砕帯(Hj)。節理密集。		CL	10/13	22.70																					
	-47.56	122.04	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度129.19~129.37m: 変質帯。上盤50度。下盤56度。砂礫状。明褐色帯びる。 深度130.20~131.28m: 破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混じり砂状。 深度131.94~132.05m: 破砕帯(Hc)。上盤0度。固結シルト状。 深度132.06~132.25m: 破砕帯(Hc)。下盤49度。塊混じりシルト質砂状。 深度132.25~132.28m: 破砕帯(Hc)。傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト状。 深度132.28~132.47m: 破砕帯(Hj)。上盤49度。下盤66度。原岩組織残す。 深度132.47~133.26m: 破砕帯(Hj)。上盤66度。下盤43度。深度132.87mに傾斜53度。幅10mmの緑灰色シルト(Hc)を挟む。 深度133.70~134.00m: 破砕帯(Hj)。節理密集。		CL	10/14	31.00																					
	-49.17	123.65	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度129.19~129.37m: 変質帯。上盤50度。下盤56度。砂礫状。明褐色帯びる。 深度130.20~131.28m: 破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混じり砂状。 深度131.94~132.05m: 破砕帯(Hc)。上盤0度。固結シルト状。 深度132.06~132.25m: 破砕帯(Hc)。下盤49度。塊混じりシルト質砂状。 深度132.25~132.28m: 破砕帯(Hc)。傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト状。 深度132.28~132.47m: 破砕帯(Hj)。上盤49度。下盤66度。原岩組織残す。 深度132.47~133.26m: 破砕帯(Hj)。上盤66度。下盤43度。深度132.87mに傾斜53度。幅10mmの緑灰色シルト(Hc)を挟む。 深度133.70~134.00m: 破砕帯(Hj)。節理密集。		CL																							
	-60.52	135.00	花崗斑岩	アプライト	Bg	IVg	cg		深度129.19~129.37m: 変質帯。上盤50度。下盤56度。砂礫状。明褐色帯びる。 深度130.20~131.28m: 破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混じり砂状。 深度131.94~132.05m: 破砕帯(Hc)。上盤0度。固結シルト状。 深度132.06~132.25m: 破砕帯(Hc)。下盤49度。塊混じりシルト質砂状。 深度132.25~132.28m: 破砕帯(Hc)。傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト状。 深度132.28~132.47m: 破砕帯(Hj)。上盤49度。下盤66度。原岩組織残す。 深度132.47~133.26m: 破砕帯(Hj)。上盤66度。下盤43度。深度132.87mに傾斜53度。幅10mmの緑灰色シルト(Hc)を挟む。 深度133.70~134.00m: 破砕帯(Hj)。節理密集。		CL	10/14	31.00																					



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位/測定日 (N) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給 送 水 量 (MPa)																			
																( N 値 ~ 深度 )																													
																0	10	20	30	40																				50					
180				花崗斑岩	灰	IVg	bg				深度172.78~173.26m: 比較的節理が少ない。		OM			10/23 71.45		142																											
					黄灰	IVg	cg				深度173.92~175.58m: 傾斜45度及び82度の平行した節理が10~20cm間隔で発達。 深度174.33m以深: 密着した節理が多くなる。 深度175.00~176.69m: 傾斜50~60度の平行した節理が5~15cm間隔で発達。		CL						140																										
					にぶい褐	IIg					比較的節理少ない。高角度の不連続な密着した節理あり。																																		
					褐灰	IIIg					深度178.55m: 幅5~8mm, 傾斜75度の石英脈あり。 深度179.02m: 幅10mmの石英脈あり。 深度179.13m: 幅5~15mm, 傾斜78度の石英脈あり。																																		
					灰	IVg	bg				深度181.57m: シーム, 傾斜37度, 幅8~10mmの礫状。正断層構造有り。条線の方向90度。 深度181.67~185.00m: 傾斜20~35度と傾斜70~80度の節理が発達。節理は数~20cm間隔で発達し、部分的に密着する。 高角度な節理には黄鉄鉱や厚さ1mm以下の砂~緑灰色シルトを挟む。		OM [CM]																																
					褐灰	IIIg					深度185.00~187.48m: 密着した節理が発達。																																		
					灰白	IVg	cg			α	深度187.48~220.00m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、カリ長石、重曹母の珪晶を70%程度含む。石英は径0.5~1.0mm程度である。 深度187.48~190.65m: 変質帯。上盤35度。岩質脆い。		CL																																
					黄灰	IIIg				2	深度190.37~193.00m: 1~5cm間隔で密着した節理が発達する。		OM																																
					灰白	IVg	cg			3	深度193.00~195.55m: 変質帯。下盤53度。変質を受け、黄鉄鉱点を含む。傾斜60~70度及び傾斜85~90度の連続した節理が発達。		CL																																
					褐灰	IIIg				2	深度197.32m: シーム。傾斜85~90度。幅0.3mmの暗緑色シルト質砂状。傾斜50~60度の節理が1~2cmづれる。条線の方向ほぼ水平。		OM																																
					灰白	VIg				3	深度199.22~200.00m: 破砕帯(Hb)。傾斜75~80度。砂礫状。高角度の節理あり。 深度200.04m: シーム。傾斜58度。幅1~4mmの緑灰色固結シルト質砂状。		[CL]																																
					青灰	IVg	bg				深度202.96~204.00m: 節理に沿って砂~細礫状。一部土砂状。低角度な節理卓越。 深度203.78m: シーム。傾斜69度。幅1~4mm。緑灰色砂質シルト状。		CL																																
					灰	IVg	cg				深度205.00~206.08m: 高角度な節理卓越し、一部細礫状をなす。																																		
					青灰	IVg					深度206.08~206.44m: 密着した節理卓越。 深度206.44~207.66m: 節理多く、角礫状。																																		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率	岩級区分	孔内水位(m)/測定日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
												→ (%)			最大コア長 (cm)	R	Q	D	N 値 ~ 深度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
-210				花崗斑岩	IVg	α	c.g.			2	深度207.66~210.50m: 柱状コア。密着した節理多く、節理に沿って砂~細礫を挟む。	230 58 [59]	CL	[CL]	0	10	20	30	40	50								ダブルコアチューブ/ダイヤビット	35.0	165	0.0	泥水3	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					IIIg						深度210.53m: シーム。傾斜84度、幅5~10mmの黑色シルト状。	334 16 [34]			CM	[CM]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
					IIg						深度210.50~212.52m: 変質帯。上盤67度、下盤50度。全体に軟質化。含礫固結砂質シルト状で、網目状に細粒分を含む。指圧で変形。	334 16 [34]																																														CL	[CL]																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					IIIg						深度212.52~215.45m: 密着した節理多く。全体に変質を受け、礫状化する。	334 16 [34]																																																																												CM	[CM]																																																																																																																																																																																																																																																																			
					IIIg							334 16 [34]																																																																																																												CL	[CL]																																																																																																																																																																																																																																			
					IIg							334 16 [34]																																																																																																																																													CL	[CL]																																																																																																																																																																																																		
					IVg							334 16 [34]																																																																																																																																																																														CL	[CL]																																																																																																																																																																	
					IVg							334 16 [34]																																																																																																																																																																																																															CL	[CL]																																																																																																																																
					IIIg							334 16 [34]																																																																																																																																																																																																																																																CM	[CM]																																																																																															
					IIIg							334 16 [34]																																																																																																																																																																																																																																																																																		CM	[CM]																																																													
					IVg							334 16 [34]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					CL	[CL]																										
			IVg		334 16 [34]	CL	[CL]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			Dg		334 16 [34]										CL	[CL]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			Dg		334 16 [34]																																																					CL	[CL]																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			Dg		334 16 [34]																																																																																			CL	[CL]																																																																																																																																																																																																																																																																			



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	変質	記事	コア採取率 — ( % ) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアカチューブ/ピット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
													( N 値 ~ 深度 )													
30				アプライト	明褐灰				深度27.65~27.73m: 破砕帯(Hb)。上盤53度。下盤43度。幅35~55mm。砂礫状及び凝滞じりシルト質砂状。上下盤で走向が異なる。 深度29.00~30.00m: 開口した節理に流入粘土が認められる。 深度31.30~31.33m: 変質により砂礫状。		OM		11/17	29.90		151		25.0	190	0.0	泥水8	5				
40	37.35	40.95		花崗斑岩	褐灰			γ	深度32.54~32.65m: 破砕帯(Hb)。上盤45度。下盤42~63度。幅50mm。明黄色凝滞じりシルト質砂状~凝滞じり砂質シルト状。 深度32.65~32.75m: 破砕帯(Hb)。下盤45度。幅50mm。赤褐色礫・シルト混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕帯に切られる。 深度32.75~37.00m: 傾斜25~45度の節理が数cm程度の間隔で発達し、短柱~岩片状コアをなす。節理面およびその周辺は褐色を帯びる。 花崗斑岩。上位との境界傾斜65度。凹凸あり。 深度40.95~46.07m: 暗灰色帯び。最大径5cm一般径1~2cmの亜円~亜角の捕獲岩を含む。 深度41.22~41.25m: 幅18~20mm。褐色凝滞じりシルト質砂状。		OM		11/20	43.35		227		0.0	泥水7	0						
50	31.05	47.90		アプライト	黄褐				深度43.40~43.51m: 節理密集する。 深度43.51~43.54m: 幅25mm。暗灰色シルト・凝滞じり砂状。部分的に葉片状。 安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界。約40度。		OM		11/21	55.35		145		35.0	165							
60	20.12	59.96		アプライト	灰褐			β	アプライト。上位との境界不明瞭。 深度48.31~48.45m: 変質帯。上盤45度。下盤35度。明褐灰~灰色の細片状。 深度49.34~50.25m: 黒褐色を帯びる高角度な節理発達。 深度51.83~51.86m: 幅20mm。暗褐色砂礫状。 深度53.42~53.49m: 幅25~30mm。節理密集する。		OM		11/21	55.35		142		0.0	泥水6	0						
				花崗斑岩	暗灰黄				深度55.45~55.46m: 破砕帯(Hb)。上盤45度。下盤46度。幅20mm。黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり礫状。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。やや暗緑色を帯び、ひん岩に近い岩相。		OM															
				アプライト	灰褐			γ	アプライト。上位との境界不明瞭。 深度59.96~63.00m: 全体に褐色化顕著。 深度61.89~62.22m: 破砕帯(Hj)。傾斜36度。径3~10mmの角礫状。上面に幅1~4mmの黄褐色シルトを挟む。		OM															

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ( % )		岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験		原位置試験 孔内水平载荷 ( )	室内試験 日	掘進月	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアカチーブ / ビット	給送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)							
												最大コア長 (cm)	N 値 ~ 深度			N 値	( N 値 )																	
70	15.72 15.55	64.81 65.04	花崗岩	アブライト	灰褐	Cg, IIg, IIIg, IVg	bg				深度65.00~68.84m: 比較的高角度な節理多く、岩片~柱状コア主体。	0	16	OM		11/23		65.30				83 / ケーシング	35.0		0.0	0	0							
70	14.08 13.70	66.62 67.04	花崗岩	アブライト	黄灰	IIg, IVg, IIIg	bg				花崗岩。上位、下位との境界傾斜65度。											76 / セメントインサ				0.0	0							
80					灰褐	IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg, IIIg, Cg, IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg	bg				深度68.84~69.91m: 破砕帯(Hb)。上盤43度。下盤3度。幅25~90mm。明黄色シルト混じり砂礫状。 深度69.91~69.11m: 破砕帯(Hc)。上盤3度。下盤63度。幅3~20mm。明褐色雜混じりシルト状。 深度69.11~69.15m: 破砕帯(Hc)。上盤63度。下盤不明。幅10mm。暗褐・灰白色細粒雜混じり砂質シルト状。 深度69.15~69.25m: 破砕帯(Hj)。上盤63度。径10mm以下の角礫状。 深度70.92~70.94m: 破砕帯(Hc)。上盤41度。下盤50度。幅5~17mm。黄褐色雜混じり砂質シルト状。 深度71.98~72.10m: 幅110mm。黄褐色シルト・砂混じり礫状。	CM			11/24		72.10										141	30.0	165	0.0	0			
					灰褐	IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg, IIIg, Cg, IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg	bg				深度75.60~75.72m: 破砕帯(Hj)。上盤46度。下盤47度。幅90mm。節理密集部。 深度75.72~75.90m: 破砕帯(Hc)。上盤47度。下盤29度。 幅10mmの明黄色シルト状。75.78m。幅18mmの暗褐色粘土(傾斜20度)を挟む。 深度76.90~77.45m: 変質帯。 深度77.35m: シーム。傾斜45度。幅1~2mmの桃色粘土状。	CL	CM		11/25		74.30											142			0.0	0		
					灰白	VIg, Vg, Cg, IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg	cg				深度80.00~82.23m: 節理多く、一部角礫状。密着した節理も多い。	D			11/27		81.95												0.0	0				
					明褐灰	IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg, IIIg, Cg, IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg	cg				深度82.83~85.61m: 破砕帯(Hj)。上盤67度。下盤10度。角礫~細礫状。所々に砂・シルトを挟む。古い破砕帯。	CL	OM		11/28		81.95													0.0	0			
					灰褐	IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg, IIIg, Cg, IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg	cg				深度85.96~86.86m: 変質帯。下盤37度。固結しており砂岩様を示す。原岩構造なし。 深度86.86~87.56m: 変質帯。上盤37度。下盤9度。角礫状。網目状に固結シルトに砂を挟む。 下面に幅20mmの暗褐色雜混じりシルトを挟む。 深度87.56~87.83m: 変質帯。上盤9度。下盤45度。固結しており砂岩様。原岩構造なし。 深度87.83~88.14m: 変質帯。上盤45度。下盤40度。角礫状。網目状に固結シルトに砂を挟む。 深度88.67~90.84m: 変質帯。上盤32度。下盤72度。角礫~細礫状。90.43mに幅1~2mmの褐色固結粘土を挟む。	CL	OM		11/29		89.95																0.0	0
					灰色	IIIg, Cg, IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg	cg				深度91.52~95.80m: 変質帯。上盤66度。下盤40度。高角度な節理により網目状をなす。節理密集する。	CL	OM																0.0	0				
					灰褐	IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg, IIIg, Cg, IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg	cg				深度96.00~96.28m: 節理密集する。	CL	OM																0.0	0				
					褐灰	IIIg, Cg, IVg, Vg, VIg, VIIg, VIIIg	cg				アブライト。上位との境界傾斜60度。深度98.52~102.50m: 節理やや少なく、節理に沿って褐色化。	OM	CM																0.0	0				
					アブライト																		ダブルコアカチーブ / ダイヤビット	35.0		175	0.0	0	0					
																							83 / ケーシング	35.0		165	0.0	0	0					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	孔内水位/測定日 (N値)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径 (mm)	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																
																( N値 ~ 深度 )																															
100			[Red pattern]	褐灰	IVg	Cg	IIIg	bg		β	2	0	50	OM	172	11 / 30	06.25	172	30.0	0.0	泥水12	0																									
					[Red pattern]	褐灰	IVg	Dg	IVg	bg			2	0	50	OM	138	12 / 1	09.05	138	35.0	0.0	泥水12	0																							
							[Red pattern]	褐灰	IVg	Dg	IVg	bg			3	0	50	OM	125	12 / 2	14.05	125	30.0	0.0	泥水13	0																					
									[Red pattern]	灰白	IVg	Dg	IVg	bg			2	0	50	OM	151	12 / 4	21.35	151	25.0	165	0.0	泥水10	0																		
											[Red pattern]	黄灰	IVg	Dg	IVg	bg			2	0	50	OM	197	12 / 5	22.65	197	15.0	0.0	泥水10	0																	
			[Red pattern]	黄灰									IVg	Dg	IVg	bg			2	0	50	OM	139	12 / 6	26.85	139	20.0	0.0	泥水12	0																	
					[Red pattern]	灰黄							IVg	Dg	IVg	bg			3	0	50	OM	155	12 / 22	31.80	155	40.0	0.0	泥水10	3																	
							[Red pattern]	灰黄					IVg	Dg	IVg	bg			3	0	50	OM	161	12 / 22	31.80	161	35.0	0.0	泥水6	0																	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	標準貫入試験 (試験)		掘進速度 (cm/時)	掘進月日	室内試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)								
															N 値	深度																
140	52.28	139.84		アブライト	Dg	IVg					深度128.56~128.58m: 変質帯。上盤42度。下盤30度。固結砂状。 深度129.25~129.30m: 変質帯。上盤38度。下盤32度。固結砂状。 深度129.76~129.79m: 変質帯。下盤29度。固結砂状。 花崗斑岩。上位との境界漸移的。 深度132.07~132.18m: 変質帯。上盤42度。下盤35度。暗黄灰色砂礫状。 深度132.25m: シーム。傾斜31度。幅1~3mmの灰オリーブ色固結シルト状。 深度132.52~132.62m: 変質帯。上盤52度。下盤25度。砂礫状。 アブライト。上位との境界漸移的。 深度133.31~133.33m: 幅約16mm。灰白色シルト混じり固結砂礫状。 深度133.59~133.76m: 変質帯。下盤85度。固結砂礫状。 深度135.00~138.45m: 亀裂多く、コアは岩片~短柱状をなす。 深度138.03~138.45m: 変質帯。上盤6度。下盤50度。砂・礫状。 深度138.22~139.60m: 比較的節理少なく、柱状コア主体。 深度139.60~140.46m: 変質帯。上盤52度。下盤68度。節理発達し、砂状化	0	50	100	CL	0	10	20	30	40	50											
				花崗斑岩	Dg	IVg					花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度138.84~154.83m: 花崗斑岩。 花崗斑岩は褐色化。変質が強い。 径3~5mmの石英、長石及び黒雲母の斑晶を5~30%程度含む。石英は径0.1~0.2mm程度で黒雲母を含む。 深度143.11~143.28m: 変質帯。上盤56度。下盤36度。固結砂礫状。 深度144.35~144.37m: 破砕帯 (Hc)。 上盤47度。下盤59度。幅20mm。固結黄褐色砂混じりシルト状。古い破砕帯。 深度144.35~155.33m: 変質帯。上盤破砕帯。下盤39度。岩片状。 深度146.04~146.96m: 全体に傾斜40~60度の節理が1~3cm間隔で発達し、コアは岩片状を主体とする。 アブライト。上位、下位との境界漸移的。																					
	58.97	147.22		アブライト	Dg	IVg					深度150.00~151.51m: 傾斜40~65度の節理が5~6cm以下の間隔で密集し、岩片~薄片状を呈する。																					
	59.79	148.13		アブライト	Dg	IVg					深度150.00~151.51m: 傾斜40~65度の節理が5~6cm以下の間隔で密集し、岩片~薄片状を呈する。																					
150				花崗斑岩	Dg	IVg					深度152.95~153.86m: 部分的に変質により砂・礫状を呈するが、一般に節理が少なく、短柱~柱状をなす。																					
	65.86	154.83		明褐灰	Dg	IVg					アブライト。上位との境界傾斜10~20度。 深度154.83~187.52m: アブライト。 アブライトは深度159.15mまで褐色化するが、これ以降、褐色化していない。 アブライトの石英は径0.2mm程度で粗織はほぼ均質である。斑晶の量は非常に少ない。 深度155.33~156.95m: 比較的節理少なく、短柱~柱状をなす。 深度156.97~162.43m: 変質帯。上盤87度。下盤65度。 傾斜30~50度および85度程度の節理が発達し、砂質シルト状~岩片状を呈する。 深度159.31~159.39m: 変質帯。幅32mm。黄灰色砂質シルト状。 深度159.39m: シーム。傾斜39度。幅5~8mmの黒灰色シルト状。 花崗斑岩。上位、下位との境界不明瞭。																					
	70.41	159.85		アブライト	Dg	IVg					深度162.57m: シーム。傾斜63度。幅2~3mm。暗灰色礫混じり砂状。 深度164.52~165.06m: 変質帯。上盤52度。下盤55度。砂礫状。 深度165.60~165.61m: シーム。上盤59度。下盤56度。幅5~8mmの暗灰色礫混じりシルト状。 深度165.61~170.14m: 変質帯。上盤56度。下盤50度。全体に固結砂状を呈する。酸化し明黄褐色を帯びる。																					
	71.89	161.48		花崗斑岩	Dg	IVg					深度169.72m: シーム。傾斜55度。幅1~3mm。灰色シルト状。 深度169.74m: シーム。傾斜56度。幅2mm。灰色シルト状。																					
160				明褐灰	Dg	IVg																										
				アブライト	Dg	IVg																										
				明黄褐	Dg	IVg																										
				灰黄	Dg	IVg																										
170																																



# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.															
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No.18		調査位置		北緯	
発注機関				調査期間	東経	
調査業者名			主任技師	現代理人	コ鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+ 7.03 m	角	180°上 90°	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°
総掘削長	175.00 m	度	T <sub>V</sub> 30°	向	東 90° 西 270° 南 180°	使用機種 試錐機 エンジン
					ハンマー 落下用具	
					ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分図	岩種	色調	硬度	割れ目の形状	風化	変質	記	コア採取率 ( % )	最大コア長 ( cm )	R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位 ( m ) / 測定月日	試験 ( 標準貫入試験 )	N 値 ~ 深度 ( N )	原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	掘進時間 ( 分 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	給圧 ( kN / MPa )	回転数 ( rpm )	送水量 ( l / 分 )	排水量 ( l / 分 )	
																											室 ( N 値 )
		-0.16		黄褐						盛土。礫混じり砂。						2		2.00		2/2	600	165	35.0				
		-1.41		褐						盛土。砂混じり礫。径20~30mmの礫主体。						2		2.00		2/2	207	140	60	0.0	0	0	
		-1.85		にぶい黄						盛土。礫混じりシルト質砂。						3		9.60		2/3		140	40.0				
		-3.04		砂						盛土。シルト質砂。						5		13.00		2/5		30.0		0.0	泥水 10	0	
		-3.32		砂礫						盛土。礫混じりシルト質砂。少量の砂岩礫あり。						6		14.70		2/6							
		-3.50		砂						径1~6cm。最大径9cmの花崗斑岩。アプライトを含む。基質は粗粒砂~細礫。						7		15.00		2/7							
		-4.52		砂						粗粒砂。上方細粒化。						8		17.04		2/8							
		-5.08		砂						径1~3cm。最大径8cmの花崗斑岩。アプライト角礫を含む。基質はシルト混じり粗粒砂。						9		18.25		2/9							
		-5.24		砂						径1cm以下の細礫を含む。						10		20.85		2/10							
		-5.35		砂						径0.5~2cm。最大径30cmのアプライト花崗斑岩角礫を含む。礫は新鮮岩主体。一部風化。						11		19.34		2/11							
		-6.43		砂						径1cm以下の礫を含む。						12		17.81		2/12							
		-7.12		砂						径1~3cmの花崗斑岩。アプライト角礫主体。基質は粗粒砂。						13		18.25		2/13							
		-7.73		砂						腐植土。繊維質。幅2~3cm程度の腐植土を挟む。木片、炭化物を多く含む。						14		17.04		2/14							
		-8.39		砂						中~粗粒砂。一部細礫を含む。炭化物を含み。一部木片あり。						15		14.30		2/15							
		-8.77		砂						腐植土。細粒砂。中~粗粒砂の互層状。						16		14.30		2/16							
		-9.73		砂						径1cm以下。最大径4cmの亜角礫を含む中粒砂。						17		20.85		2/17							
		-11.03		砂						径0.5cm程度の石英粒を含む。						18		20.85		2/18							
		-11.03		砂						径2~5cm。最大径14cmの亜角礫を含む。基質は粗粒砂。						19		20.85		2/19							
		-11.03		砂						径1~3cmの花崗斑岩。アプライト角礫主体。基質は粗粒砂。						20		20.85		2/20							
		-11.03		砂						腐植土、繊維質。幅2~3cm程度の腐植土を挟む。木片、炭化物を多く含む。						21		20.85		2/21							
		-11.03		砂						中~粗粒砂。一部細礫を含む。炭化物を含み。一部木片あり。						22		20.85		2/22							
		-11.03		砂						腐植土。細粒砂。中~粗粒砂の互層状。						23		20.85		2/23							
		-11.03		砂						径1cm以下。最大径4cmの亜角礫を含む中粒砂。						24		20.85		2/24							
		-11.03		砂						径0.5cm程度の石英粒を含む。						25		20.85		2/25							
		-11.03		砂						径2~5cm。最大径14cmの亜角礫を含む。基質は粗粒砂。						26		20.85		2/26							
		-11.03		砂						深度19.35~65.70m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を1~3%程度含み。石基は径0.1mm以下である。深度20.00~21.29m: 強風化岩。原岩構造不明瞭。アプライト。上位との境界傾斜57度。						27		20.85		2/27							
		-11.03		砂						深度23.02~24.68m: 全体に強風化を受け黄褐色を帯びる。筋理に沿ってシルトを挟む。						28		20.85		2/28							
		-11.03		砂						深度26.53~28.18m: 強く風化し軟質。一部土砂状。						29		20.85		2/29							

No.18(1/6)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定期日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
															( N 値 ~ 深度 )																		
		16.40		花崗斑岩	黄橙	Eg VIg	cg	ε			深度28.18~29.61m: 風化しているが、柱状コアをなす。節理に沿って黒褐色酸化マンガンを挟む。	0	D'		0	10	20	30	40	50					115 / ケーシング								
		27.06		花崗斑岩	黄橙	Dg IVg	dg	δ			アプライト、上位との境界不明瞭。	50	D'												105								
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Eg VIg	cg	ε			深度30.34~33.00m: 強風化し軟質。節理の多くは密着し、やや不明瞭。	100	D'												2/13								
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Dg IVg	dg	δ			深度33.00m以深、強い風化を受けているが、弱風化のところもあり。	150	D'												130								
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Eg VIg	cg	ε			深度35.14~35.16m: 傾斜58~61度。幅5~8mm。黒褐色固結状シルトを挟む。	200	D'												2/14								
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Dg IVg	dg	δ			深度37.73m以深、柱状コアをなすが、強風化し、やや軟質。節理に沿って褐色を帯びる。	250	D'												89								
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Eg VIg	cg	ε			深度38.50~38.65m: 石英の斑晶多い。	300	D'												2/15								
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Dg IVg	dg	δ			深度41.90~42.41m: 変質帯。上盤66度。下盤48度。砂状化。	350	D'													98							
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Eg VIg	cg	ε			アプライト、下位との境界傾斜33度。深度45.52~53.30m: アプライト。石基は径0.1mm以下である。	400	D'													2/16							
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Dg IVg	dg	δ			深度45.52~53.30m: アプライト。石基は径0.1mm以下である。	450	D'													80							
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Eg VIg	cg	ε			深度45.90~46.75m: 傾斜43度。幅1~5mm。黒褐色シルト状。	500	D'													2/19							
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Dg IVg	dg	δ			深度50.09m: シーム。傾斜55度。幅2~3mm。黒褐色シルト状。	550	D'													85							
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Eg VIg	cg	ε			深度50.19m: シーム。傾斜43度。幅1~5mm。黒褐色シルト状。	600	D'													2/20							
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Dg IVg	dg	δ			花崗斑岩、上位との境界不明瞭。深度53.30~65.70m: 花崗斑岩。斑晶は径0.2~0.5cmの石英主体で散在程度。石基は径0.1~0.5mm。	650	D'														76						
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Eg VIg	cg	ε			深度54.69~58.10m: 変質帯。上盤40度。下盤47度。珪化変質し、硬質。一部脱色し灰白色を帯びる。	700	D'																				
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Dg IVg	dg	δ			深度59.40~60.14m: 変質をうけ、脱色している。	750	D'													108							
		30.40		花崗斑岩	黄橙	Eg VIg	cg	ε			深度62.44~63.36m: 珪化変質帯。岩片は硬質。	800	D'																				

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分		孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )						原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔徑 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																			
												岩	盤		N	0	10	20	30	40											50																																		
				花崗斑岩	明褐灰	Cg	bg	γ	2	深度64.98m: シーム。傾斜68度。幅1mm。黒褐色粘土状。 深度64.98~65.55m: 変質帯。上盤68度。下盤62度。節理密集部。一部礫状。 深度65.04m: シーム。傾斜67度。幅1~1.5mm。暗褐色~黄褐色シルト状。 深度65.27m: シーム。傾斜64度。幅1mm。暗褐色シルト状。 アフライト。上位との境界不明瞭。 深度65.70~104.70m: アフライト。厚さ2.0~3.5m程度の花崗斑岩を挟む。 アフライトの石基は0.1mm以下であり。珪晶が非常に少ない。	0 50 100 [ 30 ] [ 50 ] [ 53 ] [ 54 ] [ 58 ] [ 65 ] [ 85 ] [ 91 ] [ 92 ] [ 93 ] [ 94 ] [ 96 ] [ 97 ] [ 98 ] [ 99 ] [ 100 ]	OM		2/21 64.00	108						0.0	泥水5	5																																										
	-49.87	65.70	花崗斑岩																																		灰白	Cg	bg	γ	3	深度64.98m: シーム。傾斜68度。幅1mm。黒褐色粘土状。 深度64.98~65.55m: 変質帯。上盤68度。下盤62度。節理密集部。一部礫状。 深度65.04m: シーム。傾斜67度。幅1~1.5mm。暗褐色~黄褐色シルト状。 深度65.27m: シーム。傾斜64度。幅1mm。暗褐色シルト状。 アフライト。上位との境界不明瞭。 深度65.70~104.70m: アフライト。厚さ2.0~3.5m程度の花崗斑岩を挟む。 アフライトの石基は0.1mm以下であり。珪晶が非常に少ない。	0 50 100 [ 30 ] [ 50 ] [ 53 ] [ 54 ] [ 58 ] [ 65 ] [ 85 ] [ 91 ] [ 92 ] [ 93 ] [ 94 ] [ 96 ] [ 97 ] [ 98 ] [ 99 ] [ 100 ]	OM		2/22 72.00	104																		
	-62.25	80.00																																																															
			アフライト	灰白	Cg	bg	γ	2	深度76.30~78.45m: 全体に酸化マンガで汚染され。黒色斑状を呈する。  深度80.00~82.73m: 珪化変質をうけ硬質。  花崗斑岩。上位下位との境界不明瞭。  深度82.73~87.00m: 全体に酸化マンガで汚染され。黒褐色を帯びる。  深度87.00~90.18m: 変質帯。下盤46度。酸化マンガ濃集部と白色変質部が斑状模様を示す。	0 50 100 [ 30 ] [ 50 ] [ 53 ] [ 54 ] [ 58 ] [ 65 ] [ 85 ] [ 91 ] [ 92 ] [ 93 ] [ 94 ] [ 96 ] [ 97 ] [ 98 ] [ 99 ] [ 100 ]	[ OM ]		2/23 75.40	111																																																			
																																					花崗斑岩	にぶい褐	Cg	bg	γ	3	深度89.04~89.21m: 変質帯。上盤60度。下盤66度。0.3~1.5cm間隔で節理密集。 深度90.18~91.65m: 溶脱し岩質脆い。	0 50 100 [ 30 ] [ 50 ] [ 53 ] [ 54 ] [ 58 ] [ 65 ] [ 85 ] [ 91 ] [ 92 ] [ 93 ] [ 94 ] [ 96 ] [ 97 ] [ 98 ] [ 99 ] [ 100 ]	OM		2/24 81.30	95																	
			アフライト	暗褐	Cg	bg	γ	2	深度87.00~90.18m: 変質帯。下盤46度。酸化マンガ濃集部と白色変質部が斑状模様を示す。  深度89.04~89.21m: 変質帯。上盤60度。下盤66度。0.3~1.5cm間隔で節理密集。 深度90.18~91.65m: 溶脱し岩質脆い。	0 50 100 [ 30 ] [ 50 ] [ 53 ] [ 54 ] [ 58 ] [ 65 ] [ 85 ] [ 91 ] [ 92 ] [ 93 ] [ 94 ] [ 96 ] [ 97 ] [ 98 ] [ 99 ] [ 100 ]	OM		2/26 86.00	64																																																			
																																			アフライト	灰白・黒	Cg	bg	γ	3	深度92.14~92.18m: 破砕帯 (Hc)。上盤50度。下盤56度。幅2~15mm。灰白色砂質シルト状。 深度92.18~92.60m: 変質帯。上盤56度。下盤80度。節理密集部。粘土を挟む。 花崗斑岩。上位との境界漸移的。 深度93.17~93.24m: 幅3~15mm。暗褐色シルト混じり砂・礫状。	0 50 100 [ 30 ] [ 50 ] [ 53 ] [ 54 ] [ 58 ] [ 65 ] [ 85 ] [ 91 ] [ 92 ] [ 93 ] [ 94 ] [ 96 ] [ 97 ] [ 98 ] [ 99 ] [ 100 ]	OM		2/27 94.00	91																			
			花崗斑岩	にぶい黄褐	Cg	bg	γ	2																																																									
																															花崗斑岩	にぶい黄褐	Cg	bg	γ	2																													

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	変質	記	変質	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験)試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
														( N 値 ~ 深度 )																
100	79.57	100.00	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	bg	γ	深度100.35~103.05m: 珪化変質帯。アフライト、上位との境界漸移的、下位との境界傾斜28度。 深度101.50~104.60m: 全体に褐色を帯び、節理に沿って黒褐色を帯びる。	27 [171] 47 [91] 38 [67] 31 [53]	OM		2 / 28 100.40	91							0.0	泥水5	0							
	80.87	101.50	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	γ	深度103.10~103.50m: 弱い溶解部。低角度の節理密集し、岩片状。 アフライト、上位との境界漸移的、下位との境界傾斜20~30度。 深度104.70~136.20m: 花崗斑岩。径2~5mm程度の石英、長石及び黒雲母の斑晶を5~20%程度含み、石基は径0.1mm以下である。 深度105.45~110.60m: 弱い珪化変質を受け、岩片は硬質。	32 [91] 22 [54] 18 [41] 22 [53] 16 [87] 25 [85] 30 [100]	CL		3 / 66.00	89																
	82.65	103.55	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	γ	深度107.50~110.60m: 新鮮岩。節理少なく柱~長柱状コア。	16 [87] 25 [85] 30 [100]	CL		3 / 66.00	89																
	83.64	104.70	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	γ	深度107.50~110.60m: 新鮮岩。節理少なく柱~長柱状コア。	16 [87] 25 [85] 30 [100]	CL		3 / 66.00	89																
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	bg	β	深度110.68m: シーム、傾斜64度。幅3~5mm、暗褐色シルト状。	30 [88] 46 [91] 27 [97]	OM																			
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度113.72m以深、節理多く短柱~岩片状コア。節理に沿って黒褐色を帯びる。	31 [74] 16 [24] 28 [67]	OM																			
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度115.00~117.55m: 珪化変質を受け硬質。	28 [67] 26 [40] 38 [40]	OM																			
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度118.88m: シーム、傾斜73度。幅2~4mm、浅黄色砂混じりシルト状。	24 [50] 18 [43] 14 [44]	OM																			
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度119.90~136.20m: 花崗斑岩。斑晶は径3~5mm程度。散在程度で、部分的に密集。基質は径0.1mm以下で流理有り。	11 [11] 18 [36] 25 [29] 48 [58]	OM																			
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度122.16~122.18m: 破砕帯(HJ)。上盤32度、下盤66度。幅25mm以上、暗灰色砂・礫状。 深度122.18~122.35m: 破砕帯(HJ)。上盤66度、下盤41度。礫・砂混じりシルト、シルト混じり礫状。 深度122.35~122.60m: 変質帯。上盤41度、下盤68度。幅25mm、砂状部を伴う。	11 [11] 18 [36] 25 [29] 48 [58]	OM																			
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度125.92~129.53m: 傾斜30~50度の節理が多く発達。短柱~岩片状コア主体。アフライト、上位下位との境界不明瞭。	18 [36] 25 [29] 48 [58] 18 [36] 25 [29] 48 [58]	OM																			
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度129.53~131.46m: 節理少なく、柱~短柱状コア主体。	18 [36] 25 [29] 48 [58] 18 [36] 25 [29] 48 [58]	OM																			
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度131.46~133.34m: 非常に節理が多く、岩片状コア主体。	18 [36] 25 [29] 48 [58] 18 [36] 25 [29] 48 [58]	OM																			
			花崗斑岩	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度134.47m: 傾斜73度の節理面に幅10mm程度の石英脈を挟む。	18 [36] 25 [29] 48 [58] 18 [36] 25 [29] 48 [58]	OM																			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	変質	記 事	コア採取率 (%)	岩盤区分	孔内水位 / 測定月日 (N) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					室内試験 原位置試験 (孔内水平載荷)	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (1/分)	排水量 (1/分)									
													N 値 ~ 深度																			
													0	10	20	30	40	50														
140	110.92	136.20		花崗斑岩	にぶい褐	IIIg, IVg	bg, cg	2	深度135.62m: シーム。傾斜52度。幅0.1mm。傾斜43度の節理を見かけ0.2~0.3cm正断層的にずらす。アブライト。上位との境界傾斜10~20度。 深度136.20~150.50m: アブライト。石基は径0.1mm以下である。 深度137.81m: シーム。傾斜67度。幅0.2~5mm。明灰色シルト状。 深度137.81~138.13m: 変質帯。上盤67度。下盤75度。節理密集部。一部砂状。 深度138.13m: シーム。傾斜75度。幅1mm。灰白~褐色シルト状。 深度139.63m: シーム。傾斜74度。幅0.2mmの暗灰色シルト状。傾斜50度の節理を見かけ0.5cm正断層的にずらす。 深度141.55~142.29m: 節理多く。節理に沿って砂~細礫状をなす。	0.5	OM										123											
				アブライト	にぶい黄橙	CG, IVg	cg	2	深度144.91m: シーム。傾斜77度。幅5~9mm。暗褐色礫混じり砂状。	0.5	CL										76											
					にぶい黄	Dg, IVg	cg, dg	3	深度147.07~150.50m: 変質帯。上盤38度。下盤62度。砂。砂礫状。 深度147.43m: シーム。傾斜77度。幅1~3mm。明褐色シルト状。 深度148.30~148.68m: 破砕帯(Hj)。上盤80度。下盤45度。シルト混じり礫状。 深度148.73~148.76m: 破砕帯(Hc)。上盤65度。下盤90度。桃白色礫混じりシルト状。暗褐色シルト状。 深度149.22m: シーム。傾斜80度。幅5mm。暗褐色シルト状。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度150.50~175.00m: 花崗斑岩。一部に厚さ2.7mのアブライトを挟む。 花崗斑岩は。径2~4mmの石英。長石及び径1mmの黒雲母の斑晶を1~5%程度含み。石基は径0.1mm以下である。所により斑晶は密集する。	0.5	CL, D																76					
						Dg, IVg	cg	2	深度149.22m: シーム。傾斜80度。幅5mm。暗褐色シルト状。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度150.50~175.00m: 花崗斑岩。一部に厚さ2.7mのアブライトを挟む。 花崗斑岩は。径2~4mmの石英。長石及び径1mmの黒雲母の斑晶を1~5%程度含み。石基は径0.1mm以下である。所により斑晶は密集する。	0.5	CL																					
						Dg, IVg	cg	3	深度154.61m: シーム。傾斜69度。幅1mm。暗褐色シルト状。 深度155.23~155.86m: 変質帯。上盤68度。下盤65度。岩質脆い。 深度155.64m: シーム。傾斜87度。幅1~3mm。赤白色シルト状。 深度155.72~155.75m: 破砕帯(Hc)。上盤64度。下盤72度。傾斜10~15mm。明黄~暗黄色シルト状。 深度156.40~156.46m: 幅3~20mm。黒色シルト状。黒色礫混じりシルト質砂状。 深度157.53~158.63m: 節理多い。岩質やや脆く。短柱~岩片状コア。	0.5	CL																					
				花崗斑岩	灰褐	CG, IVg	cg	2	深度160.99m: シーム。傾斜65度。幅0.5~2mm。赤・白色シルト状。 深度161.25~162.72m: 比較的節理少なく。短柱~柱状コア。 深度162.72~164.15m: 節理密集し。岩片~短柱状コア。 深度164.15~164.25m: 破砕帯(Hj)。上盤74度。下盤45~80度。幅35~50mm以上。暗褐・明褐・暗黄色固結砂・礫状。 深度165.20~165.26m: 幅30~52mm。葉片状。一部砂・礫状。暗褐色砂質シルトを挟む。 深度165.26~165.28m: 幅0~37mm以上。砂・礫状。	0.5	CL																					
						Dg, IVg	cg	2	アブライト。上位との境界不明瞭。下位との境界傾斜73度。 深度168.42~168.45m: 幅0~18mm。礫・シルト混じり砂状。上下面に明褐色シルトを挟む。 深度169.46~169.62m: 変質帯。上盤66度。下盤73度。軟質化。 深度169.62~169.63m: 破砕帯(Hc)。傾斜73度。幅15mm。明黄灰色シルト状。	0.5	CL, OM																					
				アブライト	灰黄	Dg, IVg	cg	2	アブライト。上位との境界不明瞭。下位との境界傾斜73度。 深度168.42~168.45m: 幅0~18mm。礫・シルト混じり砂状。上下面に明褐色シルトを挟む。 深度169.46~169.62m: 変質帯。上盤66度。下盤73度。軟質化。 深度169.62~169.63m: 破砕帯(Hc)。傾斜73度。幅15mm。明黄灰色シルト状。	0.5	CL, OM																					
				花崗斑岩	灰褐 灰白	IIIg, CG, IVg	bg, cg	2	深度169.46~169.62m: 変質帯。上盤66度。下盤73度。軟質化。 深度169.62~169.63m: 破砕帯(Hc)。傾斜73度。幅15mm。明黄灰色シルト状。	0.5	OM																					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
															N 値 ~ 深度															
		144.52	175.00	花崗斑岩	灰白	Cg	IVg IIIg IIIg IVg IVg IVg	β	2		0 50 100		GM [GM]		0 10 20 30 40 50								102	76	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	0
																							3/14 76,80							
																							3/15 76,80							

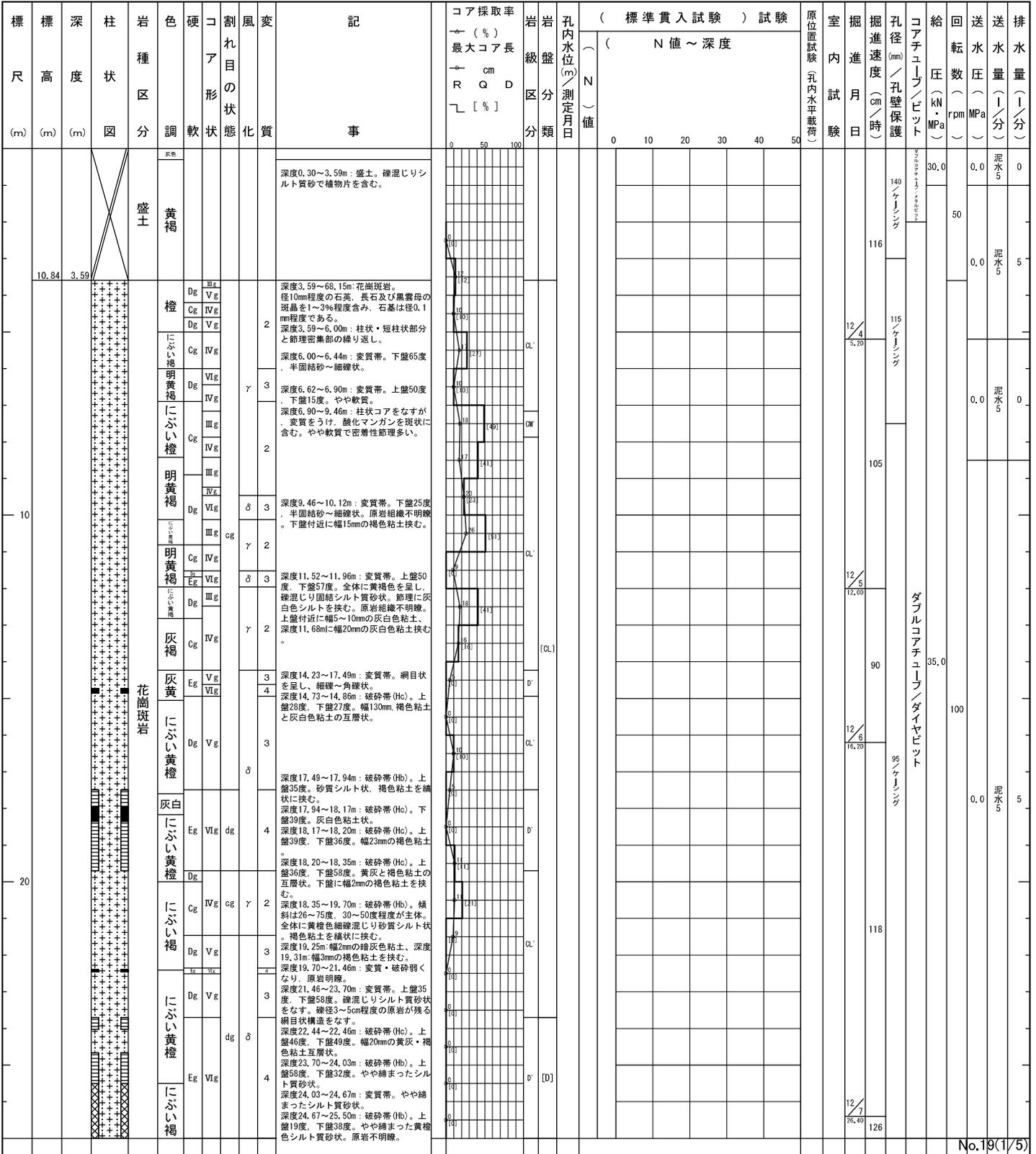
ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No.19		調査位置												北緯	
発注機関											調査期間		東経			
調査業者名	主任技師										現代理人		コ鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 14.21 m	角	180° 上		方		北 0°		地盤勾配		使用機種		試錐機		ハンマー 落下用具	
総掘削長	170.00 m	度	270° 下		向		西 270°		水平 0°		エンジン				ポンプ	



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記号	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤分類	( 標準貫入試験 ) 試験		原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
													N 値 ~ 深度	N 値																
		30		花崗斑岩	にぶい褐	Eg VIg dg δ 4				深度25.50~29.26m: 破砕帯(Hj)。上盤30度。下盤34度。雑混じりシルト質砂状。網目状に褐色シルトを挟む。																				
		40		花崗斑岩	にぶい黄	Eg VIg dg δ 4				深度29.26~29.50m: 破砕帯(Hb)。上盤34度。下盤55度。褐色粘土を挟む灰白色砂質シルト状。 深度29.50~31.30m: 破砕帯(Hj)。上盤55度。下盤18度。雑混じりシルト質砂状。深度30.53m。幅5mm褐色粘土状。 深度31.30~31.71m: 破砕帯(Hb)。上盤18度。下盤25度。黄褐色砂質シルト状~シルト質砂状。 深度31.71~31.75m: 破砕帯(Hc)。上盤25度。下盤20度。幅45mmの灰色と褐色のシルトの互層状。 深度31.75~32.04m: 破砕帯(Hb)。上盤30度。下盤16度。砂質シルト状~シルト質砂状。 深度32.32~35.11m: 破砕帯(Hb)。上盤29度。下盤59度。にぶい黄色を呈する砂質シルト状。石英粒子が多く残る。 深度32.49m。幅15mmの褐色シルト。深度34.13mm幅3~5mmの灰白色シルトを挟む。 深度35.11~35.14m: 破砕帯(Hc)。上盤9度。下盤66度。幅15~18mmの褐色粘土状。 深度35.14~35.33m: 変質帯。傾斜50~60度。浅黄色と黒褐色を帯びた半固結シルト状。 深度35.33~36.25m: 変質帯。上盤50度。下盤40度。原岩を確状に残し、網目状に褐色・灰白色シルト~粘土を挟む。 深度36.25~38.85m: 変質帯。上盤40度。下盤53度。角礫~細礫状。シームを挟む。 深度37.72m: シーム。傾斜50度。幅1mmの褐色粘土状。 深度38.06m: シーム。傾斜55度。幅2mmの褐色粘土状。 深度38.85m: シーム。傾斜53度。幅0.5mmの灰白色粘土状。 深度38.85~40.62m: 黄褐色を呈する変質の弱い花崗斑岩。含礫固結砂状を呈する。 深度41.53~43.49m: 細礫~角礫状コア。一部変質を受け砂状をなし。節理に沿って黒褐色化が進む。																				
		50		アプライト	にぶい黄橙	Dg Vg			3	アプライト。上位との境界不明瞭。節理の発達したアプライト。角礫~細礫状。全体に褐色化し、一部黄橙色を呈する。 深度43.60~43.75m: ベグマタイトを挟む。 深度45.00~45.55m: 高角度な節理あり。白色鉱物を挟む。 深度45.55~47.31m: 全体に弱く変質をうけ、やや軟質化。 深度46.50~47.00m: 高角度な節理あり。節理に沿って幅10~15mm変質する。 深度47.31~48.53m: 短柱~角礫状を呈し、節理に沿って褐色化著しく、一部砂~細礫状をなす。																				
		60		花崗斑岩	にぶい橙	IVg cg γ			2	花崗斑岩。上位との境界不明瞭。下位との境界傾斜77度。 深度49.67~53.70m: 角礫状をなし。節理に沿って白色鉱物を挟む。 深度53.70~55.77m: 黒褐色化し、やや変質を受けている。 深度54.52~55.77m: 高角度な節理多く、一部細礫状をなす。 深度55.49~55.56m: 破砕帯(Hc)。上盤75度。下盤79度。幅15mmの緑灰~灰白色シルト状。 深度55.77~56.56m: 短柱状コアをなす。 深度56.56~61.65m: 細礫~角礫状コア。節理に沿って砂~土砂状部を挟む。 深度59.25~59.50m: 土砂状コア。基質に細砂~シルトを挟む。																				
				アプライト	にぶい黄橙	Dg Vg				花崗斑岩。上位との境界傾斜30度。 深度61.41~68.15m: 花崗斑岩。 径2~10mmの石英及び径1~3mmの長石。黒雲母の結晶を1~3%程度含み、石英は径0.1mm程度。 深度61.65~63.50m: 短柱状。節理に沿って褐色・黒褐色化進む。																				